

男女共同参画社会についての 住民意識調査報告書

2013/8

大和村役場 総務企画課

目次

I 調査の概要

1 調査の目的	3
2 調査の実施概要	3
(1) 調査地域	3
(2) 調査対象	3
(3) 調査方法	3
(4) 調査期間	3
3 回収方法	3
4 他調査との比較について	4

II 回答者の属性

1. 性別	5
2. 年齢	5
3. 生活形態	6
4. 婚姻の状況	7
5. 夫婦の就業	8

III 調査結果について

1. 男女の地位に関する意識について	12
(1) 様々な場における男女の地位の平等感について	12
2. 固定的な性別役割分担意識について	20
(1) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という意識について	20
(2) 家庭等における固定的な性別役割分担について	21
3. 政策方針決定過程への女性の参画について	26
(1) 政策方針決定過程への女性の参画に関する意識について	26
4. 家庭での役割分担について	27
(1) 家事等における役割分担について	28
5. 働くことについて	32
(1) 現在の職業について	32
(2) 希望する働き方について	32
(3) 職場での性別による処遇の格差について	34
(4) 就労規則に関する認識について	35
(5) 就労規則の実効性について	36
6. 地域社会との関わりについて	37
(1) 地域への貢献意欲について	37
(2) どのような地域活動に関わっているかについて	38
(3) 地域活動のやりがいについて	39
(4) 地域の雰囲気や慣習について	41

7. ワークライフバランス（仕事と生活の調和）について	43
（1）生活の中で優先していることについて	43
（2）生活の中で優先させたいことについて	45
（3）仕事と生活の調和を図るために必要なことについて	47
（4）生活する中で不安や悩みについて	50
8. 配偶者からの暴力について	51
（1）夫婦間での行為における暴力の認識について	51
（2）これまでの被害経験の有無について	66
（3）配偶者等からの暴力を受けたときの相談先について	72
（4）配偶者等からの暴力を受けたときに相談しなかった（できなかった）理由について	74
9. 男女共同参画関連用語について	76
（1）男女共同参画に関する用語の周知度について	76
10. 「男女共同参画社会」を実現するための施策について	77
（1）「男女共同参画社会」を実現するために、大和村に望む施策について	77
IV 参考資料	80
1. 意識調査集計表	80
2. 調査票	98

I. 調査の概要

1 調査の目的

大和村における男女共同参画社会の形成に向けて、住民の男女共同参画に関する意識と実態を把握し、「大和村男女共同参画基本計画」策定と今後の施策の充実を図るための基礎資料とする。

2 調査の実施概要

(1) 調査地域：大和村全域

(2) 調査対象：大和村在住の20歳以上の男女

	女性	男性	年代別計	年代別比
20代	41	35	76	5.5
30代	47	65	112	8.0
40代	92	115	207	14.9
50代	113	132	245	17.6
60代	130	120	250	17.9
70代	149	122	271	19.4
80歳以上	167	65	232	16.7
性別計	739	654	1393	100.0%
性別比	53.1	46.9	100.0%	

(3) 調査方法：各集落区長による配布

各集落公民館に設置した回収箱への提出、
もしくは郵送回収。

(4) 調査期間：平成25年3月13日～3月29日

3月13日 調査票各集落区長に配布

3月29日 締め切り

3 回収状況

標本数 1393

回収数 789 (回収率：56.6%)

有効回収数 763 (回収率：54.7%)

〈女性 394名 男性 332名 無回答 37名〉

4 他調査との比較について

今回調査の分析にあたり、他調査との比較を行っている。

使用した資料の出典は以下のとおりである。

実施主体	調査名	調査年	比較した設問 (大和村調査)
内閣府	男女共同参画社会に関する世論調査	平成 24	問 2、問 2 3
	社会意識に関する世論調査	平成 23	問 1 1
	男女間における暴力に関する調査	平成 21	問 1 9、問 2 0、問 2 1、問 2 2

<報告書の見方>

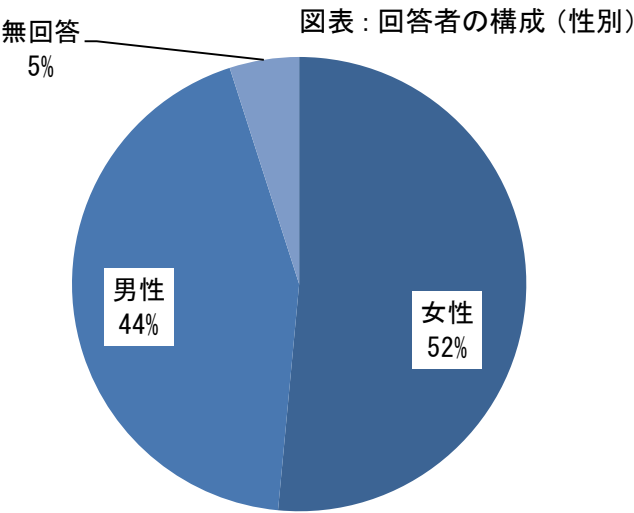
- (1) 調査結果の数値は回答率(%)で示している。%の母数は、その質問事項に該当する回答者総数、あるいは分類別の回答者数である。
- (2) 百分率は小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位まで示した。よって、単一回答(答えが一つだけのもの)の回答比率の合計値は100.0%にならない場合がある。
- (3) 回答比率は、その設問の回答者総数、あるいは分類別の回答者数を基数として算出しており、複数回答(二つ以上の回答を認めたもの)の設問の場合には、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- (4) 図表はスペースの都合上、文言を省略している場合がある。文言の詳細は巻末の調査票を参照のこと。

II. 回答者の属性

有効回答者 763 名の属性は下記の通りである。

1. 性別

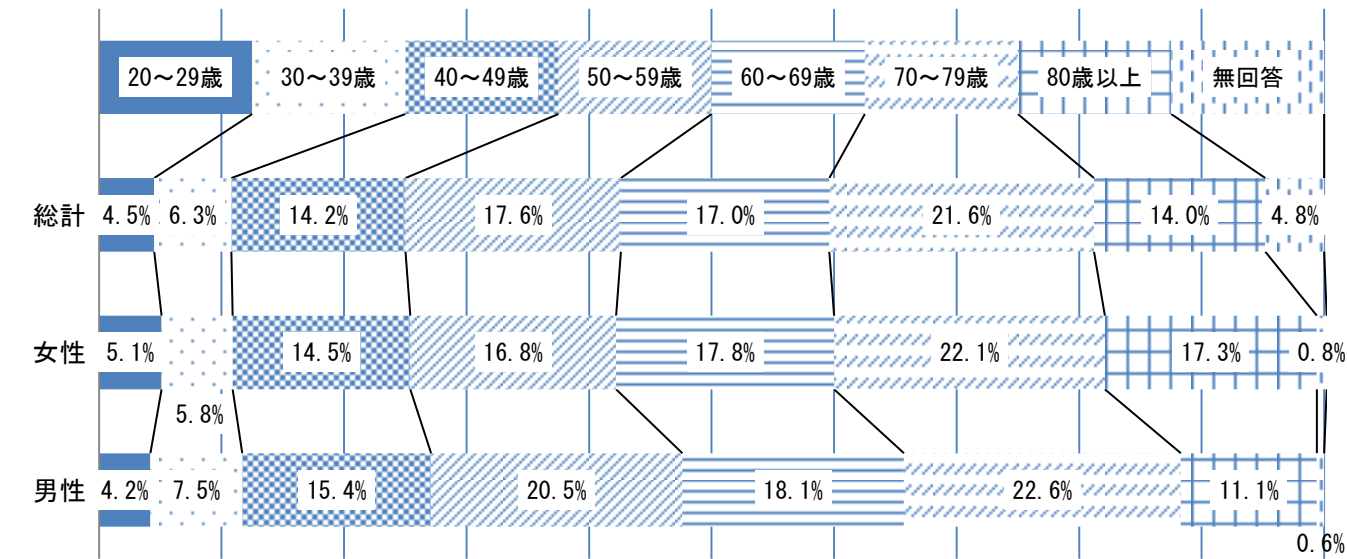
項目	人数	構成比
女性	394	51.60
男性	332	43.50
無回答	37	4.80
合計	763	100.0%



2. 年齢

	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
20 代	34	4.50	20	5.10	14	4.20	0	0.00
30 代	48	6.30	23	5.80	25	7.50	0	0.00
40 代	108	14.20	57	14.50	51	15.40	0	0.00
50 代	134	17.60	66	16.80	68	20.50	0	0.00
60 代	130	17.00	70	17.80	60	18.10	0	0.00
70 代	165	21.60	87	22.10	75	22.60	3	8.10
80 歳以上	107	14.00	68	17.30	37	11.10	2	5.40
無回答	37	4.80	3	0.80	2	0.60	32	86.50
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

図表：回答者の構成（年代別）



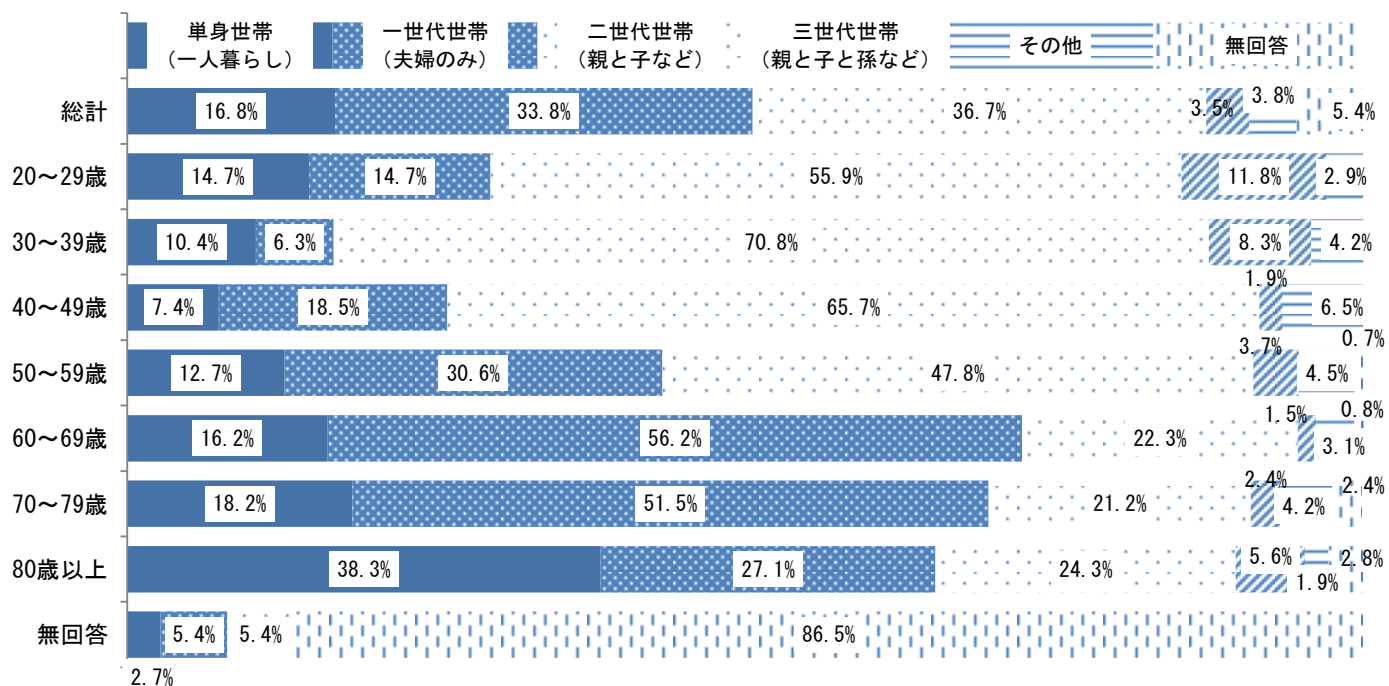
3. 生活形態

図表：回答者の生活形態（性別）

	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
単身世帯 （一人暮らし）	128	16.8%	79	20.1%	47	14.2%	2	5.4%
一世代世帯 （夫婦のみ）	258	33.8%	125	31.7%	130	39.2%	3	8.1%
二世代世帯 （親と子など）	280	36.7%	151	38.3%	128	38.6%	1	2.7%
三世代世帯 （親と子と孫など）	27	3.5%	18	4.6%	9	2.7%	0	0.0%
その他	29	3.8%	15	3.8%	14	4.2%	0	0.0%
無回答	41	5.4%	6	1.5%	4	1.2%	31	83.8%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

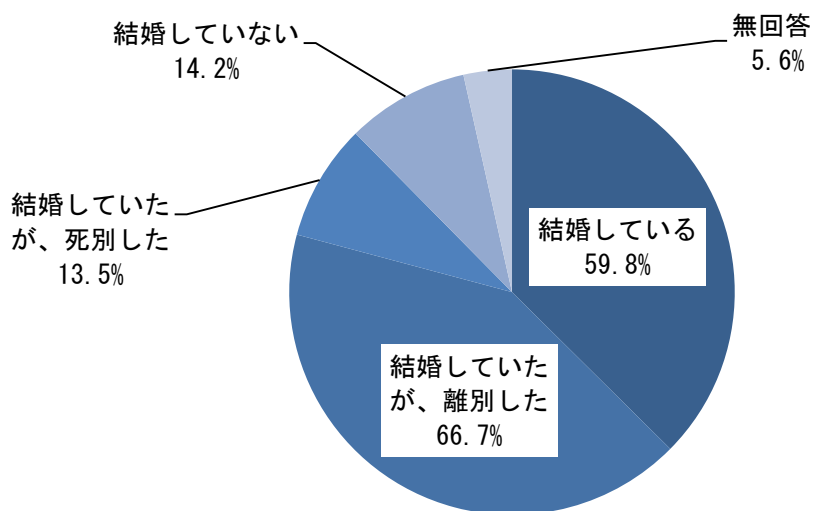
図表：回答者の生活形態（年代別）

人数	計	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	無回答
単身世帯 （一人暮らし）	128	5	5	8	17	21	30	41	1
一世代世帯 （夫婦のみ）	258	5	3	20	41	73	85	29	2
二世代世帯 （親と子など）	280	19	34	71	64	29	35	26	2
三世代世帯 （親と子と孫など）	27	4	4	2	5	2	4	6	0
その他	29	1	2	7	6	4	7	2	0
無回答	41	0	0	0	1	1	4	3	32
合計	763	34	48	108	134	130	165	107	37
構成比	計	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	無回答
単身世帯 （一人暮らし）	16.8%	14.7%	10.4%	7.4%	12.7%	16.2%	18.2%	38.3%	2.7%
一世代世帯 （夫婦のみ）	33.8%	14.7%	6.3%	18.5%	30.6%	56.2%	51.5%	27.1%	5.4%
二世代世帯 （親と子など）	36.7%	55.9%	70.8%	65.7%	47.8%	22.3%	21.2%	24.3%	5.4%
三世代世帯 （親と子と孫など）	3.5%	11.8%	8.3%	1.9%	3.7%	1.5%	2.4%	5.6%	0.00%
その他	3.8%	2.9%	4.2%	6.5%	4.5%	3.1%	4.2%	1.9%	0.00%
無回答	5.4%	0.00%	0.00%	0.00%	0.70%	0.80%	2.4%	2.8%	86.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



4. 婚姻の状況

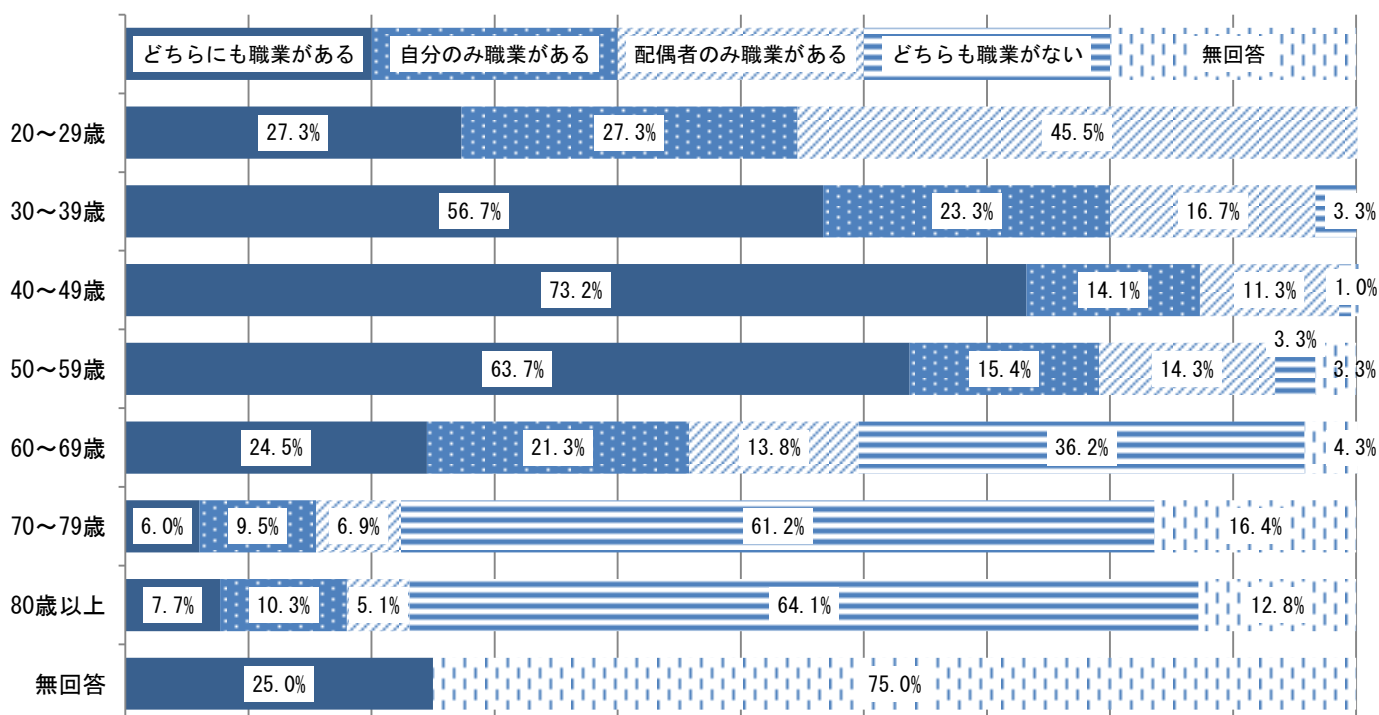
	総計	女性	男性
	構成比	構成比	構成比
結婚している	59.8%	57.9%	67.2%
結婚していたが、離別した	6.7%	6.6%	7.5%
結婚していたが、死別した	13.5%	21.3%	5.1%
結婚していない	14.2%	11.7%	18.7%
無回答	5.6%	2.5%	1.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%



5. 夫婦の就業状況

	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どちらにも職業がある	164	36.0%	85	37.3%	79	35.4%	0	0.00%
自分のみ職業がある	69	15.1%	12	5.3%	57	25.6%	0	0.00%
配偶者のみ職業がある	54	11.8%	44	19.3%	10	4.5%	0	0.00%
どちらにも職業がない	134	29.4%	70	30.7%	62	27.8%	2	40.0%
無回答	35	7.7%	17	7.5%	15	6.7%	3	60.0%
合計	456	100.0%	228	100.0%	223	100.0%	5	100.0%

人数	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
どちらにも職業がある	164	3	17	52	58	23	7	3	1
自分のみ職業がある	69	3	7	10	14	20	11	4	0
配偶者のみ職業がある	54	5	5	8	13	13	8	2	0
どちらにも職業がない	134	0	1	0	3	34	71	25	0
無回答	35	0	0	1	3	4	19	5	3
合計	456	11	30	71	91	94	116	39	4
構成比	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
どちらにも職業がある	36.0%	27.3%	56.7%	73.2%	63.7%	24.5%	6.0%	7.7%	25.0%
自分のみ職業がある	15.1%	27.3%	23.3%	14.1%	15.4%	21.3%	9.5%	10.3%	0.00%
配偶者のみ職業がある	11.8%	45.5%	16.7%	11.3%	14.3%	13.8%	6.9%	5.1%	0.00%
どちらにも職業がない	29.4%	0.00%	3.30%	0.00%	3.3%	36.2%	61.2%	64.1%	0.00%
無回答	7.7%	0.00%	0.00%	1.4%	3.3%	4.3%	16.4%	12.8%	75.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

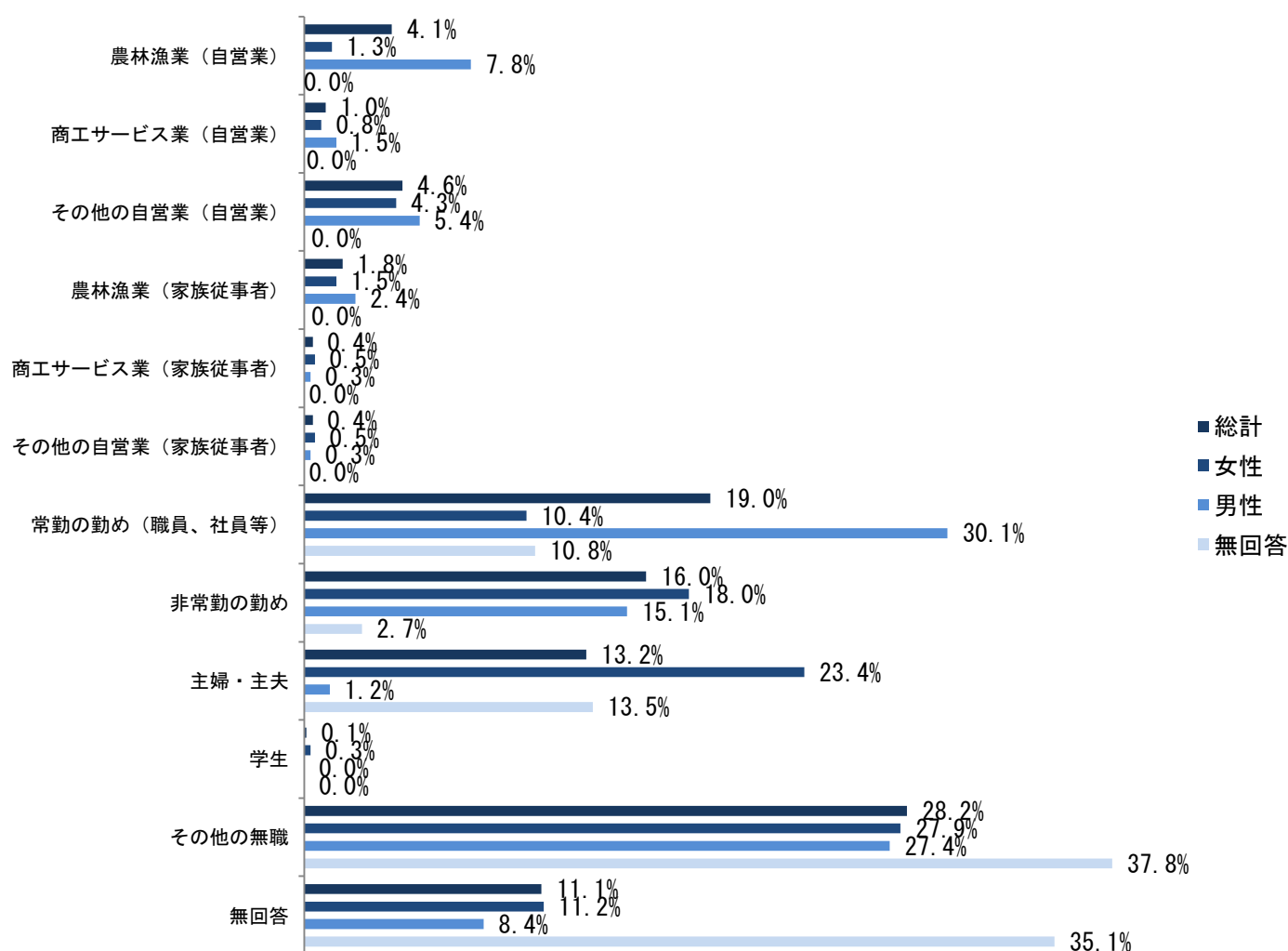


6. 就業状況

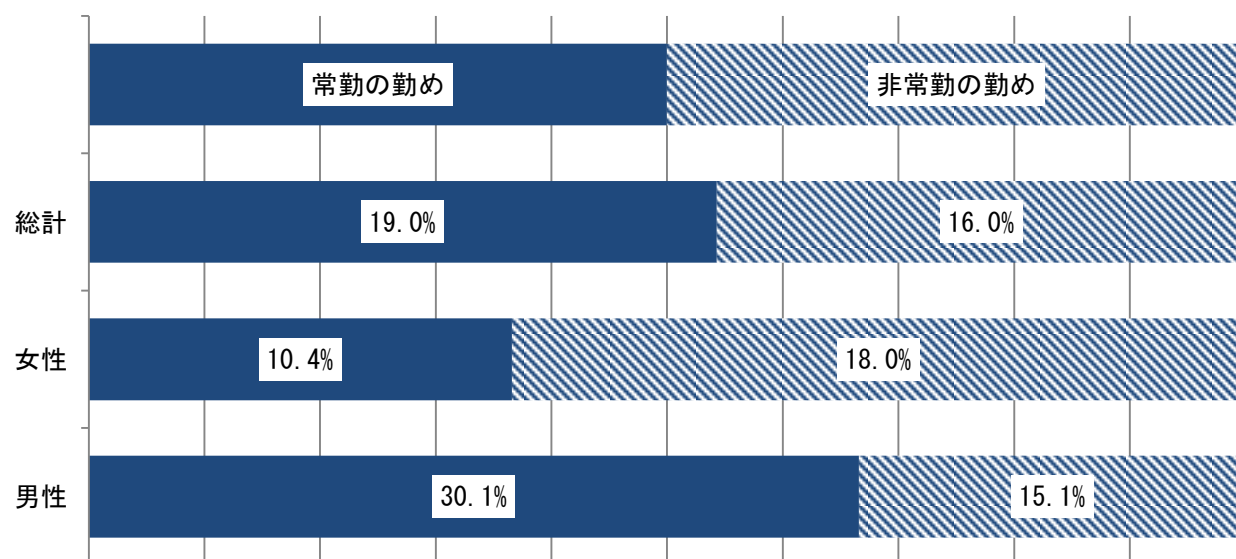
図表：就業状況（性別）

	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
農林水産業（自営業）	31	4.10%	5	1.3%	26	7.8%	0	0.0%
商工サービス（自営業）	8	1.0%	3	0.8%	5	1.5%	0	0.0%
その他の自営業	35	4.6%	17	4.3%	18	5.4%	0	0.0%
農林水産業（家族従事者）	14	1.8%	6	1.5%	8	2.4%	0	0.0%
商工サービス（家族従事者）	3	0.4%	2	0.5%	1	0.3%	0	0.0%
その他の自営業（家族従事者）	3	0.4%	2	0.5%	1	0.3%	0	0.0%
常勤の勤め（公務員、教員、社員等）	145	19.0%	41	10.4%	100	30.1%	4	10.8%
非常勤の勤め（パート、アルバイト、嘱託、臨時職員等）	122	16.0%	71	18.0%	50	15.1%	1	2.7%
主婦・主夫	101	13.2%	92	23.4%	4	1.2%	5	13.5%
学生	1	0.1%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
無職	215	28.2%	110	27.9%	91	27.4%	14	37.8%
無回答	85	11.1%	44	11.2%	28	8.4%	13	35.1%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

図表：就業状況



図表：雇用労働者の雇用形態（性別）



図表：就業状況（年代別）

人数	計	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	無回答
農林水産業（自営業）	31	0	0	1	4	12	11	3	0
商工サービス（自営業）	8	0	0	0	3	5	0	0	0
その他の自営業	35	1	3	3	9	9	9	1	0
農林水産業（家族従事者）	14	0	0	1	2	2	5	3	1
商工サービス（家族従事者）	3	0	0	1	1	1	0	0	0
その他の自営業（家族従事者）	3	0	0	2	0	1	0	0	0
常勤の勤め（公務員、教員、社員等）	145	13	20	42	47	15	3	1	4
非常勤の勤め（パート、アルバイト、嘱託、臨時職員等）	122	14	15	39	35	14	3	1	1
主婦・主婦	101	4	4	9	12	29	26	12	5
学生	1	0	1	0	0	0	0	0	0
無職	215	2	4	7	14	34	81	60	13
無回答	85	0	1	3	7	8	27	26	13
構成比	計	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	無回答
農林水産業（自営業）	4.1%	0.0%	0.0%	0.9%	3.0%	9.2%	6.7%	2.8%	0.0%
商工サービス（自営業）	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の自営業	4.6%	2.9%	6.3%	2.8%	6.7%	6.9%	5.5%	0.9%	0.0%
農林水産業（家族従事者）	1.8%	0.0%	0.0%	0.9%	1.5%	1.5%	3.0%	2.8%	2.7%
商工サービス（家族従事者）	0.4%	0.0%	0.0%	0.9%	0.7%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の自営業（家族従事者）	0.4%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
常勤の勤め（公務員、教員、社員等）	19%	38.2%	41.7%	38.9%	35.1%	11.5%	1.8%	0.9%	10.8%
非常勤の勤め（パート、アルバイト、嘱託、臨時職員等）	16%	41.2%	31.3%	36.1%	26.1%	10.8%	1.8%	0.9%	2.7%
主婦・主婦	13.2%	11.8%	8.3%	8.3%	9%	22.3%	15.8%	11.2%	13.5%
学生	0.1%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	28.2%	5.9%	8.3%	6.5%	10.4%	26.2%	49.1%	56.1%	35.1%
無回答	11.1%	0.0%	2.1%	2.8%	5.2%	6.2%	16.4%	24.3%	35.1%

Ⅲ 調査結果について

1. 男女の地位に関する意識について

(1) 様々な場における男女の地位の平等感について・・・問2

男女の地位の平等感については、「学校教育の中で」「法律や制度で」の項目においては「平等である」とする人の割合が最も高く、「家庭の中で」「職場の中で」「地域社会の中で」「社会通念・慣習・しきたりなどで」の項目においては、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とする人の割合が最も高い。

男女別にみると、すべての項目において「平等である」とする人の割合は女性より男性の方が高く、特に、その差は「法律や制度で」の項目で最も大きくなっている。

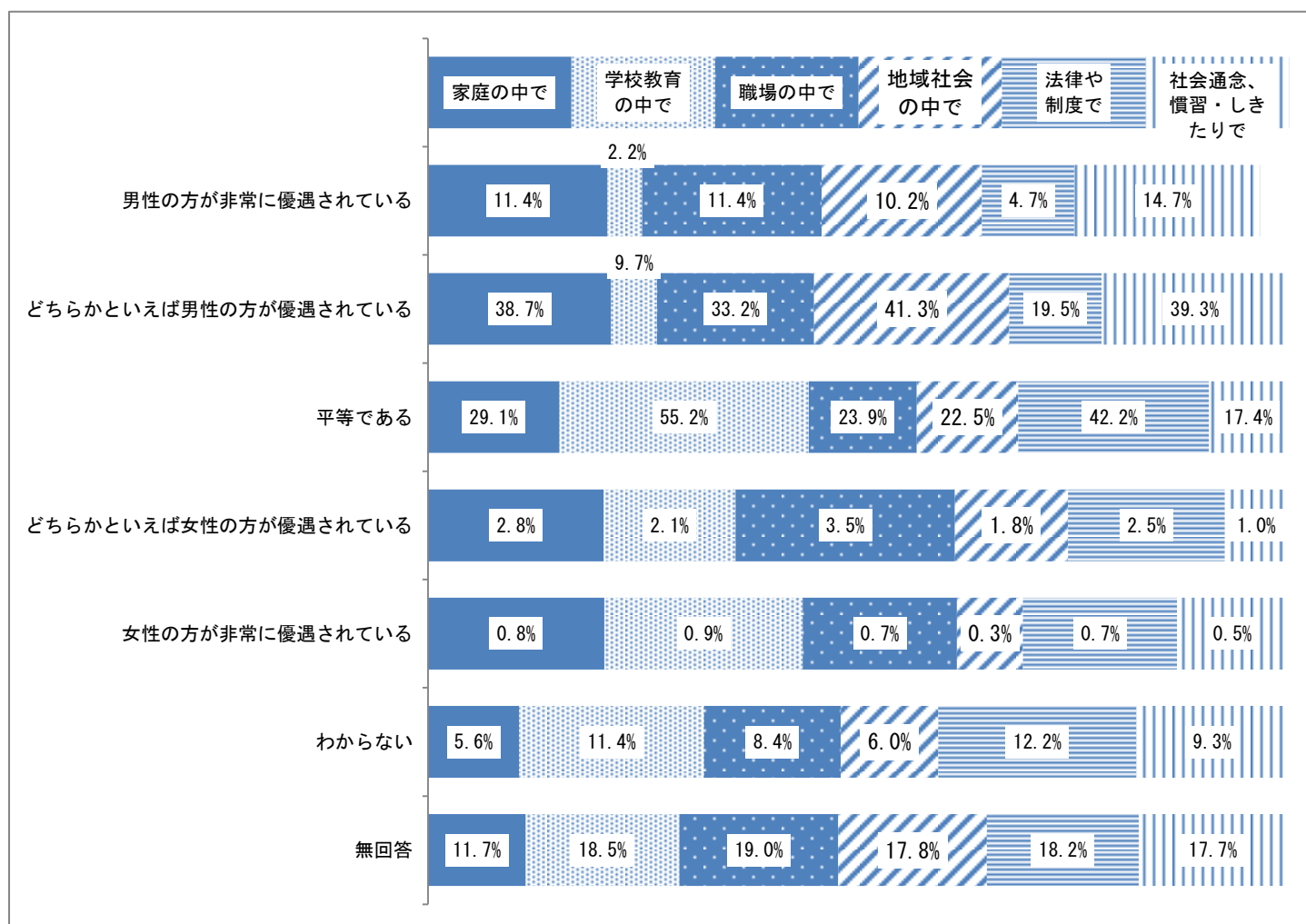
年代別でみると、20～60代では「学校教育の中で」「法律や制度で」以外のすべての項目において「男性の方が優遇されている」（「男性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）とする人の割合が5割をこえている。

国が平成24年度に実施した調査と比較すると、比較可能な5つの設問「家庭の中で」「学校教育の中で」「職場の中で」「法律や制度で」「社会通念、しきたりなどで」の項目において、「男性の方が優遇されている」（「男性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）とする割合が国よりも高くなっているのは、「家庭の中で」の1項で、他4項においては国よりも低くなっている。

一方、「平等である」、「女性の方が優遇されている」（「女性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）とする人の割合は全ての項目において国より低くなっている。

また、「わからない」とする人の割合が「家庭の中で」「法律や制度で」「社会通念、しきたりなどで」の項目で国より高くなっている。

図表：男女の地位の平等感



①家庭の中で

男女別に見ると、男女とも「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とする人の割合が最も高く、女性では、「男性の方が優遇されている」とする割合が52.0%（「男性の方が非常に優遇されている」13.2%+「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」38.3%）と、「地域社会の中で」、「社会通念・慣習・しきたりなどで」に次いで高くなっている。

年代別で見ると、20～60代の年代で、「男性の方が優遇されている」とする人の割合が5割をこえている。また、70代、80歳以上では、すべての項目の中で「男性の方が優遇されている」とする割合が最も高くなっている。一方で、「平等である」とする割合が3割をこえたのは、20代の35.3%と、30代の39.6%、40代の36.1%、70代の32.1%であった。

国が平成24年に実施した調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」とする人の割合は、国を5.9ポイント上回っている。また、「平等である」とする人の割合は国より1割強低く、比較可能な項目の中で、最も差が大きくなっている。

図表：家庭の中の地位の平等感（性別）

	選択項目	総計		女性		男性		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
①家庭の中で	男性の方が非常に優遇されている	87	11.4%	52	13.2%	32	9.6%	3	8.1%
	どちらかといえば男性が優遇されている	295	38.7%	153	38.8%	129	38.9%	13	35.1%
	平等である	222	29.1%	98	24.9%	117	35.2%	7	18.9%
	どちらかといえば女性が優遇されている	21	2.8%	13	3.3%	8	2.4%	0	0.0%
	女性の方が非常に優遇されている	6	0.8%	1	0.3%	4	1.2%	1	2.7%
	わからない	43	5.6%	23	5.8%	17	5.1%	3	8.1%
	無回答	89	11.7%	54	13.7%	25	7.5%	10	27.0%
	合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

図表：国との比較（内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」平成24年）

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
大和村	11.4%	38.7%	29.1%	2.8%	0.8%	5.6%	11.7%
国	8.5%	34.7%	47.0%	6.1%	1.3%	2.3%	

②学校教育の中で

すべての項目の中で「平等である」とする人の割合が 55.2%と最も高くなっている。また「わからない」とする人の割合が 11.4%と「法律や制度」に次いで高くなっている。

男女別に見ると、男女ともに「平等である」とする割合が最も高いが、男性が 62.7%であるのに対し、女性は 49%とその差は 13.7 ポイントあり、すべての項目の中で 3 番目に差がある。

年代別でみると、「平等である」とする人の割合は 50.7%と 50 代で最も高くなっている。また、「男性の方が優遇されている」とする割合 35.4%（「男性の方が非常に優遇されている」5.9%＋「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」29.4%）、「女性の方が優遇されている」とする割合は 8.8%（「女性の方が非常に優遇されている」2.9%＋「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」5.9%）とともに 20 代で最も高くなっている。

国が平成 24 年に実施した調査を比較すると、「男性の方が優遇されている」とする人の割合は、国を 1.5 ポイント下回っている。また、「平等である」とする人の割合は、国より 1 割強低くなっている。

図表：学校教育の中での男女の地位の平等感（性別）

②学校教育の中で	選択項目	総計		女性		男性		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
	男性の方が非常に優遇されている	17	2.2%	12	3.0%	5	1.5%	0	0.0%
	どちらかといえば男性が優遇されている	74	9.7%	45	11.4%	28	8.4%	1	2.7%
	平等である	421	55.2%	193	49.0%	208	62.7%	20	54.1%
	どちらかといえば女性が優遇されている	16	2.1%	6	1.5%	10	3.0%	0	0.0%
	女性の方が非常に優遇されている	7	0.9%	3	0.8%	4	1.2%	0	0.0%
	わからない	87	11.4%	50	12.7%	34	10.2%	3	8.1%
	無回答	141	18.5%	85	21.6%	43	13.0%	13	35.1%
	合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

図表：国との比較

（内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」平成 24 年）

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
大和村	2.2%	9.7%	55.2%	2.1%	0.9%	11.4%	18.5%
国	2.4%	11.0%	67.0%	3.0%	0.7%	15.8%	

③職場の中で

男女別に見ると、男女とも「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とする人の割合が最も高くなっている。

年代別でみると、20～60代で「男性の方が優遇されている」（「男性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性が優遇されている」）とする人の割合が5割をこえている。一方、「女性の方が非常に優遇されている」とする人の割合が30代、60代、80代ではいなかった。

性・年代別でみると、「平等である」とする割合が最も高いのは、40代男性で39.2%、次いで30代男性（36%）、50代男性（35.3%）となっている。

国が平成24年に実施した調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」とする人の割合は国より1割程度低くなっている。また、「平等である」とする人の割合が、比較可能な項目の中で国との差が最も小さい。

図表：職場の中での男女の地位の平等感（性別）

	選択項目	総計		女性		男性		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
③ 職 場 の 中 で	男性の方が非常に優遇されている	87	11.4%	48	12.2%	32	9.6%	7	18.9%
	どちらかといえば男性が優遇されている	253	33.2%	133	33.8%	113	34.0%	7	18.9%
	平等である	182	23.9%	73	18.5%	102	30.7%	7	18.9%
	どちらかといえば女性が優遇されている	27	3.5%	10	2.5%	16	4.8%	1	2.7%
	女性の方が非常に優遇されている	5	0.7%	2	0.5%	3	0.9%	0	0.0%
	わからない	64	8.4%	42	10.7%	19	5.7%	3	8.1%
	無回答	145	19.0%	86	21.8%	47	14.2%	12	32.4%
	合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

図表：国との比較

（内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」平成24年）

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
大和村	11.4%	33.2%	23.9%	3.5%	0.7%	8.4%	19.0%
国	15.6%	42.1%	28.5%	4.2%	0.5%	9.2%	

④地域社会の中で

「男性の方が優遇されている」とする人の割合が51.5%（「男性の方が非常に優遇されている」10.2%+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」41.3%）と5割をこえている。

男女別にみると、男女とも「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とする人の割合が最も高くなっている。また、女性では「男性の方が優遇されている」とする人の割合が57.1%（「男性の方が非常に優遇されている12.2%」+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」44.9%）と5割をこえている。

年代別にみると、「男性の方が優遇されている」とする人の割合が、20代では76.4%、30代～50代では6割をこえ、60代では5割をこえている。

性・年代別にみると、「男性の方が優遇されている」とする人の割合は男性の20代で8割をこえ、女性の20代、40代では7割をこえている。

国の調査では、「自治会やNPOなどの地域活動の場」で「男性の方が優遇されている」とする人の割合は33.4%、「平等である」とする人の割合は52.1%となっている。

図表：地域社会の中での男女の地位の平等感（性別）

④地域社会の中で	選択項目	総計		女性		男性		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
	男性の方が非常に優遇されている	78	10.2%	48	12.2%	28	8.4%	2	5.4%
	どちらかといえば男性が優遇されている	315	41.3%	177	44.9%	126	38.0%	12	32.4%
	平等である	172	22.5%	60	15.2%	105	31.6%	7	18.9%
	どちらかといえば女性が優遇されている	14	1.8%	5	1.3%	9	2.7%	0	0.0%
	女性の方が非常に優遇されている	2	0.3%	0	0.0%	2	0.6%	0	0.0%
	わからない	46	6.0%	27	6.9%	17	5.1%	2	5.4%
	無回答	136	17.8%	77	19.5%	45	13.6%	14	37.8%
	合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

図表：国との比較

（内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」平成24年）

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
大和村	10.2%	41.3%	22.5%	1.8%	0.3%	6.0%	17.8%
国	6.9%	26.5%	52.1%	6.1%	0.9%	7.6%	

※国の設問は「自治会やNPOなどの地域活動の場」

⑤法律や制度で

「平等である」とする人の割合が全体で 42.2%と「学校教育の中で」に次いで高くなっている。

男女別に見ると、「平等である」とする人の割合が女性で 33.0%、男性で 53.6%と 20.6 ポイントの差があり、6 項目の中で最も差が大きくなっている。

年代別で見ると 40 代、50 代では「平等である」とする割合が 5 割をこえている。一方、20 代では「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 35.4%（「男性の方が非常に優遇されている」5.9%+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」29.4%）と最も高くなっている。

国が平成 24 年に実施した調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」とする人の割合は 1 割程度低くなっている。また、「女性の方が優遇されている」とする人の割合は国の半数程度になっている。

図表：法律や制度での男女の地位の平等感（性別）

	選択項目	総計		女性		男性		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
⑤法律や制度で	男性の方が非常に優遇されている	36	4.7%	25	6.3%	11	3.3%	0	0.0%
	どちらかといえば男性が優遇されている	149	19.5%	89	22.6%	54	16.3%	6	16.2%
	平等である	322	42.2%	130	33.0%	178	53.6%	14	37.8%
	どちらかといえば女性が優遇されている	19	2.5%	7	1.8%	12	3.6%	0	0.0%
	女性の方が非常に優遇されている	5	0.7%	1	0.3%	4	1.2%	0	0.0%
	わからない	93	12.2%	63	16.0%	28	8.4%	2	5.4%
	無回答	139	18.2%	79	20.1%	45	13.6%	15	40.50%
	合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

図表：国との比較

（内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」平成 24 年）

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
大和村	4.7%	19.5%	42.2%	2.5%	0.7%	12.2%	18.2%
国	8.7%	29.5%	45.4%	6.2%	1.1%	9.0%	

⑥社会通念、慣習・しきたりなどで

男女別に見ると、「男性の方が優遇されている」（「男性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）とする人の割合が女性で 53.1%、男性で 56.7%と 6 項目中で最も高くなっている。また、男女とも「平等である」とする人の割合が最も低くなっている。

年代別にみると、「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 20 代で 6 割をこえ、30 代（72.9%）と 40 代（73.2%）では、7 割をこえている。

性・年代別にみると、「男性の方が優遇されている」とする人の割合は女性の 30 代、40 代で 7 割をこえている。

国が平成 24 年に実施した調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」とする人の割合は、国より 2 割弱低くなっている。また、「わからない」とする人は国の 2 倍程度となっている。

図表：社会通念、慣習・しきたりなどでの男女の地位の平等感（性別）

⑥社会通念、慣習・しきたりなどで	選択項目	総計		女性		男性		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
	男性の方が非常に優遇されている	112	14.7%	63	16.0%	42	12.7%	7	18.9%
	どちらかといえば男性が優遇されている	300	39.3%	146	37.1%	146	44.0%	8	21.6%
	平等である	133	17.4%	54	13.7%	73	22.0%	6	16.2%
	どちらかといえば女性が優遇されている	8	1.0%	5	1.3%	3	0.9%	0	0.0%
	女性の方が非常に優遇されている	4	0.5%	1	0.3%	3	0.9%	0	0.0%
	わからない	71	9.3%	47	11.9%	22	6.6%	2	5.4%
	無回答	135	17.7%	78	19.8%	43	13.0%	14	37.8%
	合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

図表：国との比較

（内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」平成 24 年）

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
大和村	14.7%	39.3%	17.4%	1.0%	0.5%	9.3%	17.7%
国	18.6%	51.7%	21.4%	2.9%	0.6%	4.7%	

2. 固定的な性別役割分担意識について

(1) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という意識について・・・問1

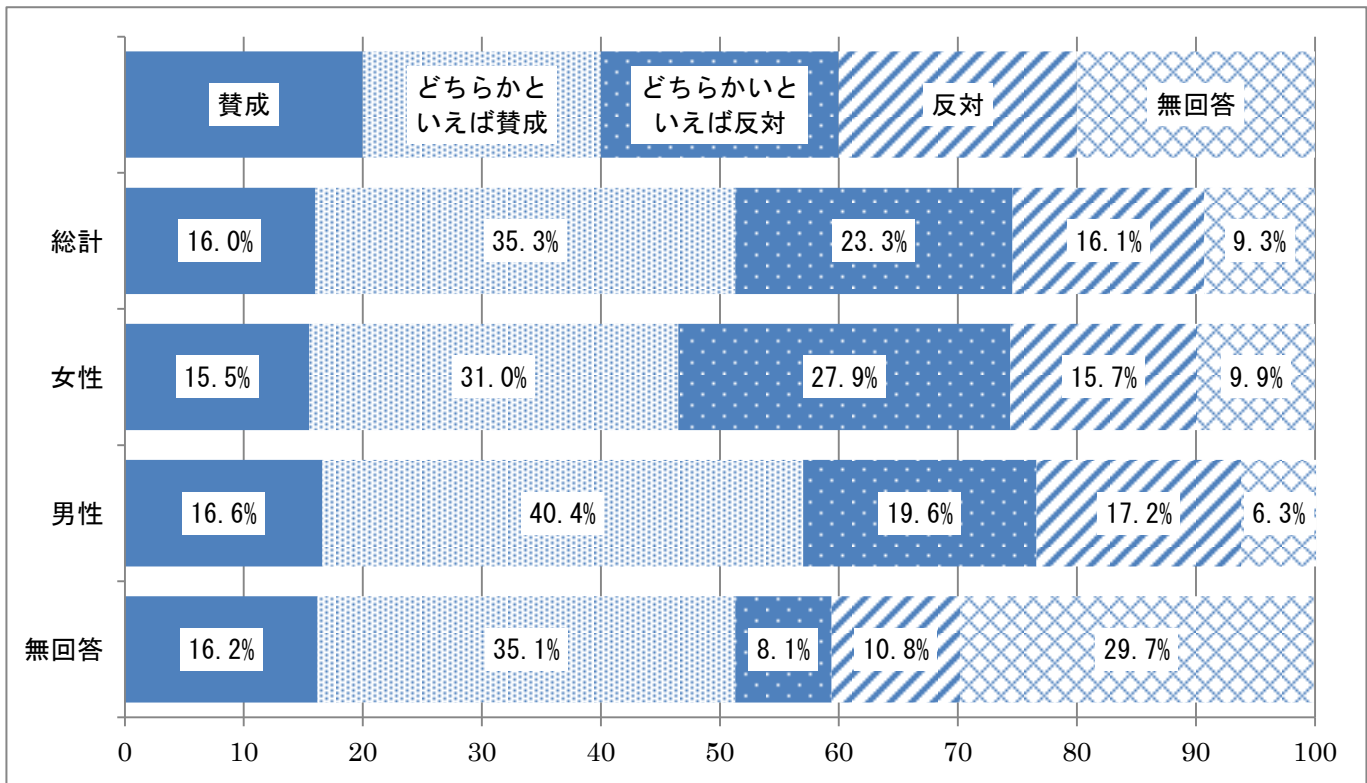
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、「賛成」とする割合は 51.3%（「賛成」16.0%+「どちらかといえば賛成」35.3%）と 5 割を超え、「反対」とする人の割合は 39.4%（「反対」16.1%+「どちらかといえば反対」23.3%）と「賛成」が「反対」を 11.9 ポイント上回っている。

男女別にみると、「賛成」とする人の割合が男性では 57%と半数以上が肯定しているのに対し、女性は「賛成」46.5%、「反対」43.6%と意見が割れた。

年代別にみると 80 歳以上で「賛成」とする人の割合が最も高く、次いで 60 代の順となっており、いずれも 5 割をこえている。一方、「賛成」とする人の割合が最も低いのは 30 代で 31.3%、次いで 40 代で 40%の順になっている。

国が平成 24 年に実施した調査では、「賛成」とする人の割合が 51.6%（「賛成」12.9%+「どちらかといえば賛成」38.7%）、「反対」とする人の割合が 45.1%（「どちらかといえば反対」27.9%+「反対」17.2%）と、「反対」が「賛成」を 5.5 ポイント上回っている。

図表：「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という意識について



（２）家庭等における固定的な性別役割分担について・・・問４

「妻や子どもを養うのは、男性の責任である」「女性は結婚したら自分のことより、家族を中心に考えるべきである」「女性は仕事を持つのはよいが、家事、育児もきちんとすべきである」の３項目で肯定的な回答（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）の割合が５割をこえている。

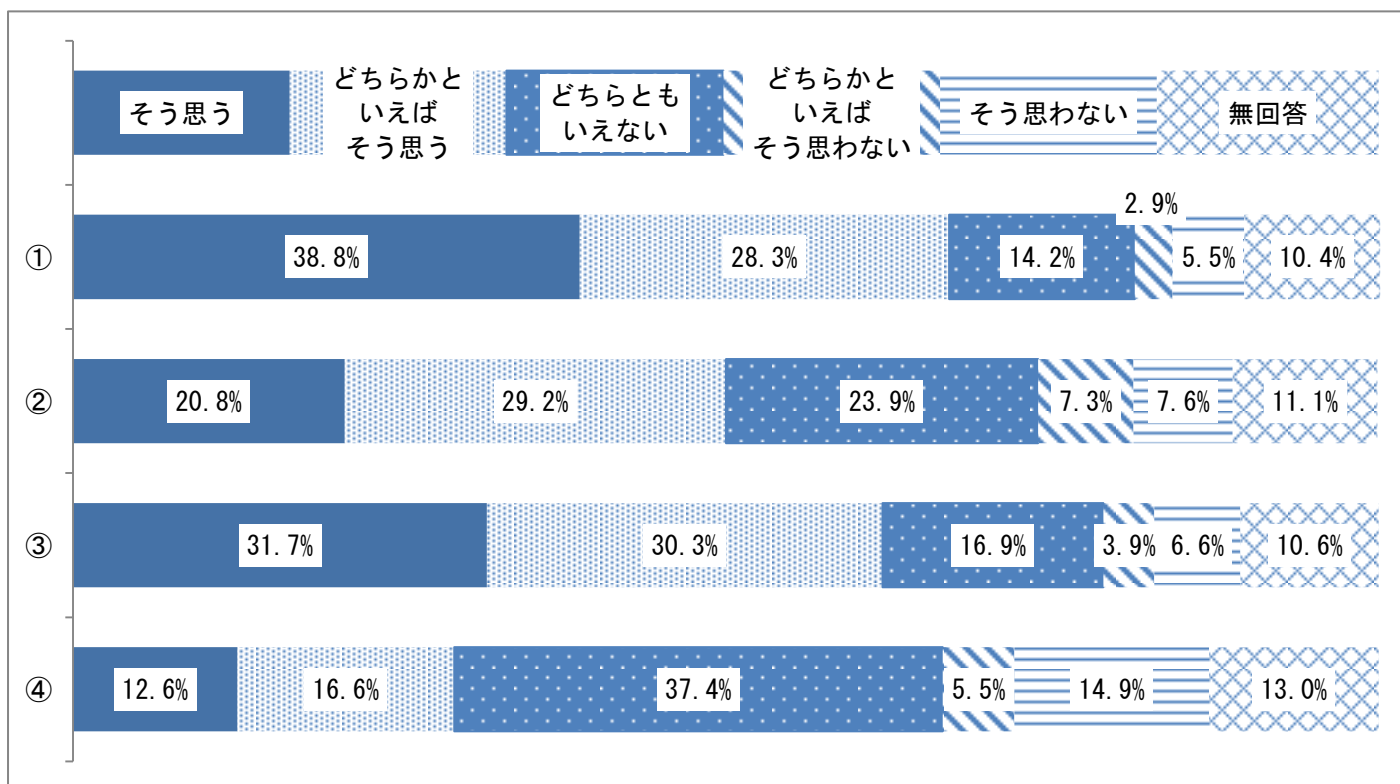
男女別にみると、男女ともに「妻や子どもを養うのは、男性の責任である」「女性は仕事を持つのはよいが、家事、育児もきちんとすべきである」で肯定的な回答が６割をこえている。一方、否定的な回答（「そうは思わない」＋「どちらかといえばそう思わない」）はすべての項目で２割未満となっている。

男女別にみると、「妻や子どもを養うのは、男性の責任である」という項目以外では、女性より男性の方が、否定的な回答の割合が高くなっている。

年代別にみると、60代～80歳以上では、「妻や子どもを養うのは、男性の責任である」「女性は結婚したら自分のことより、家族を中心に考えるべきである」「女性は仕事を持つのはよいが、家事、育児もきちんとすべきである」の３項目で肯定的な回答が５割をこえている。

一方、20代と40代で「男性の方が女性より、管理職としての素質がある」という項目で、否定的な回答が、肯定的な回答を上回った以外では、すべての年代において肯定的な回答の割合が否定的な回答の割合より高くなっている。

図表：固定的な性別役割分担に関する意識について



①妻や子どもを養うのは、男性の責任である

②女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである

③女性は仕事を持つのはよいが、家事、育児もきちんとすべきである

④男性の方が女性より、管理職としての素質がある

①妻や子どもを養うのは、男性の責任である

すべての項目の中で肯定的な回答が 67.1%（「そう思う」38.8%+「どちらかといえばそう思う」28.3%）と最も高く、否定的な回答が 8.4%（「そう思わない」5.5%+「どちらかというと思わない」2.9%）と最も低い。

男女別に見ると、肯定的な回答は女性で 60.6%（「そう思う」32.2%+「どちらかといえばそう思う」28.4%）、男性で 75.9%（「そう思う」47.3%+「どちらかといえばそう思う」28.6%）と男性が女性を 15.3%上回っている。

年代別に見ると、肯定的な回答がすべての年代で 5 割をこえ、50 代、60 代では 7 割をこえている。否定的な回答が最も高いのは 30 代で 14.7%と 2 割に満たない。

性・年代別にみると、肯定的な回答は、男性では 80 歳以上をのぞくすべての年代で 7 割をこえ、女性では 40 代、50 代、60 代、80 歳以上で 6 割をこえている。

図表：「妻や子どもを養うのは、男性の責任である」という意識について

選択項目		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80 以上		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	女性	3	15.0%	7	30.4%	15	26.3%	18	27.3%	24	34.3%	33	37.9%	27	39.7%	0	0.0%
	男性	4	28.6%	12	48.0%	22	43.1%	31	45.6%	26	43.3%	41	54.7%	22	59.5%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	37.5%
どちらかとい えばそう思う	女性	7	35.0%	5	21.7%	22	38.6%	28	42.4%	20	28.6%	15	17.2%	14	20.6%	1	33.3%
	男性	6	42.9%	6	24.0%	15	29.4%	24	35.3%	24	40.0%	16	21.3%	3	8.1%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	7	21.9%
どちらともい えない	女性	7	35.0%	5	21.7%	14	24.6%	11	16.7%	12	17.1%	14	16.1%	6	8.8%	1	33.3%
	男性	3	21.4%	5	20.0%	9	17.6%	5	7.4%	3	5.0%	6	8.0%	2	5.4%	1	50.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	12.5%
どちらかとい えばそう思わ ない	女性	1	5.0%	1	4.3%	1	1.8%	3	4.5%	2	2.9%	2	2.3%	1	1.5%	0	0.0%
	男性	1	7.1%	1	4.0%	2	3.9%	0	0.0%	1	1.7%	1	1.3%	3	8.1%	1	50.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%
そう思わない	女性	2	10.0%	4	17.4%	5	8.8%	5	7.6%	4	5.7%	3	3.4%	3	4.4%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	1	4.0%	2	3.9%	7	10.3%	2	3.3%	1	1.3%	1	2.7%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.3%
無回答	女性	0	0.0%	1	4.3%	0	0.0%	1	1.5%	8	11.4%	20	23.0%	17	25.0%	1	33.3%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	1	1.5%	4	6.7%	10	13.3%	6	16.2%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	2	100%	6	18.8%
合計	女性	20	100%	23	100%	57	100%	66	100%	70	100%	87	100%	68	100%	3	100%
	男性	14	100%	25	100%	51	100%	68	100%	60	100%	75	100%	37	100%	2	100%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100%	2	100%	32	100%

②女性は結婚したら自分のことより、家族を中心に考えるべきである

すべての項目の中で肯定的な回答が50%（「そう思う」20.8%+「どちらかといえばそう思う」28.3%）と2番目に低くなっている。

男女別にみると肯定的な回答が女性で53.3%（「そう思う」22.6%+「どちらかといえばそう思う」30.7%）、男性で47%（「そう思う」19.9%+「どちらかといえばそう思う」27.1%）と、女性が男性より6.3ポイント上回っている。

年代別でみると、肯定的な回答が最も低いのは30代で3割に満たないが、40代～80歳以上では4割をこえている。

性・年代別でみると、20代男性で「そう思う」とする回答は無いが、8歳以上の男性では肯定的な回答が6割をこえている。70代、80歳以上の年代以外では、肯定的な回答が男性より女性の方が上回っている。

図表：「女性は結婚したら自分のことより、家族を中心に考えるべきである」という意識

選択項目		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80 以上		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	女性	3	15.0%	2	8.7%	6	10.5%	10	15.2%	17	24.3%	26	29.9%	24	35.3%	1	33.3%
	男性	0	0.0%	1	4.0%	5	9.8%	9	13.2%	14	23.3%	21	28.0%	16	43.2%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	12.5%
どちらかとい えばそう思う	女性	7	35.0%	5	21.7%	21	36.8%	20	30.3%	29	41.4%	22	25.3%	17	25.0%	0	0.0%
	男性	3	21.4%	5	20.0%	12	23.5%	23	33.8%	17	28.3%	21	28.0%	9	24.3%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	10	31.3%
どちらともい えない	女性	7	35.0%	5	21.7%	18	31.6%	19	28.8%	11	15.7%	13	14.9%	8	11.8%	1	33.3%
	男性	6	42.9%	10	40.0%	20	39.2%	25	36.8%	15	25.0%	15	20.0%	2	5.4%	1	50.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	18.8%
どちらかとい えばそう思わ ない	女性	1	5.0%	4	17.4%	5	8.8%	9	13.6%	3	4.3%	4	4.6%	3	4.4%	0	0.0%
	男性	2	14.3%	3	12.0%	8	15.7%	3	4.4%	7	11.7%	2	2.7%	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.3%
そう思わない	女性	2	10.0%	6	26.1%	6	10.5%	7	10.6%	2	2.9%	5	5.7%	0	0.0%	0	0.0%
	男性	3	21.4%	6	24.0%	5	9.8%	7	10.3%	3	5.0%	3	4.0%	1	2.7%	1	50.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%
無回答	女性	0	0.0%	1	4.3%	1	1.8%	1	1.5%	8	11.4%	17	19.5%	16	23.5%	1	33.3%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	1	1.5%	4	6.7%	13	17.3%	9	24.3%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	2	100%	9	28.1%
合計	女性	20	100%	23	100%	57	100%	66	100%	70	100%	87	100%	68	100%	3	100%
	男性	14	100%	25	100%	51	100%	68	100%	60	100%	75	100%	37	100%	2	100%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100%	2	100%	32	100%

③女性の仕事を持つのはよい が、家事、育児もきちんとすべきである

「妻や子どもを養うのは、男性の責任である」に次いで、肯定的な回答が62%（「そう思う」31.7%+「どちらかといえばそう思う」30.3%）と高くなっている。

男女別にみると、肯定的な回答が女性で63.2%（「そう思う」33.5%+「どちらかといえばそう思う」29.7%）、男性で62%（「そう思う」31.0%+「どちらかといえばそう思う」31.0%）と、すべての項目の中で最も差が小さくなっている。

年代別にみると、肯定的な回答が、20代～40代では5割、50代～80歳以上では6割をこえている。また、80歳以上では否定的（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）な回答がなかった。

性・年代別にみると、否定的な回答が最も高いのは20代男性である。また、40代以外のすべて年代で、否定的な回答が女性より男性が上回っている。

図表：「女性の仕事を持つのはよい が、家事、育児もきちんとすべきである」という意識について

選択項目		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80 以上		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	女性	8	40.0%	3	13.0%	9	15.8%	22	33.3%	22	31.4%	36	41.4%	31	45.6%	1	33.3%
	男性	2	14.3%	4	16.0%	8	15.7%	20	29.4%	21	35.0%	28	37.3%	19	51.4%	1	50.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	6	18.8%
どちらかとい えばそう思う	女性	5	25.0%	11	47.8%	26	45.6%	22	33.3%	19	27.1%	20	23.0%	14	20.6%	0	0.0%
	男性	5	35.7%	9	36.0%	21	41.2%	21	30.9%	22	36.7%	18	24.0%	7	18.9%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	9	28.1%
どちらともい えない	女性	3	15.0%	6	26.1%	10	17.5%	14	21.2%	17	24.3%	9	10.3%	6	8.8%	1	33.3%
	男性	3	21.4%	8	32.0%	13	25.5%	14	20.6%	7	11.7%	11	14.7%	2	5.4%	1	50.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	12.5%
どちらかとい えばそう思わ ない	女性	2	10.0%	0	0.0%	4	7.0%	3	4.5%	2	2.9%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
	男性	2	14.3%	1	4.0%	5	9.8%	3	4.4%	3	5.0%	3	4.0%	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%
そう思わない	女性	2	10.0%	2	8.7%	7	12.3%	5	7.6%	3	4.3%	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%
	男性	2	14.3%	3	12.0%	3	5.9%	9	13.2%	4	6.7%	4	5.3%	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	12.5%
無回答	女性	0	0.0%	1	4.3%	1	1.8%	0	0.0%	7	10.0%	19	21.8%	17	25.0%	1	33.3%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	1	1.5%	3	5.0%	11	14.7%	9	24.3%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	1	50.0%	8	25.0%
合計	女性	20	100%	23	100%	57	100%	66	100%	70	100%	87	100%	68	100%	3	100%
	男性	14	100%	25	100%	51	100%	68	100%	60	100%	75	100%	37	100%	2	100%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100%	2	100%	32	100%

④男性の方が女性より、管理職としての素質がある

すべての項目の中で肯定的な回答が 29.2%（「そう思う」12.6%+「どちらかといえばそう思う」16.6%）と最も低く、否定的な回答が 20.4%（「どちらかといえばそう思わない」5.5%+「そう思わない」14.9%）と最も高くなっている。また、「どちらともいえない」という回答が 37.4%と最も高くなっているのもこの項目となっている。

年代別でみると、すべての項目の中で、否定的な回答の割合が、肯定的な回答を上回ったのは、この項目の 20 代と 40 代のみとなっている。

図表：「男性の方が女性より、管理職としての素質がある」という意識について

選択項目		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80 以上		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	女性	1	5.0%	0	0.0%	4	7.0%	3	4.5%	12	17.1%	18	20.7%	17	25.0%	0	0.0%
	男性	1	7.1%	1	4.0%	3	5.9%	7	10.3%	7	11.7%	10	13.3%	8	21.6%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	12.5%
どちらかといえばそう思う	女性	1	5.0%	3	13.0%	13	22.8%	13	19.7%	11	15.7%	11	12.6%	7	10.3%	1	33.3%
	男性	1	7.1%	2	8.0%	5	9.8%	20	29.4%	13	21.7%	13	17.3%	7	18.9%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	18.8%
どちらともいえない	女性	14	70.0%	12	52.2%	26	45.6%	34	51.5%	26	37.1%	18	20.7%	12	17.6%	1	33.3%
	男性	9	64.3%	15	60.0%	29	56.9%	23	33.8%	25	41.7%	23	30.7%	7	18.9%	1	50.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	8	25.0%
どちらかといえばそう思わない	女性	0	0.0%	2	8.7%	4	7.0%	1	1.5%	6	8.6%	5	5.7%	4	5.9%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	1	4.0%	4	7.8%	5	7.4%	3	5.0%	3	4.0%	3	8.1%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%
そう思わない	女性	4	20.0%	6	26.1%	8	14.0%	12	18.2%	8	11.4%	14	16.1%	4	5.9%	0	0.0%
	男性	3	21.4%	6	24.0%	9	17.6%	12	17.6%	8	13.3%	13	17.3%	2	5.4%	1	50.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	12.5%
無回答	女性	0	0.0%	0	0.0%	2	3.5%	3	4.5%	7	10.0%	21	24.1%	24	35.3%	1	33.3%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	1	1.5%	4	6.7%	13	17.3%	10	27.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	2	100%	9	28.1%
合計	女性	20	100%	23	100%	57	100%	66	100%	70	100%	87	100%	68	100%	3	100%
	男性	14	100%	25	100%	51	100%	68	100%	60	100%	75	100%	37	100%	2	100%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100%	2	100%	32	100%

3. 政策方針決定過程への女性の参画について

(1) 政策方針決定過程への女性の参画に関する意識について・・・問3

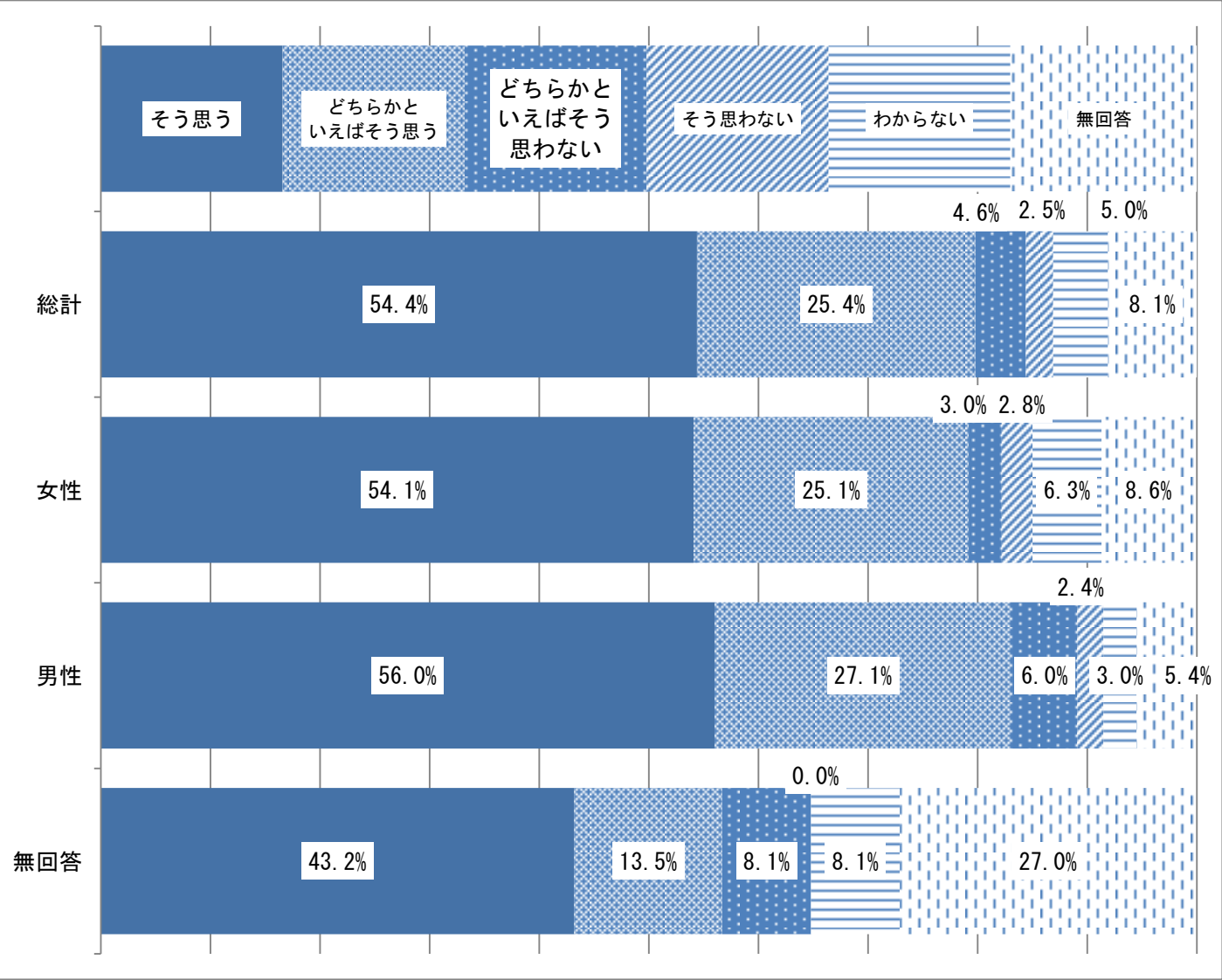
政策企画立案や方針決定の場に女性の意見が反映されるようになればいいと思うかについて、肯定的な回答が79.8%（「そう思う」54.4%+「どちらかといえばそう思う」25.4%）と高くなっている。

男女別にみると、男性で83.1%、女性では79.2%と肯定的に考える割合が高い。

年代別でみると、肯定的な回答は40代が89.9%と最も高く、80代が68.3%と最も低い。また、否定的な回答は50代で9.8%（「そう思わない」2.3%+「どちらかといえばそう思わない」7.5%）と最も高くなっている。20代では「そう思わない」とする回答と30代で「どちらかといえばそう思わない」とする回答はなかった。

性・年代別にみると、40代と20代女性で肯定的な回答が9割をこえているのに対し、男性で肯定的な回答が9割をこえた年代はなかった。

図表：政策企画立案や方針決定の場に女性の意見が反映されるようになればいいと思うかについて



図表：政策企画立案や方針決定の場に女性の意見が反映されるようになればいいと思うかについて（性・年代別）

選択項目		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	女性	15	75.0%	13	56.5%	35	61.4%	46	69.7%	33	47.1%	44	50.6%	26	38.2%	1	33.3%
	男性	10	71.4%	15	60.0%	34	66.7%	38	55.9%	28	46.7%	41	54.7%	19	51.4%	1	50.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	15	46.9%
どちらかといえば思う	女性	3	15.0%	7	30.4%	18	31.6%	13	19.7%	25	35.7%	15	17.2%	17	25.0%	1	33.3%
	男性	2	14.3%	7	28.0%	10	19.6%	16	23.5%	21	35.0%	23	30.7%	11	29.7%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	15.6%
どちらかといえば思わない	女性	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	2	3.0%	2	2.9%	3	3.4%	4	5.9%	0	0.0%
	男性	2	14.3%	0	0.0%	2	3.9%	8	11.8%	5	8.3%	1	1.3%	2	5.4%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	9.4%
そう思わない	女性	0	0.0%	1	4.3%	0	0.0%	2	3.0%	2	2.9%	3	3.4%	3	4.4%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	1	4.0%	2	3.9%	1	1.5%	2	3.3%	1	1.3%	1	2.7%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	女性	1	5.0%	2	8.7%	3	5.3%	3	4.5%	4	5.7%	5	5.7%	7	10.3%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	2	8.0%	2	3.9%	3	4.4%	0	0.0%	3	4.0%	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	2	6.3%
無回答	女性	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	5.7%	17	19.5%	11	16.2%	1	33.3%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	2	2.9%	4	6.7%	6	8.0%	4	10.8%	1	50.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	2	100%	7	21.9%

4. 家庭での役割分担について

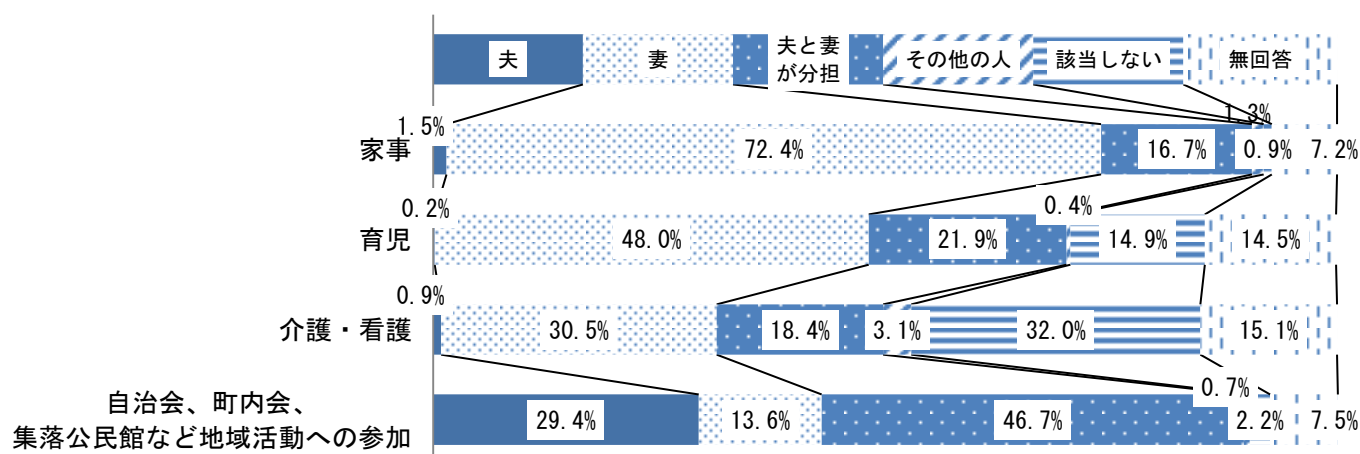
（１）家事等における役割分担について・・・問５

家庭での役割分担について、「夫と妻が分担」する人の割合が最も高いのは「自治会、町内会、集落公民館など地域活動への参加」で46.7%、最も低いのは「家事」で16.7%となっており。また、「妻」が主に行っているとする人の割合が高かったのは「家事」72.4%、「育児」48.0%、低かったのは「自治会、町内会、集落公民館など地域活動への参加」で13.6%となっている。一方、「夫」が主に行っているとする人の割合が最も高いのは、「自治会、町内会、集落公民館など地域活動での参加」29.4%、最も低いのは「育児」で0.2%となっている。

年代別に見ると、50代が「自治会、町内会、集落公民館など地域活動への参加」以外のすべての項目で「妻」が主に行っているとする人の割合が最も高くなっている。

性・年代別にみると、すべての項目において、70代女性と男性で無回答が多くなっている。また、30代男性で「家事」「育児」を「妻」が行っていると回答した割合が最も高い。

図表：家事等の役割分担について



①家事

「妻」が主に行っているとする人の割合が 72.4%で最も高くなっている。

性・年代別にみると、30代男性で「妻」とする割合が最も高く、85.7%となっている。

図表：「家事」の役割分担（性・年代別）

選択項目	性別	20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80歳以上		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%	3	4.8%	1	4.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
妻	女性	5	71.4%	12	75.0%	32	78.0%	38	80.9%	41	85.4%	31	57.4%	11	78.6%	0	0.0%
	男性	1	25.0%	12	85.7%	17	56.7%	36	81.8%	35	79.5%	42	67.7%	16	64.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%
夫と妻が分担	女性	2	28.6%	4	25.0%	9	22.0%	7	14.9%	3	6.3%	8	14.8%	2	14.3%	1	100.0%
	男性	3	75.0%	2	14.3%	11	36.7%	5	11.4%	6	13.6%	9	14.5%	4	16.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他の人	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	1	3.3%	1	2.3%	0	0.0%	1	1.6%	1	4.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%
該当しない	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	1	2.1%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	3	6.3%	12	22.2%	1	7.1%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	2	4.5%	7	11.3%	3	12.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%	1	33.3%

②「育児」

「妻」が主におこなっているとする人の割合が48.0%で最も高くなっている。

性・年代別にみると、30代男性で「妻」とする割合が最も高く、64.3%となっている。また、「夫と妻が分担」とする人の割合が最も高くなっているのは20代女性である。

図表：「育児」の役割分担（性・年代別）

選択項目	性別	20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80歳以上		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
妻	女性	2	18.2%	6	20.0%	18	25.4%	29	31.9%	30	32.6%	20	16.9%	8	20.0%	0	0.0%
	男性	1	9.1%	9	30.0%	10	14.1%	26	28.6%	27	29.3%	22	18.6%	11	27.5%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
夫と妻が分担	女性	4	36.4%	9	30.0%	17	23.9%	8	8.8%	7	7.6%	6	6.5%	1	2.5%	0	0.0%
	男性	2	18.2%	5	16.7%	13	18.3%	7	1.7%	6	6.5%	11	9.3%	2	5.0%	0	100.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他の人	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
該当しない	女性	1	9.1%	1	3.3%	6	8.5%	9	9.9%	5	5.4%	10	8.5%	1	2.5%	0	0.0%
	男性	1	9.1%	0	0.0%	6	8.5%	9	9.9%	5	5.4%	9	7.6%	5	12.5%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	6	6.5%	18	15.3%	4	10.0%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	5	5.4%	20	16.9%	7	17.5%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	1	2.5%	2	100.0%

③「介護・看護」

「妻」が主に行っているとする人の割合が 30.5%で最も高くなっている。

性・年代別にみると、50 代女性で「妻」とする人の割合が最も高く、46.8%となっている。

図表：「介護・看護」の役割分担（性・年代別）

選択項目	性別	20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80 歳以上		無回答	
		人 数	構成 比	人 数	構成 比	人 数	構成 比	人 数	構成 比	人 数	構成 比	人 数	構成 比	人 数	構成 比	人 数	構成 比
夫	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	2	3.2%	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
妻	女性	2	28.6%	1	6.3%	12	29.3%	22	46.8%	18	37.5%	11	20.4%	7	50.0%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	1	7.1%	7	23.3%	16	36.4%	18	40.9%	17	27.4%	7	28.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
夫と妻が分担	女性	2	28.6%	1	6.3%	4	9.8%	10	21.3%	9	18.8%	8	14.8%	4	28.6%	1	100.0%
	男性	0	0.0%	1	7.1%	6	20.0%	10	22.7%	9	20.5%	13	21.0%	5	20.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%
その他の人	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	3	6.3%	2	3.7%	0	0.0%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	1	7.1%	1	3.3%	3	6.8%	0	0.0%	2	3.2%	1	4.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
該当しない	女性	3	42.9%	13	81.3%	25	61.0%	12	25.5%	10	20.8%	12	22.2%	0	0.0%	0	0.0%
	男性	3	75.0%	11	78.6%	16	53.3%	14	31.8%	10	22.7%	10	16.1%	6	24.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%
無回答	女性	0	0.0%	1	6.3%	0	0.0%	2	4.3%	8	16.7%	20	37.0%	3	21.4%	0	0.0%
	男性	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	6	13.6%	18	29.0%	6	24.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%	1	33.3%

④「自治会、町内会、集落公民館活動への参加」

「夫と妻が分担」して行っているとする人の割合が 46.7%で最も高くなっている。

性・年代別にみると、20 代男性で「夫と妻が分担」とする人の割合が最も高く、100%となっている。

図表：「自治会、町内会、集落公民館活動への参加」の役割分担（性・年代別）

選択項目	性別	20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80 歳以上		無回答	
		人 数	構成 比	人 数	構成 比	人 数	構成 比	人 数	構成 比	人 数	構成 比	人 数	構成 比	人 数	構成 比	人 数	構成 比
夫	女性	2	28.6%	5	31.3%	8	19.5%	5	10.6%	11	22.9%	13	24.1%	3	21.4%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	6	42.9%	6	20.0%	15	34.1%	25	56.8%	20	32.3%	12	48.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%
妻	女性	0	0.0%	0	0.0%	8	19.5%	7	14.9%	7	14.6%	14	25.9%	3	21.4%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	3	10.0%	3	6.8%	4	9.1%	9	14.5%	4	16.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
夫と妻が分担	女性	5	71.4%	11	68.8%	25	61.0%	34	72.3%	23	47.9%	11	20.4%	5	35.7%	1	100.0%
	男性	4	100.0%	8	57.1%	20	66.7%	25	56.8%	13	29.5%	21	33.9%	7	28.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他の人	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.2%	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
該当しない	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	6.3%	4	7.4%	0	0.0%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	1	4.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	4	8.3%	11	20.4%	3	21.4%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	2	4.5%	9	14.5%	1	4.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%

5. 働くことについて

(1) 現在の職業について・・・問6

男女別にみると、「常勤の勤め（公務員、教員、社員等）」に就いている人の割合は女性で 10.4%、男性で 30.1%と男性の方が3倍ほど高くなっている。一方、「非常勤の勤め（パート、アルバイト、嘱託、臨時職員）」に就いている人の割合は男性で 15.1%、女性で 18.0%と女性の方が高くなっている。

年代別にみると、20代～50代において、「無職」とする人の割合が最も高いのは、50代の 10.4%である。

(2) 希望する働き方について・・・問7

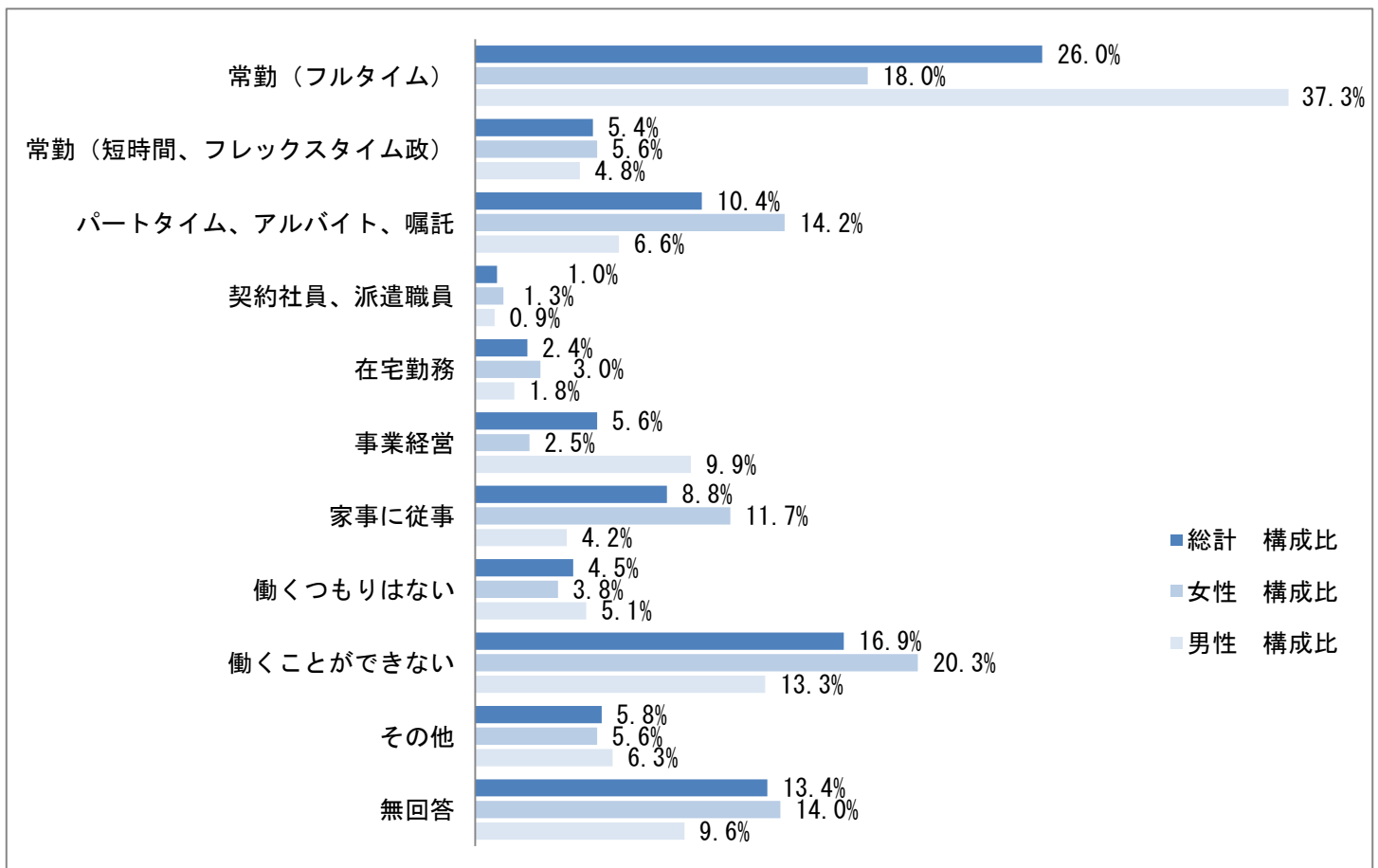
働く形態の希望については、「働くことができない」以外で、「常勤（フルタイム）」26.0%が最も高く、次いで「無回答」13.4%となっている。

男女別にみると、女性では「働くことができない」以外で、「常勤（フルタイム）」18.0%、男性も「常勤（フルタイム）」37.3%が最も高く、男女ともに「契約社員、派遣社員」への希望が最も低くなっている。働く形態の希望について「常勤（フルタイム）」で男女の回答の差が最も大きく、男性が女性を 19.3 ポイント上回っている。

年代別にみると、「常勤（フルタイム）」を希望する割合が最も高いのは 30代（62.5%）で、20代（61.8%）、40代（54.6%）、50代（44.8%）の順になっている。

性・年代別にみると、「常勤（フルタイム）」を希望する割合が最も高いのは 30代男性（80%）で、次いで 40代男性（72.5%）、20代女性（65%）の順になっている。一方、「パートタイム、アルバイト、嘱託」を希望する割合が最も高いのは 30代女性（34.8%）、次いで 40代女性（29.8%）、50代女性（21.2%）の順となっている。

図表：働く形態の希望について



図表：働く形態の希望について（年代別・女性）

女性	総計		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
	人	構成	人	構成	人	構成	人	構成	人	構成	人	構成	人	構成	人	構成	人	構成
	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比
常勤（フルタイム）	71	18.0%	13	65.0%	10	43.5%	22	38.6%	21	31.8%	4	5.7%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
常勤（短時間勤務、フレックスタイム制）	22	5.6%	1	5.0%	3	13.0%	6	10.5%	8	12.1%	3	4.3%	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%
パートタイム、アルバイト、嘱託	56	14.2%	1	5.0%	8	34.8%	17	29.8%	14	21.2%	14	20.0%	1	1.1%	1	1.5%	0	0.0%
契約社員、派遣社員	5	1.3%	0	0.0%	1	4.3%	2	3.5%	1	1.5%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
在宅勤務	12	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.5%	4	6.1%	4	5.7%	1	1.1%	1	1.5%	0	0.0%
事業経営	10	2.5%	1	5.0%	1	4.3%	2	3.5%	3	4.5%	1	1.4%	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%
家事に従事	46	11.7%	1	5.0%	0	0.0%	2	3.5%	4	6.1%	12	17.1%	21	24.1%	6	8.8%	0	0.0%
働くつもりはない	15	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	4	5.7%	7	8.0%	3	4.4%	0	0.0%
働くことができない	80	20.3%	1	5.0%	0	0.0%	3	5.3%	5	7.6%	15	21.4%	26	29.9%	29	42.6%	1	33.3%
その他	21	5.3%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.0%	6	8.6%	6	6.9%	6	8.8%	0	0.0%
無回答	56	14.2%	1	5.0%	0	0.0%	1	1.8%	3	4.5%	6	8.6%	22	25.3%	21	30.9%	2	66.7%
合計	394	100.0%	20	100.0%	23	100.0%	57	100.0%	66	100.0%	70	100.0%	87	100.0%	68	100.0%	3	100.0%

図表：働く形態の希望について（年代別・男性）

男性	総計		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
	人	構成	人	構成	人	構成	人	構成	人	構成	人	構成	人	構成	人	構成	人	構成
	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比
常勤（フルタイム）	124	37.3%	8	57.1%	20	80.0%	37	72.5%	39	57.4%	15	25.0%	5	6.7%	0	0.0%	0	0.0%
常勤（短時間勤務、フレックスタイム制）	16	4.8%	1	7.1%	0	0.0%	2	3.9%	6	8.8%	7	11.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
パートタイム、アルバイト、嘱託	22	6.6%	1	7.1%	0	0.0%	2	3.9%	6	8.8%	7	11.7%	4	5.3%	0	0.0%	2	100.0%
契約社員、派遣社員	3	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	1	2.7%	0	0.0%
在宅勤務	6	1.8%	2	14.3%	1	4.0%	0	0.0%	1	1.5%	1	1.7%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
事業経営	33	9.9%	1	7.1%	3	12.0%	7	13.7%	10	14.7%	5	8.3%	6	8.0%	1	2.7%	0	0.0%
家事に従事	14	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	9.3%	6	16.2%	0	0.0%
働くつもりはない	17	5.1%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	6	10.0%	7	9.3%	2	5.4%	0	0.0%
働くことができない	44	13.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	2	2.9%	7	11.7%	20	26.7%	14	37.8%	0	0.0%
その他	21	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	5	8.3%	10	13.3%	5	13.5%	0	0.0%
無回答	32	9.6%	0	0.0%	1	4.0%	0	0.0%	2	2.9%	6	10.0%	15	20.0%	8	21.6%	0	0.0%
合計	332	100.0%	14	100.0%	25	100.0%	51	100.0%	68	100.0%	60	100.0%	75	100.0%	37	100.0%	2	100.0%

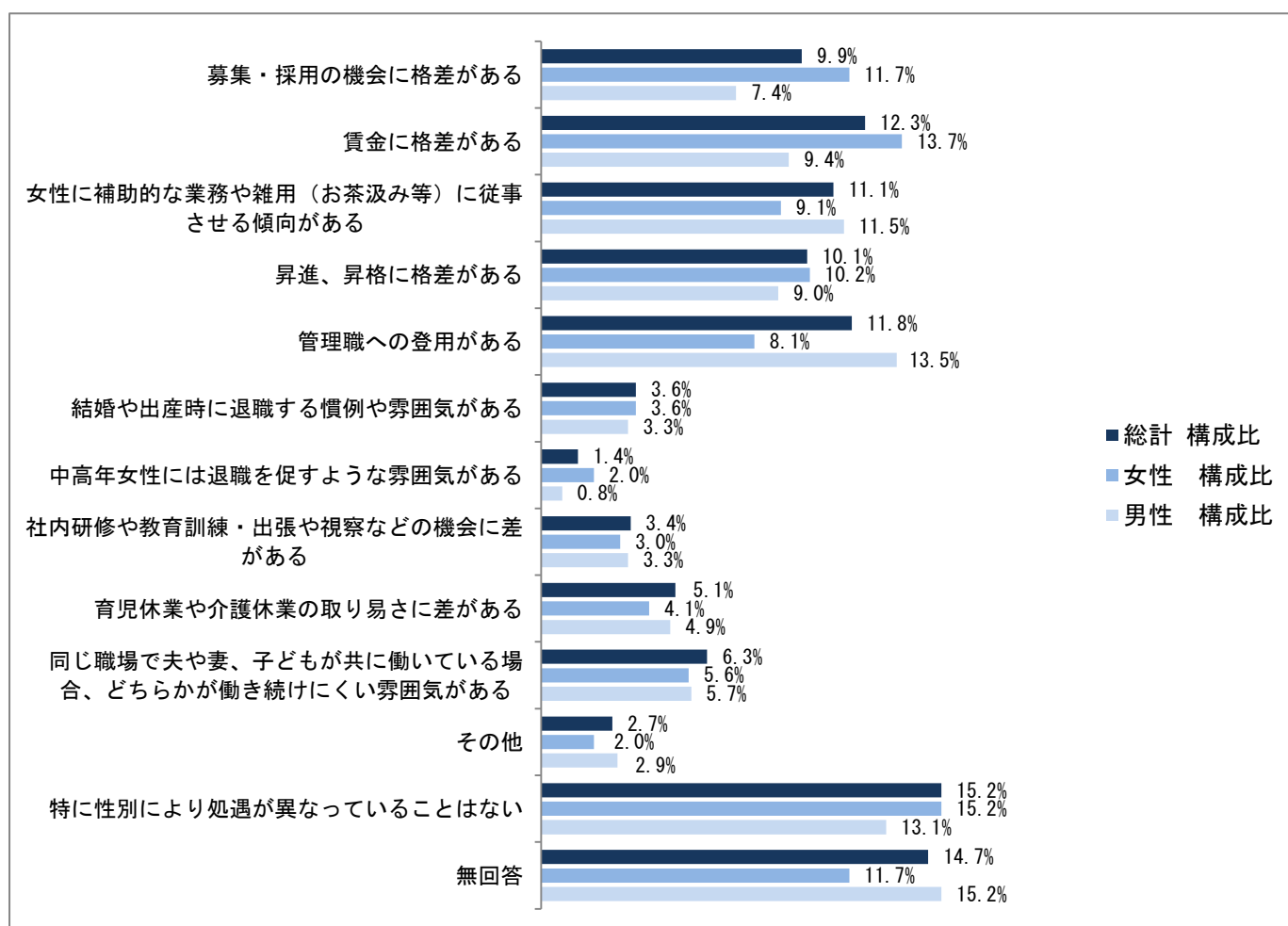
（３）職場での性別による処遇の格差について・・・問 8

職場での性別による処遇の格差については、回答の割合が高い順に「賃金に格差がある」12.3%、「管理職への登用に差がある」11.8%、「女性に補助的な業務や雑用（お茶汲み等）に従事させる傾向がある」11.1%となっている。

男女別にみると、女性で「特に性別に処遇が異なっていることはない」とする人の割合が15.2%と最も高く、男性の13.1%より約2ポイント上回っている。一方、男性は「管理職への登用」が13.5%と最も高く、女性の8.1%より5.4ポイント上回っている。

年代別にみると、30代の「特に性別により処遇が異なっていることはない」とする回答の割合が33.3%で最も高く、次いで40代の「女性に補助的な業務や雑用（お茶汲み等）に従事させる傾向がある」（15.4%）の順となっている。

図表：職場での性別による処遇の格差について（複数回答）



※その他

- ・ 現在、女性はいない
- ・ 人事内容等
- ・ 山に入る仕事の為か女性はいない
- ・ 休暇がとりづらい（特に土・日・祝）
- ・ 基本的に女性がいらない
- ・ 仕事内容が違うので比較できない
- ・ 何かを頼む時や仕事の内容について男性に聞き、最初から対等な立場として考えていない。
- ・ 女性が虐げられている自覚がない。基本的に女性は男性からの指示待ちである。

（４）就労規則に関する認識について・・・問９

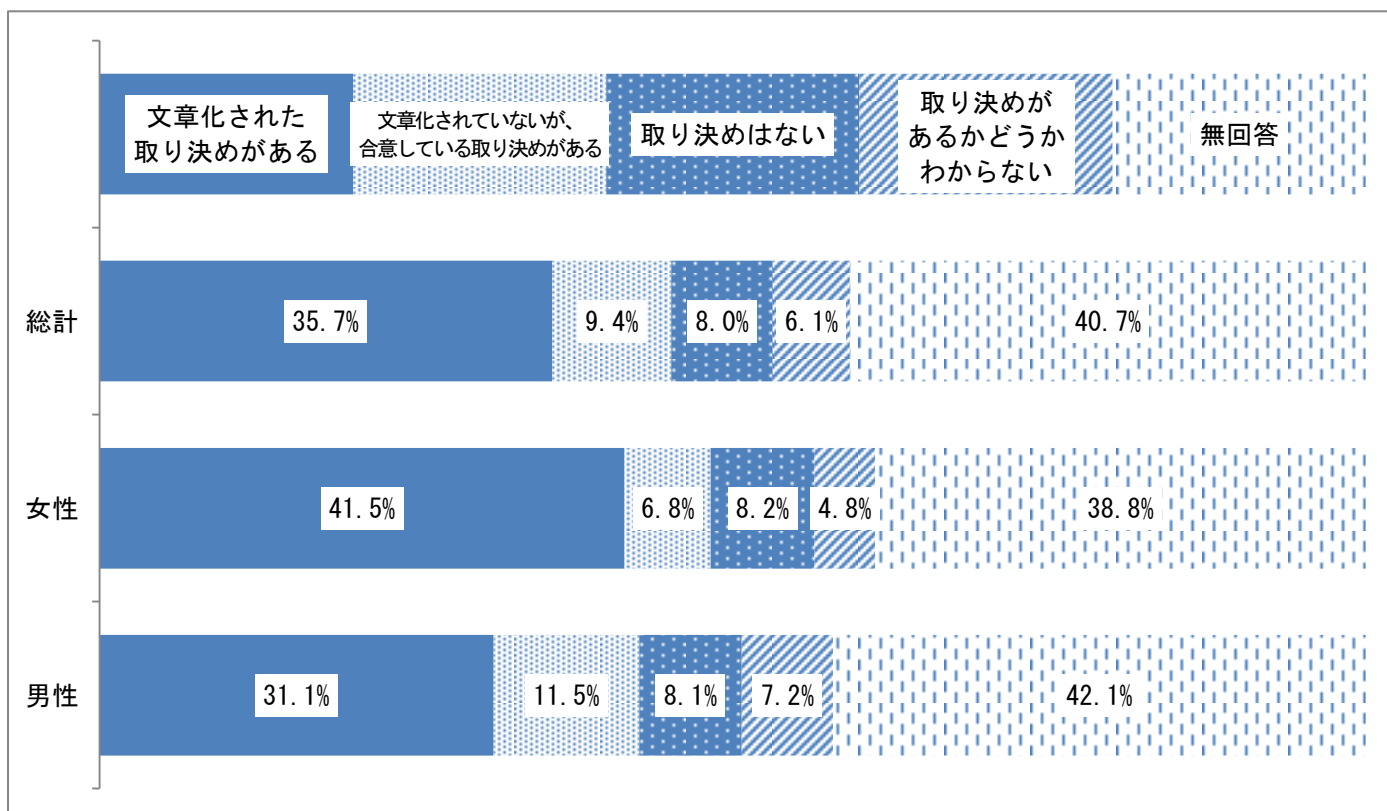
働く上での取り組めの有無については、「無回答」の割合が最も高く 40.7%、次いで「文章化された取り決めがある」35.7%、「文章化されていないが、合意している取り決めがある（口約束、暗黙の了解を含む）」(9.4%)、「取り決めはない」(8.0%)、「取り決めがあるかどうか分からない」(6.1%)の順になっている。

男女別にみると、「取り決めがあるかどうか分からない」とする回答が女性より男性の方が高くなっている。

年代別にみると、20～50代の中では20代「無回答」46.4%とする人の割合が最も高く、次いで30代「無回答」44.0%、40代「文章化された取り決めがある」44.0%の順となっている。

職業別にみると、「文章化された取り決めがある」とする割合は高い順に「常勤の勤め（公務員、教員、社員等）」52.4%、「非常勤の勤め（パート、アルバイト、嘱託、臨時職員）」40.2%、「商工サービス業（家族従事者）」33.3%となっている。一方、「取り決めはない」とする人の割合は高い順に「商工サービス業（家族従事者）」66.7%、「商工サービス（自営業主）」37.5%、「農林水産業（自営業主）」25.0%となっている。

図表：就労規則の有無について



（５）就労規則の実効性について・・・問１０

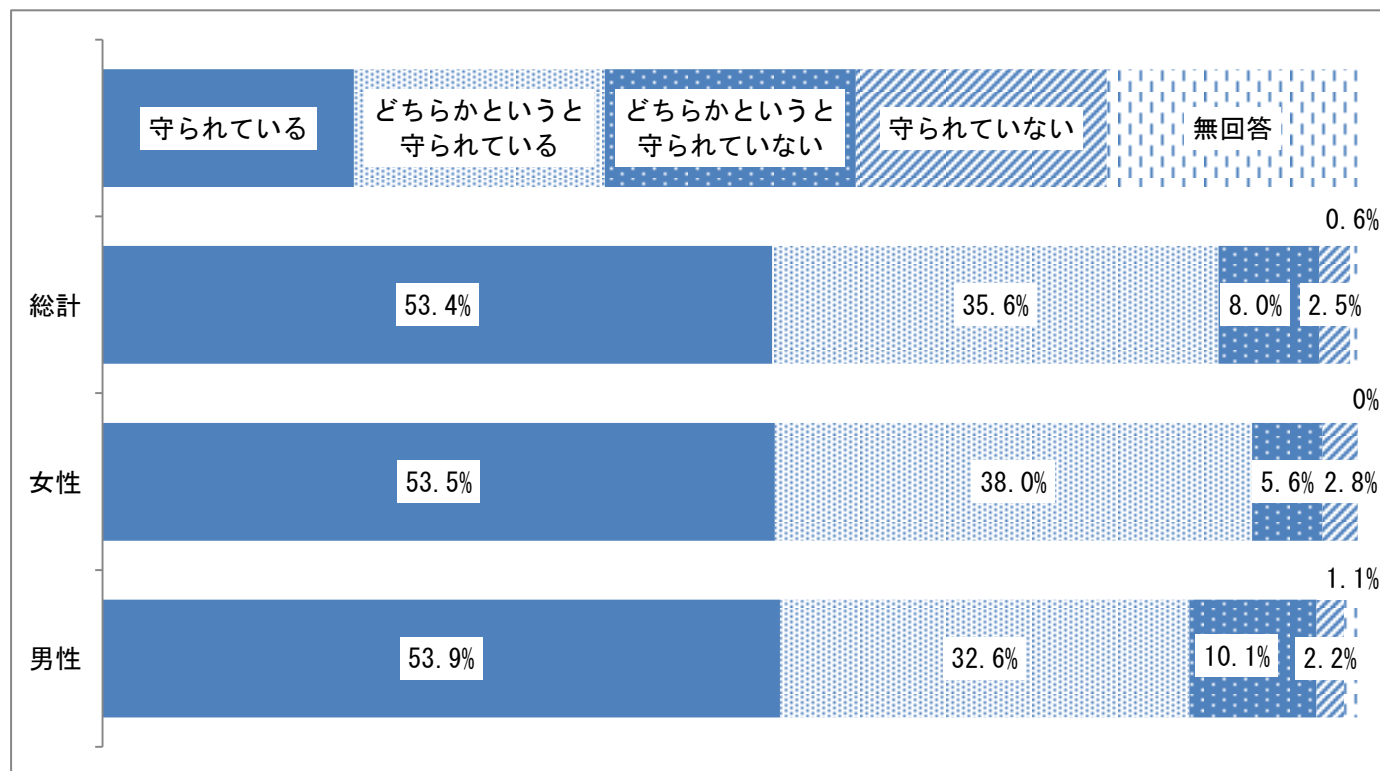
働くうえでの取り決めの実効性については、「守られている」53.4%、「どちらかというと言われている」35.6%、「どちらかというと言われていない」8.0%、「守られていない」2.5%の順となっている。また、「守られている」53.4%、「どちらかというと言われている」35.6%を合わせると９割に近い。

男女別にみると、「どちらかというと言われていない」とする人の割合は、女性（5.6%）に対し男性（10.1%）と約２倍の差がある。

年代別でみると、20代～60代の中で「守られている」とする人の割合が最も高いのは60代（64.7%）、最も低いのは20代（27.3%）となっており、37.4ポイントの差がある。また、「守られていない」とする人の割合が最も高いのも20代（18.2%）となっている。

職業別にみると、「守られている」とする人の割合は「その他自営業（家族従事者）」で100%、「農林水産業（家族従事者）」66.7%、「その他の自営業（自営主）」62.5%の順となっている。

図表：就労規則の実効性について



6. 地域社会との関わりについて

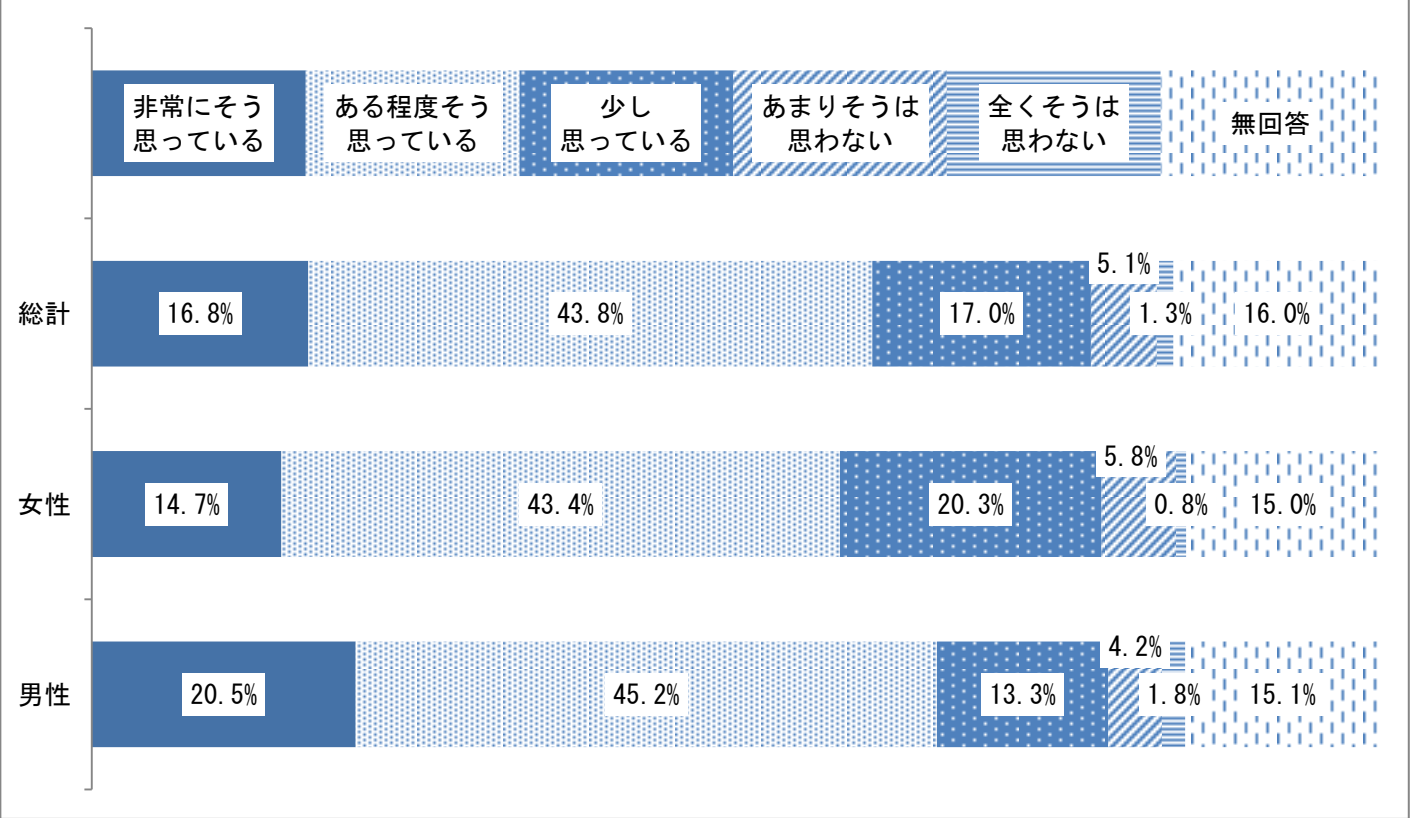
(1) 地域への貢献意欲について・・・問 1 1

地域への貢献意欲については、「ある程度そう思っている」(43.8%)、「少し思っている」(17.0%)、「非常にそう思っている」(16.8%)、「無回答」(16.0%)、「あまりそうは思わない」(5.1%)の順になっている。

年代別でみると、全ての年代で「ある程度そう思っている」とする人の割合が最も高くなっている。また、「非常にそう思っている」とする人の割合が最も高いのは、80代(24.3%)で、次いで30代(18.8%)、60代(16.9%)となっている。

性・年代別でみると、「全くそうは思わない」とする人の割合が最も高いのは20代男性7.1%となっている。

図表：地域への貢献意識



図表：参考（内閣府「社会意識に関する世論調査」平成 23 年）

大和村	非常にそう 思っている	ある程度そう 思っている	少しそう 思っている	あまりそうは 思わない	全くそうは 思わない	無回答
	16.8%	43.8%	17.0%	5.1%	1.3%	16.0%
国	思っている			あまり考えていない		
	66.0%			31.8%		

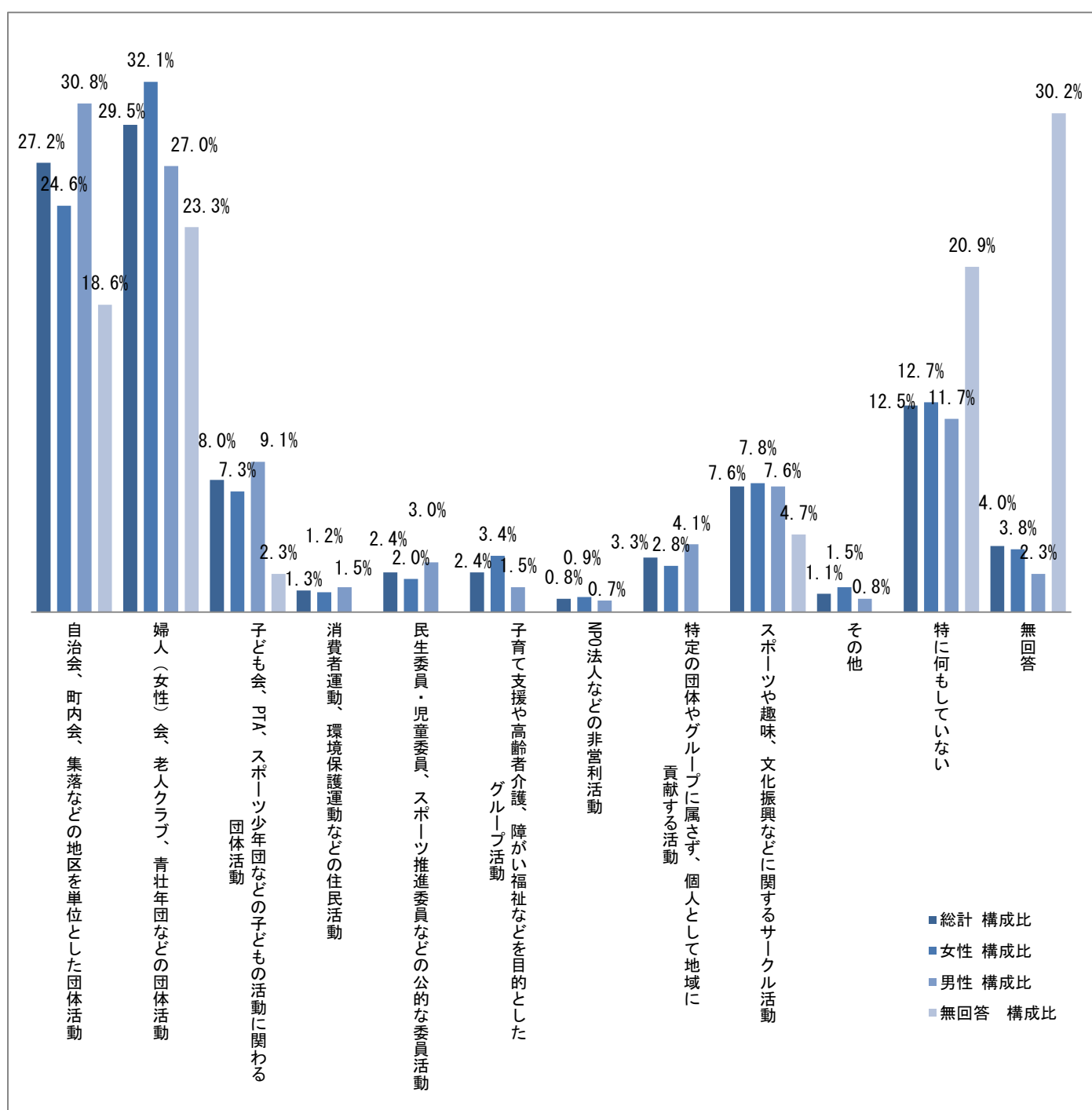
（２）どのような地域活動に関わっているかについて・・・問１２

実際にどのような地域活動に関わっているかについては、「婦人（女性）会、老人クラブ、青壮年団などの団体」（29.5%）、「自治会、町内会、集落などの地区を単位とした団体活動」（27.2%）、「特に何もしていない」（12.5%）の順になっている。

男女別にみると、女性では「婦人（女性）会、老人クラブ、青壮年団などの団体」（32.1%）、男性では「自治会、町内会、集落などの地区を単位とした団体活動」（30.8%）が最も高い。一方、最も低いのは男女とも「NPO法人などの非営利活動」女性（0.9%）、男性（0.7%）となっている。年代別でみると、80代の「婦人（女性）会、老人クラブ、青壮年団などの団体」（37.4%）がすべての項目の中で最も高い。また、すべての年代において「自治会、町内会、集落などの地区を単位とした団体活動」、「婦人（女性）会、老人クラブ、青壮年団などの団体」への回答の割合が２割をこえるが、他の活動で２割をこえる選択項目は無い。

性・年代別でみると、「特に何もしていない」と回答した割合が最も高いのは80歳以上の男性で29.3%、次いで60代男性19.8%、80代女性18.8%と続く。

図表：参加している地域活動（複数回答）



（３）地域活動のやりがいについて・・・問１３

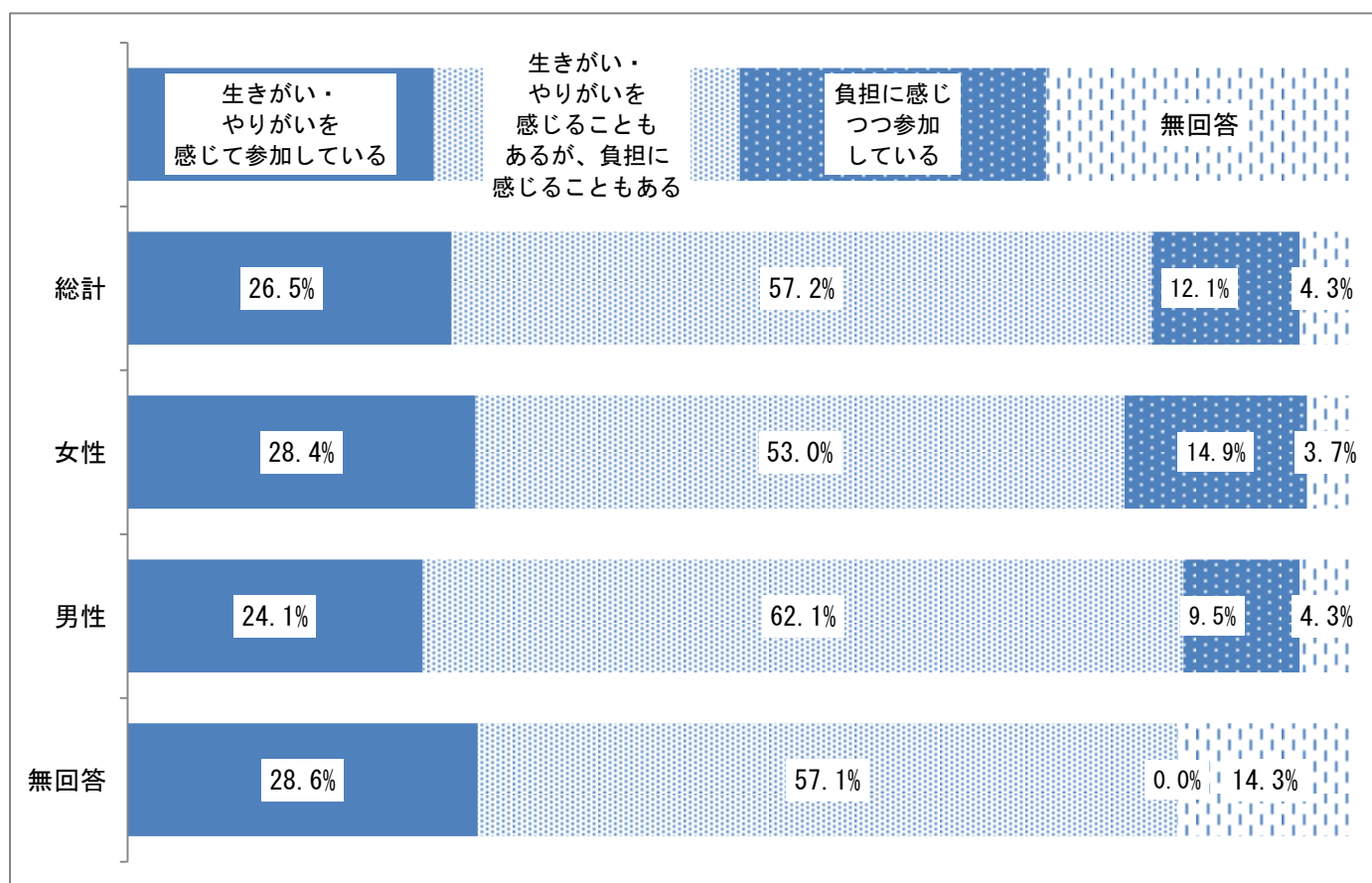
「自治会、町内会、集落などの地区を単位とした団体活動」・「婦人（女性）会、老人クラブ、青壮年団などの団体活動」・「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」をしている人に、活動に対する気持ちを尋ねたところ、回答の割合が高い順に「生きがい・やりがいを感じることもあるが、負担に感じることもある」（57.2%）、「生きがい・やりがいを感じている」（26.5%）、「負担に感じつつ参加している」（12.1%）となっている。

男女別にみると、男女ともに「生きがい・やりがいを感じることもあるが、負担に感じることもある」が５割をこえ、回答の割合が最も高くなっている。また、男性（62.1%）、女性（53.0%）と、男性は女性より約 10 ポイント上回っている。

年代別でみると、20 代～70 代で、「生きがい・やりがいを感じることもあるが、負担に感じることもある」と回答する割合が最も高く、20 代では５割をこえ、30 代～60 代では６割をこえている。一方、80 歳以上では、「生きがい・やりがいを感じている」が５割をこえ、全体と比較すると 25.2 ポイントの差がある。

性・年代別にみると、20 代と 40 代以外のすべての年代の女性は、「負担に感じつつ参加している」と回答する割合が同世代の男性の回答の割合の 2 倍以上となっている。

図表：「自治会、町内会、集落などの地区を単位とした団体活動」・「婦人（女性）会、老人クラブ、青壮年団などの団体活動」・「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」に参加している気持ちについて



図表：「自治会、町内会、集落などの地区を単位とした団体活動」に参加している気持ちについて

選択項目		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80-89		無回答	
		人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比
生きがい・やりがいを感じている	女性	4	14.8%	2	5.6%	3	3.4%	8	7.4%	10	12.5%	28	27.7%	21	35.0%	0	0.0%
	男性	2	7.40%	3	8.30%	8	9.0%	10	9.3%	9	11.3%	15	14.9%	9	15.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	3	23.1%
生きがい・やりがいを 感じることもあるが、負担に 感じることもある	女性	9	33.3%	8	22.2%	32	36.0%	34	31.5%	26	32.5%	19	18.8%	13	21.7%	1	7.7%
	男性	6	22.2%	16	44.4%	30	33.7%	38	35.2%	24	30.0%	24	23.8%	6	10.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	7	53.8%
負担に感じつつ参加している	女性	4	14.8%	5	13.9%	8	9.0%	9	8.3%	7	8.8%	5	5.0%	2	3.3%	0	0.0%
	男性	2	7.4%	2	5.6%	7	7.9%	4	3.7%	2	2.5%	2	2.0%	3	5.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	女性	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	0.9%	2	2.5%	3	3.0%	3	5.0%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	3.7%	0	0.0%	4	4.0%	2	3.3%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	15.4%
合計		27	100.0%	36	100.0%	89	100.0%	108	100.0%	80	100.0%	101	100.0%	60	100.0%	13	100.0%

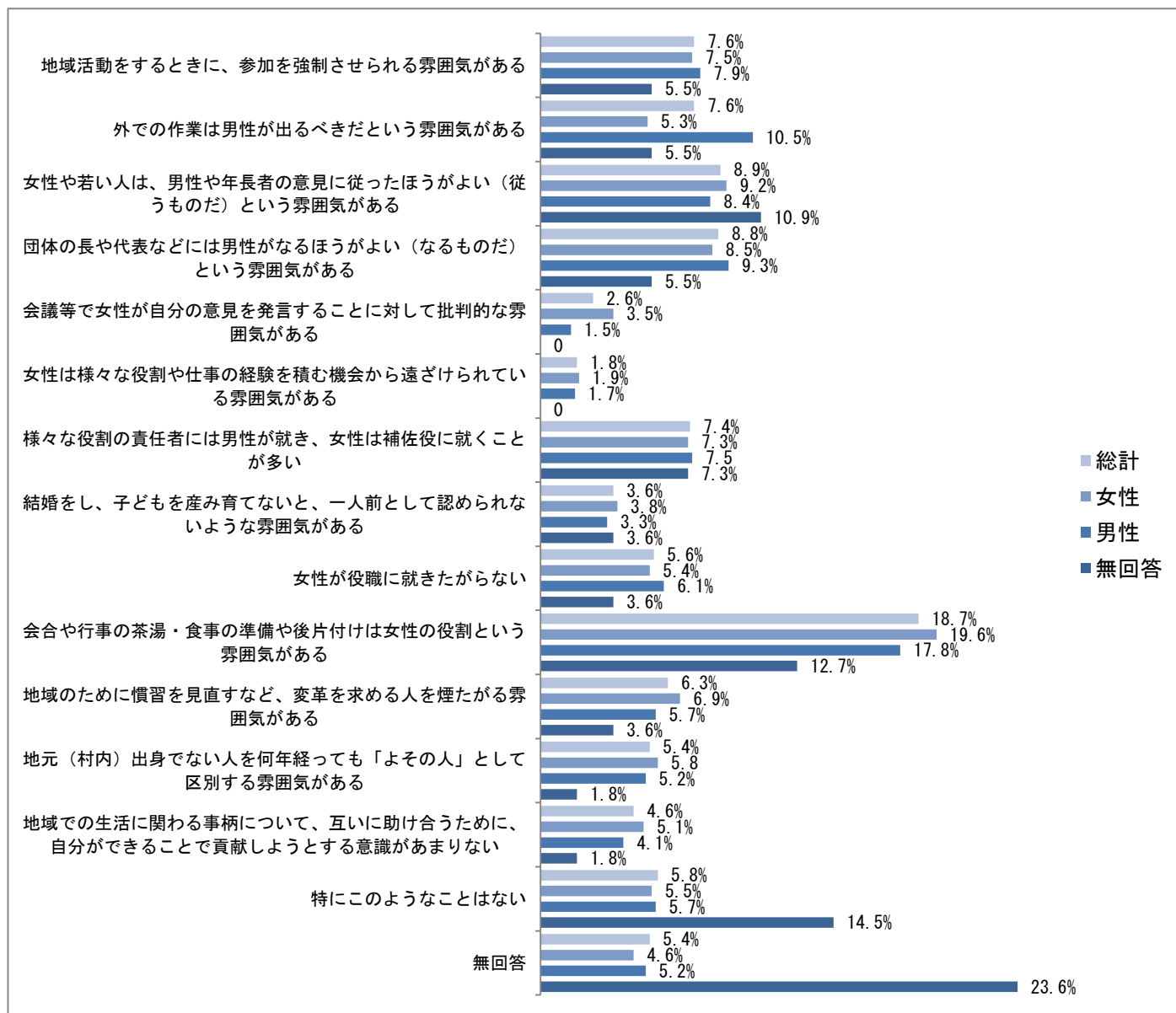
（４）地域の雰囲気や慣習について・・・問１４

地域の雰囲気や慣習については、「会合や行事の湯茶・食事の準備や後片付けは女性の役割という雰囲気がある」（18.7%）が最も高く、次いで「女性や若い人は、男性や年長者の意見に従ったほうがよい（従うものだ）という雰囲気がある」（8.9%）、「団体の長や代表などには男性になるほうがよい（なるものだ）という雰囲気がある」（8.8%）の順になっている。

男女別で見ると、男女ともに「会合や行事の湯茶・食事の準備や後片付けは女性の役割という雰囲気がある」が最も高く、次いで回答の割合が高くなっているのは、女性では「女性や若い人は、男性や年長者の意見に従ったほうがよい（従うものだ）という雰囲気がある」（9.2%）、「団体の長や代表などには男性になるほうがよい（なるものだ）という雰囲気がある」（8.5%）、男性では「外での作業は男性が出るべきだという雰囲気がある」（10.5%）、「団体の長や代表などには男性になるほうがよい（なるものだ）という雰囲気がある」（9.3%）となっている。

年代別にみると、すべての項目の中で回答した人の割合が最も高くなっているのは、60代の「会合や行事の湯茶・食事の準備や後片付けは女性の役割という雰囲気がある」（23.8%）となっている。また、「女性や若い人は、男性や年長者の意見に従ったほうがよい（従うものだ）という雰囲気がある」は、年代が上がるほど、回答の割合が低くなっている。

図表：地域の雰囲気や慣習について（複数回答）



図表：地域の雰囲気や慣習について（年代別）

	20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
地域活動をするときに、参加を強制させる雰囲気がある	17	11.3%	17	10.1%	34	12.8%	40	9.4%	19	5.5%	13	3.6%	8	3.9%	3	4.6%
外での作業は男性が出るべきだという雰囲気がある	15	9.9%	17	10.1%	19	7.1%	31	7.3%	30	8.7%	24	6.7%	11	5.4%	3	4.6%
女性や若い人は、男性や年長者の意見に従ったほうがよい(従うものだ)という雰囲気がある	20	13.2%	20	11.8%	29	10.9%	42	9.9%	23	6.7%	21	5.9%	16	7.8%	6	9.2%
団体の長や代表などには男性になるほうがよい(なるものだ)という雰囲気がある	15	9.9%	12	7.1%	16	6.0%	38	8.9%	33	9.6%	33	9.2%	23	11.3%	4	6.2%
会議等で女性が自分の意見を発言することに対して批判的な雰囲気がある	5	3.3%	4	2.4%	4	1.5%	14	3.3%	14	4.1%	6	1.7%	4	2.0%	0	0.0%
女性は様々な役割や仕事の経験を積む機会から遠ざけられている雰囲気がある	3	2.0%	2	1.2%	3	1.1%	7	1.6%	8	2.3%	10	2.8%	1	0.5%	1	1.5%
様々な役割の責任者には男性が就き、女性は補佐役に就くことが多い	10	6.6%	12	7.1%	14	5.3%	25	5.9%	21	6.1%	41	11.5%	17	8.3%	6	9.2%
結婚をし、子どもを産み育てないと、一人前として認められないような雰囲気がある	8	5.3%	11	6.5%	11	4.1%	16	3.8%	4	1.2%	12	3.4%	6	2.9%	3	4.6%
女性が役職に就きたがらない	4	2.6%	5	3.0%	16	6.0%	35	8.2%	20	5.8%	17	4.7%	12	5.9%	3	4.6%
会合や行事の湯茶・食事の準備や後片付けは女性の役割という雰囲気がある	25	16.6%	30	17.8%	54	20.3%	73	17.1%	82	23.8%	70	19.6%	27	13.2%	9	13.8%
地域のために慣習を見直すなど、変革を求める人を煙たがる雰囲気がある	13	8.6%	12	7.1%	18	6.8%	29	6.8%	27	7.8%	16	4.5%	7	3.4%	3	4.6%
地元(村内)出身でない人を何年経っても「よその人」として区別する雰囲気がある	8	5.3%	12	7.1%	15	5.6%	28	6.6%	21	6.1%	14	3.9%	8	3.9%	2	3.1%
地域での生活に関わる事柄について、互いに助け合うために、自分ができることで貢献しようとする意識があまりない	5	3.3%	6	3.6%	8	3.0%	20	4.7%	18	5.2%	19	5.3%	12	5.9%	3	4.6%
特にこのようなことはない	3	2.0%	4	2.4%	13	4.9%	15	3.5%	12	3.5%	34	9.5%	27	13.2%	8	12.3%
無回答	0	0.0%	5	3.0%	12	4.5%	13	3.1%	13	3.8%	28	7.8%	25	12.3%	11	16.9%

7. ワークライフバランス（仕事と生活の調和）について

（１）生活の中で優先していることについて・・・問１５

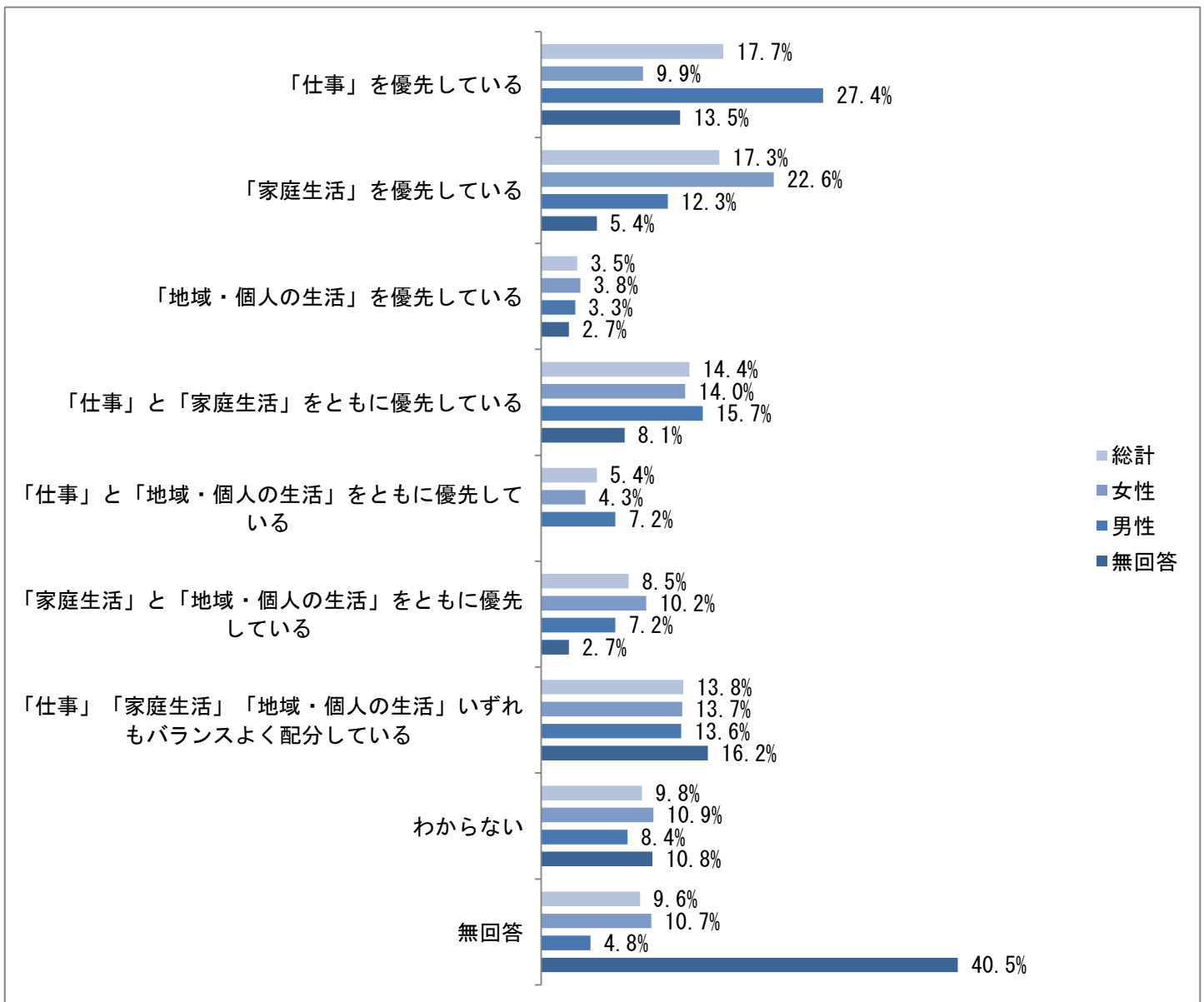
生活の中で優先していることについては、「『仕事』を優先している」（17.7%）が最も高く、次いで「『家庭生活』を優先している」（17.3%）、「『仕事』と『家庭生活』を優先している」（14.4%）の順になっている。

男女別にみると、女性は「『家庭生活』を優先している」（22.6%）が最も高く、男性では、「『仕事』を優先している」（27.4%）が最も高なっている。次いで回答の高い割合の項目は、男女ともに「『仕事』と『家庭生活』を優先している」、「『仕事』『家庭生活』『地域・個人の生活』いずれもバランスよく配分している」の順となっている。

年代別にみると、「『仕事』を優先している」とした人の割合が最も高いのは20代（41.2%）、次いで50代（32.1%）となっている。一方「『仕事』と『家庭生活』を優先している」とした人の割合が最も高いのは30代（27.1%）、次いで40代（26.9%）となっている。また、30代では「地域・個人の生活を優先している」とする人はいなかった。

性・年代別にみると、20代～70代女性で「『家庭生活』を優先している」と回答した割合が、各同年代の男性の2倍以上となっている。

図表：生活の中で優先していることについて



図表：生活の中で優先していることについて（性・年代別）

選択項目	性別	20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比	人数	構成比	人 数	構成比	人数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比
「仕事」と優先している	女性	7	35.0%	3	13.0%	8	14.0%	11	16.7%	7	10.0%	3	3.4%	0	0.0%	0	0.0%
	男性	7	50.0%	4	16.0%	22	43.1%	32	47.1%	13	21.7%	8	10.7%	5	13.5%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	4	12.5%
「家庭生活」を優先している	女性	6	30.0%	9	39.1%	12	21.1%	10	15.2%	13	18.6%	24	27.6%	14	25.6%	1	25.0%
	男性	2	14.3%	1	4.0%	3	5.9%	5	7.4%	5	8.3%	12	16.0%	12	32.4%	1	50.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.3%
「地域・個人の生活」を優先している	女性	0	0.0%	0	0.0%	2	3.5%	1	1.5%	1	1.4%	6	6.9%	4	5.9%	1	25.0%
	男性	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	3	5.0%	5	6.7%	1	2.7%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%
「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	女性	3	15.0%	7	30.4%	15	26.3%	10	15.2%	7	10.0%	9	10.3%	4	5.9%	1	25.0%
	男性	0	0.0%	6	24.0%	14	27.5%	10	14.7%	8	13.3%	8	10.7%	6	16.2%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	9.4%
「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	女性	1	5.0%	0	0.0%	4	7.0%	5	7.6%	5	7.1%	1	1.1%	1	1.5%	0	0.0%
	男性	1	7.1%	7	28.0%	3	5.9%	4	5.9%	6	10.0%	2	2.7%	1	2.7%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	女性	1	5.0%	0	0.0%	3	5.3%	5	7.6%	13	18.6%	10	11.5%	8	11.8%	0	0.0%
	男性	0	0.0%	1	4.0%	2	3.9%	0	0.0%	4	6.7%	15	20.0%	2	5.4%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%
「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」いずれもバランスよく配分している	女性	2	10.0%	3	13.0%	7	12.3%	16	24.2%	8	11.4%	12	13.8%	6	8.8%	0	0.0%
	男性	2	14.3%	4	16.0%	4	7.8%	11	16.2%	11	18.3%	10	13.3%	2	5.4%	1	50.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	5	15.6%
わからない	女性	0	0.0%	1	4.3%	2	3.5%	6	9.1%	9	12.9%	10	11.5%	15	22.1%	0	0.0%
	男性	1	7.1%	2	8.0%	1	2.0%	3	4.4%	7	11.7%	11	14.7%	3	8.1%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	12.5%
無回答	女性	0	0.0%	0	0.0%	4	7.0%	2	3.0%	7	10.0%	12	13.8%	16	23.5%	1	25.0%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	2	3.9%	2	2.9%	3	5.0%	4	5.3%	5	13.5%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	1	50.0%	12	37.5%

（２）生活の中で優先させたいことについて・・・問１６

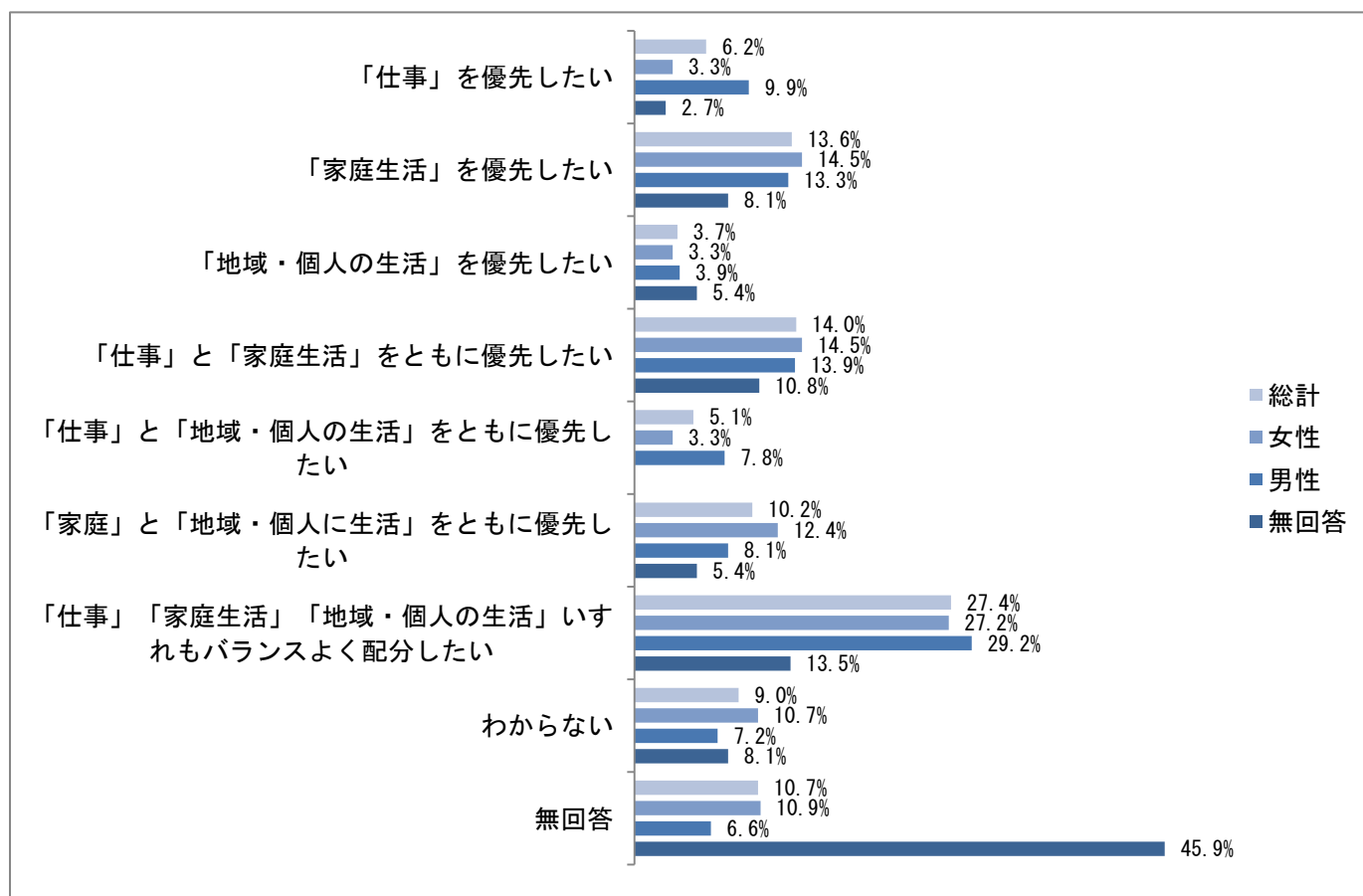
「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人に生活」についての希望するかわり方は、『仕事』『家庭生活』『地域・個人の生活』をいずれもバランスよく配分したい」（27.4%）が最も高く、次いで「『仕事』と『家庭生活』を優先したい」（14.0%）、『家庭生活』を優先したい」（13.6%）の順になっている。

男女別にみると、男女ともに「『仕事』『家庭生活』『地域・個人の生活』をいずれもバランスよく配分したい」とした人の割合が最も高く、次いで女性では「『家庭』を優先したい」「『仕事』と『家庭生活』を優先したい」（14.5%）が同じ割合となっている。一方男性は、「『仕事』と『家庭生活』を優先したい」（13.9%）、『家庭生活』を優先したい」（13.3%）となっている。

年代別にみると、「『仕事』『家庭生活』『地域・個人の生活』をいずれもバランスよく配分したい」とする人の割合が最も高いのは50代（38.8%）、次いで30代（37.5%）となっている。なお、実際の生活においても、『仕事』『家庭生活』『地域・個人の生活』をいずれもバランスよく配分している」とした人の割合が最も高いのは50代（20.1%）となっている。また、他の年代と比べて「『仕事』を優先したい」とする人の割合が最も高いのも50代となっている。

性・年代別にみると、20代男性で「『家庭生活』を優先したい」とする人の割合が他の年代と比べて高くなっている。また、20代女性と30代男女では「『地域・個人の生活』を優先したい」とする人がいなかった。

図表：生活の中で優先させたいことについて



図表：生活の中で優先させたいことについて（性・年代別）

選択項目	性別	20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比
「仕事」と優先している	女性	1	5.0%	0	0.0%	2	3.5%	3	4.5%	5	7.1%	1	1.1%	1	1.5%	0	0.0%
	男性	1	7.1%	1	4.0%	6	11.8%	13	19.1%	7	11.7%	3	4.0%	2	5.4%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%
「家庭生活」を優先している	女性	2	10.0%	5	21.7%	9	15.8%	5	7.6%	11	15.7%	15	17.2%	9	13.2%	1	25.0%
	男性	4	28.6%	1	4.0%	6	11.8%	7	10.3%	4	6.7%	12	16.0%	9	24.3%	1	50.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	2	6.3%
「地域・個人の生活」を優先している	女性	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	1	1.5%	2	2.9%	3	3.4%	6	8.8%	0	0.0%
	男性	1	7.1%	0	0.0%	2	3.9%	3	4.4%	2	3.3%	2	2.7%	3	8.1%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.3%
「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	女性	6	30.0%	4	17.4%	18	31.6%	14	21.2%	6	8.6%	8	9.2%	1	1.5%	0	0.0%
	男性	1	7.1%	7	28.0%	13	25.5%	8	11.8%	6	10.0%	8	10.7%	3	8.1%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	3	9.4%
「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	女性	0	0.0%	1	4.3%	2	3.5%	1	1.5%	4	5.7%	2	2.3%	3	4.4%	0	0.0%
	男性	2	14.3%	3	12.0%	3	5.9%	8	11.8%	6	10.0%	3	4.0%	1	2.7%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	女性	1	5.0%	3	13.0%	4	7.0%	7	10.6%	11	15.7%	9	10.3%	13	19.1%	1	25.0%
	男性	1	7.1%	1	4.0%	2	3.9%	1	1.5%	4	6.7%	14	18.7%	4	10.8%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.3%
「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」いずれもバランスよく配分している	女性	8	40.0%	8	34.8%	15	26.3%	29	43.9%	18	25.7%	22	25.3%	7	10.3%	0	0.0%
	男性	3	21.4%	10	40.0%	15	29.4%	23	33.8%	21	35.0%	18	24.0%	7	18.9%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	15.6%
わからない	女性	1	5.0%	2	8.7%	3	5.3%	3	4.5%	5	7.1%	17	19.5%	11	16.2%	0	0.0%
	男性	1	7.1%	2	8.0%	0	0.0%	1	1.5%	6	10.0%	10	13.3%	4	10.8%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	9.4%
無回答	女性	1	5.0%	0	0.0%	3	5.3%	3	4.5%	8	11.4%	10	11.5%	17	25.0%	1	25.0%
	男性	0	0.0%	0	0.0%	4	7.8%	4	5.9%	4	6.7%	5	13.3%	4	10.8%	1	50.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	2	100.0%	14	43.8%

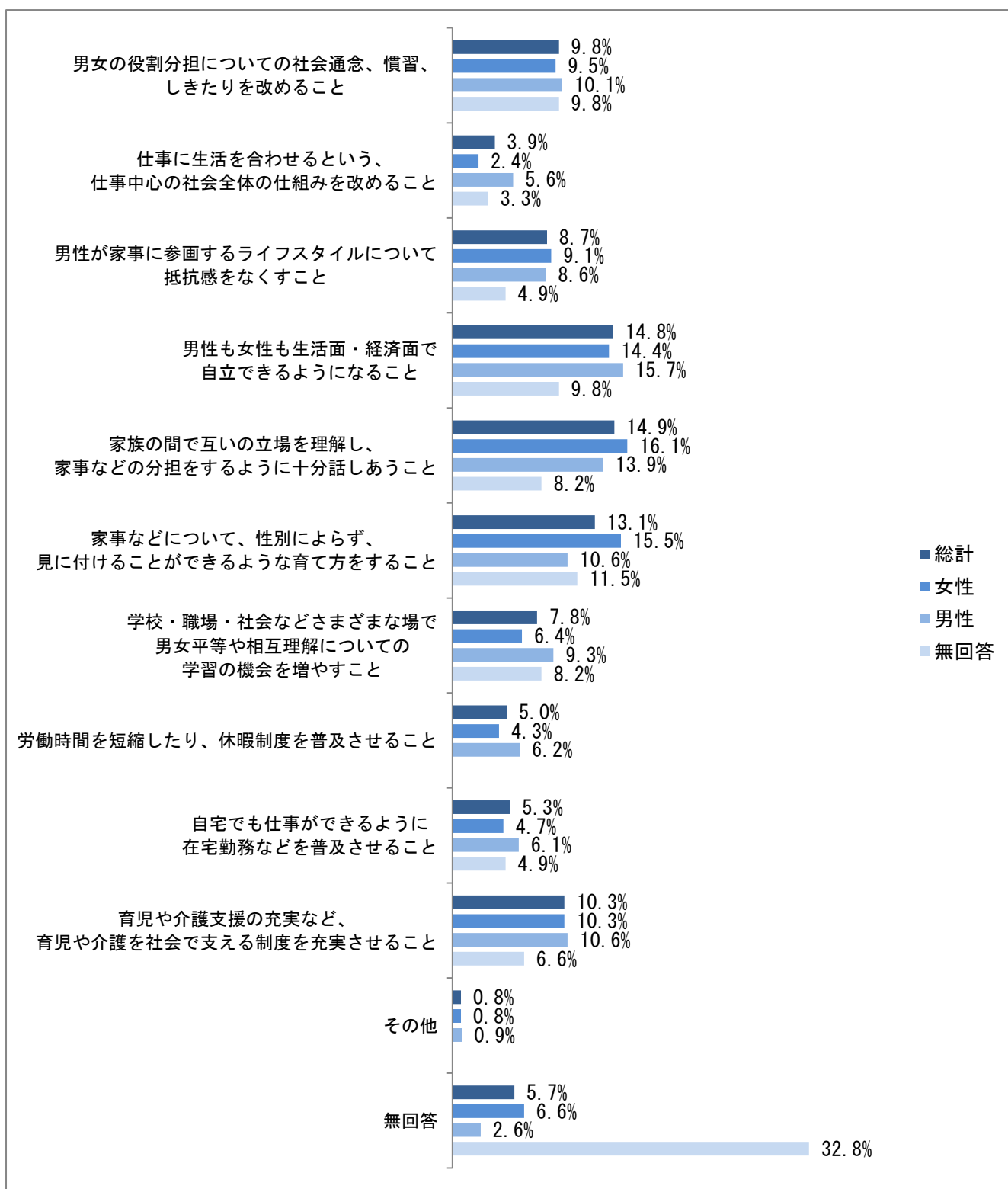
（３）仕事と生活の調和を図るために必要なことについて・・・問１７

仕事と生活の調和を図るために必要なことについては、「家族の間で互いの立場を理解し、家事などの分担をするように十分話し合うこと」（14.9%）が最も高く、次いで「男性も女性も性軽め・経済面で自立できるようになること」（14.8%）、「家事などについて、性別によらず、見に付けることができるような育て方をすること」（13.1%）の順になっている。

男女別に見ると、男女の回答の割合の差が最も大きい項目は、「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」で、女性が男性を4.9ポイント上回っている。

年代別にみると、「家族の間で互いの立場を理解し、家事などの分担をするように十分話し合うこと」とする人の割合が最も高いのは70代（17.7%）、次いで50代（17.5%）、60代（16.5%）となっている。また、20代は「労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させること」とする回答の割合が他の年代より高くなっている。

図表：仕事と生活の調和を図るために必要なことについて（複数回答）



図表：仕事と生活の調和を図るために必要なことについて

		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人 数	構成 比	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	構成比
男女の役割分担についての社会通念、習慣、しきたりを改めること	女性	3	5.9%	5	9.1%	15	10.1%	19	10.7%	19	11.4%	17	9.3%	9	6.8%	1	12.5%
	男性	7	13.7%	5	8.3%	9	7.3%	23	14.0%	11	8.4%	17	10.3%	8	8.9%	1	16.7%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	5	10.4%
仕事に生活を合わせるという、仕事中心の社会全体の仕組みを改めること	女性	1	2.0%	3	5.5%	8	5.4%	1	0.6%	2	1.2%	2	1.1%	5	3.8%	0	0.0%
	男性	5	9.8%	3	5.0%	12	9.7%	15	9.1%	4	3.1%	2	1.2%	3	3.3%	1	16.7%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.2%
男性が家事に参画するライフスタイルについて抵抗感をなくすること	女性	8	15.7%	4	7.3%	19	12.8%	15	8.4%	12	7.2%	12	6.6%	13	9.8%	1	12.5%
	男性	5	9.8%	6	10.0%	11	8.9%	12	7.3%	14	10.7%	15	9.1%	6	6.7%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	6.3%
男性も女性も生活面・経済面で自立できるようになること	女性	10	19.6%	7	12.7%	16	10.7%	27	15.2%	24	14.5%	29	15.9%	18	13.5%	2	25.0%
	男性	5	9.8%	7	11.7%	20	16.1%	21	12.8%	32	24.4%	26	15.8%	15	16.7%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	12.5%
家族の間でお互いの立場を理解し、家事などの分担をするように十分話しあうこと	女性	3	5.9%	6	10.9%	25	16.8%	35	19.7%	31	18.7%	31	17.0%	18	13.5%	0	0.0%
	男性	3	5.9%	6	10.0%	11	8.9%	25	15.2%	21	16.0%	30	18.2%	16	17.8%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	4	8.3%
家事などについて、性別によらず、見に付けることができるような育て方をする	女性	3	5.9%	8	14.5%	27	18.1%	36	20.2%	26	15.7%	27	14.8%	15	11.3%	1	12.5%
	男性	4	7.8%	2	3.3%	14	11.3%	19	11.6%	17	13.0%	16	9.7%	13	14.4%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	14.6%
学校・職場・社会などさまざまな場で男女平等や相互理解についての学習機会を増やすこと	女性	5	9.8%	6	10.9%	7	4.7%	11	6.2%	14	8.4%	9	4.9%	7	5.3%	0	0.0%
	男性	3	5.9%	7	11.7%	14	11.3%	15	9.1%	10	7.6%	16	9.7%	10	11.1%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	4	8.3%
労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させること	女性	6	11.8%	5	9.1%	9	6.0%	8	4.5%	2	1.2%	7	3.8%	3	2.3%	0	0.0%
	男性	7	13.7%	5	8.3%	14	11.3%	9	5.5%	6	4.6%	4	2.4%	4	4.4%	1	16.7%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
自宅でも仕事ができるように在宅勤務などを普及させること	女性	3	5.9%	3	5.5%	8	5.4%	6	3.4%	9	5.4%	8	4.4%	6	4.5%	0	0.0%
	男性	5	9.8%	7	11.7%	8	6.5%	5	3.0%	13	9.9%	5	3.0%	5	5.6%	1	16.7%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	18	94.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	6.3%
育児や介護支援の充実など、育児や介護を社会でさせる制度を充実させること	女性	8	15.7%	7	12.7%	13	8.7%	17	9.6%	15	9.0%	17	9.3%	14	10.5%	1	12.5%
	男性	6	11.8%	10	16.7%	8	6.5%	17	10.4%	0	0.0%	22	13.3%	7	7.8%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	8.3%
その他	女性	0	0.0%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	2	1.1%	3	2.3%	1	12.5%
	男性	1	2.0%	1	1.7%	2	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	1	1.1%	1	16.7%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	10.4%
無回答	女性	1	2.0%	0	0.0%	2	1.3%	3	1.7%	11	6.6%	21	11.5%	22	16.5%	1	12.5%
	男性	0	0.0%	1	1.7%	1	0.8%	3	1.8%	3	2.3%	11	6.7%	2	2.2%	1	16.7%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	2	100.0%	5	10.4%

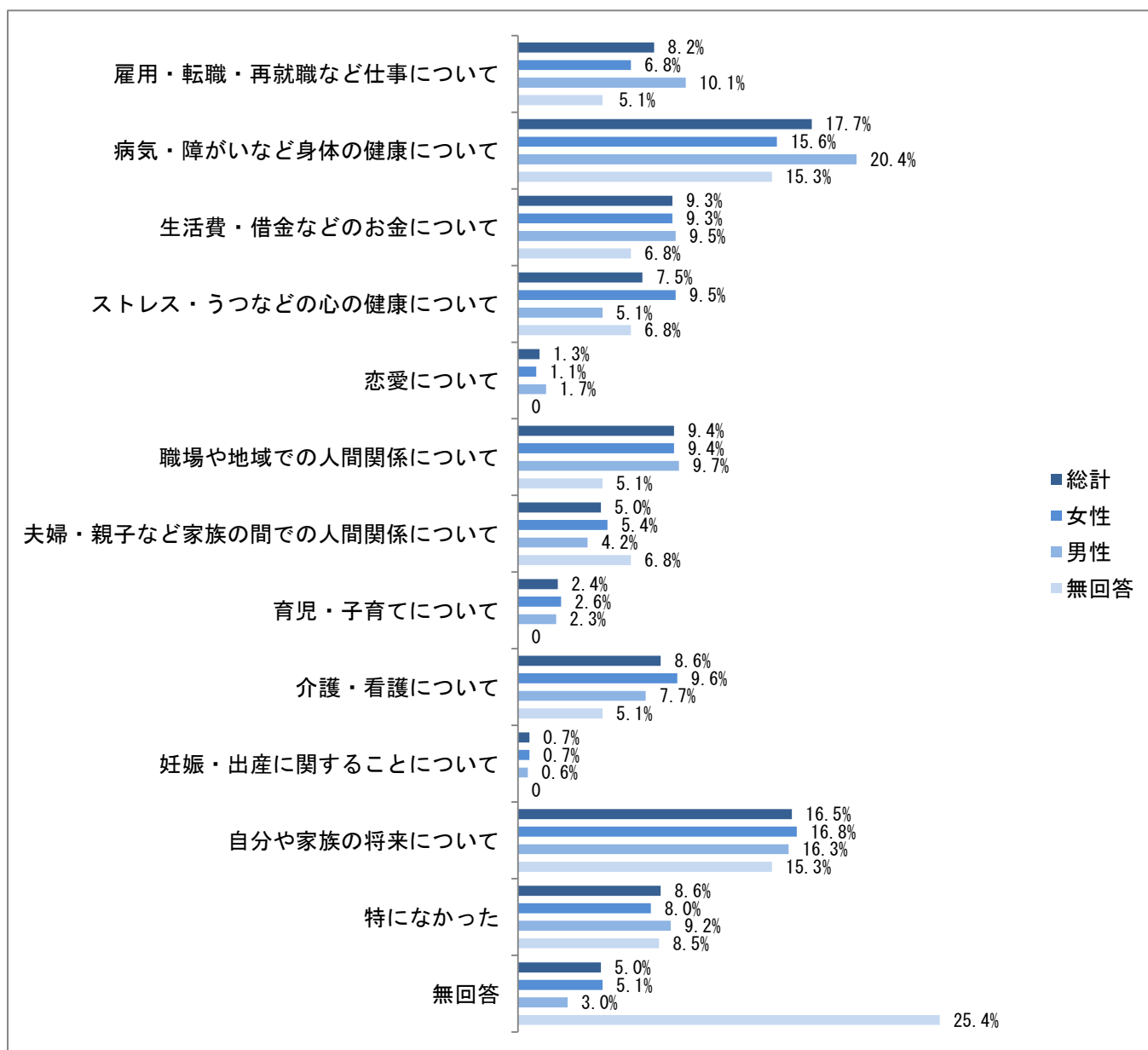
（４）生活する中での不安や悩みについて・・・問１８

この一年間の生活の中での不安や悩みについては、「病気・障がいなどの身体の健康について」（17.7%）が最も高く、次いで「自分や家族の将来について」（16.5%）、「職場や地域での人間関係について」（9.4%）の順になっている。

男女別にみると、男女とも「自分や家族の将来について」、「病気・障がいなどの身体の健康について」の項目が上位２つにくるが、次いで女性では「ストレス、うつなど心の健康について」、男性は「雇用・転職・再就職など仕事について」の順になっている。また、すべての項目で回答の男女差は小さいが、その中で、差が大きくなっているのは、「病気・障がいなどの身体の健康について」で男性が女性を 4.8 ポイント上回り、「ストレス、うつなど心の健康について」では女性が男性を 4.4 ポイント上回っている。

年代別にみると、年齢が高くなるほど「病気・障がいなどの身体の健康について」と回答する割合が高くなっている。また、「ストレス、うつなどの心の健康について」と回答した人の割合は、20 代（11.5%）が最も高く、次いで 40 代（8.8%）、50 代（8.2%）の順になっている。

図表：生活する中での不安や悩みについて（複数回答）



8. 配偶者等からの暴力について

(1) 夫婦間での行為における暴力の認識について・・・問19

夫婦間での行為における暴力の認識については、13 項目中すべての項目で「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が最も高くなっているが、5 割をこえるのは4 項目のみとなっており、最も高い項目でも7 割をこえず、高い順に「⑤刃物などを突きつけて、おどす」(68.9%)、「③身体を傷つける可能性のあるものでなぐる」(67.4%)、「②足でける」(58.7%)、「⑥嫌がっているのに性的な行為を強要する」(56.2%)となっている。

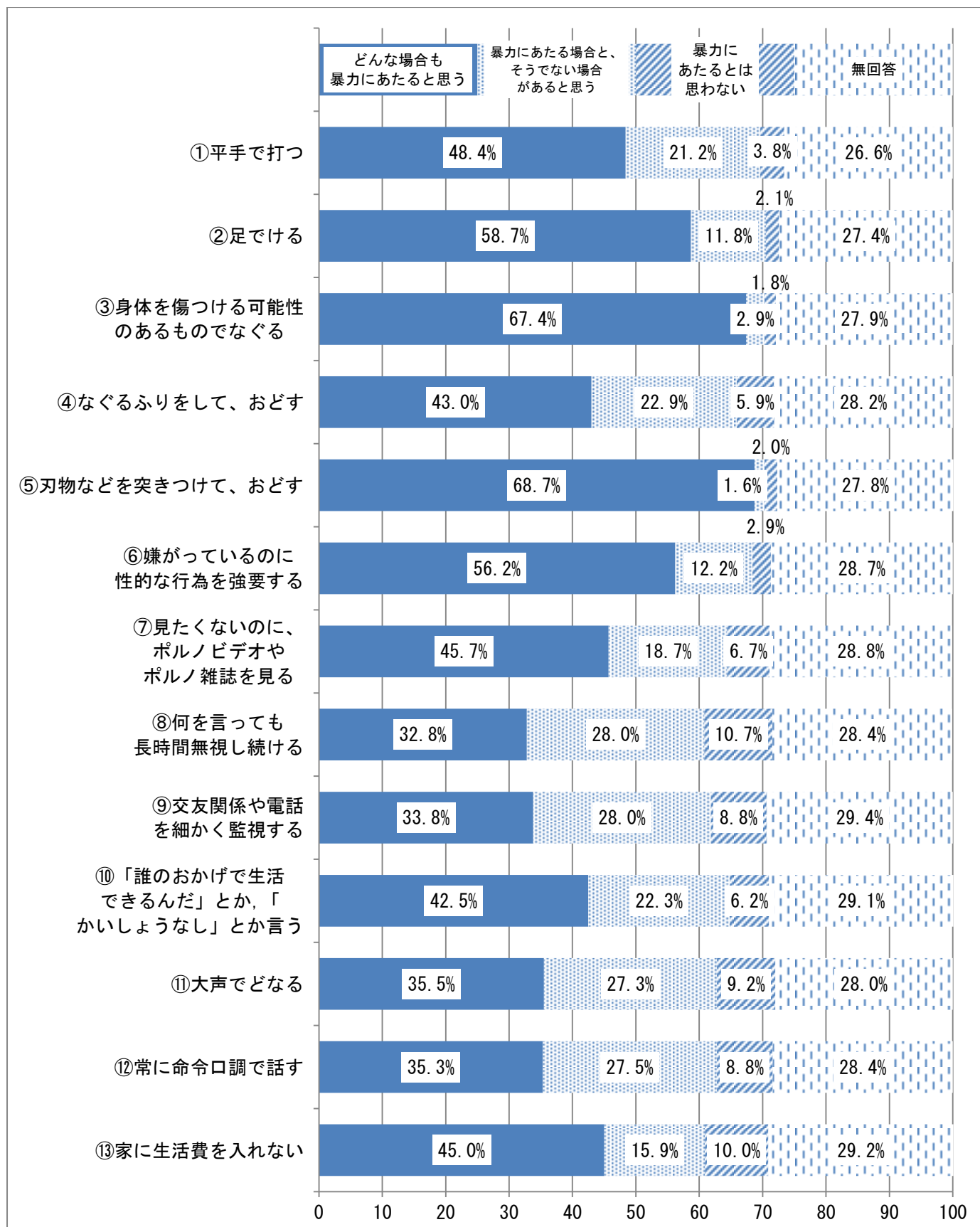
また、すべての項目の中で、「暴力にあたるとは思わない」との回答があり、最も高いのは、「⑧何を言っても長時間無視し続ける」(10.7%)、次いで「⑬家に生活費を入れない」(10.0%)、「⑪大声でどなる」(9.2%)の順になっている。すべての項目の回答で「無回答」とする人の割合は3 割にまでなっている。

男女別にみると、「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合は、「①平手で打つ」「②足でける」「③身体を傷つける可能性のあるものでなぐる」「④なぐるふりをして、おどす」「⑤刃物などを突きつけて、おどす」「⑥嫌がっているのに性的な行為を強要する」「⑦見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」「⑪大声でどなる」「⑫常に命令口調で話す」「⑬家に生活費を入れない」の10 項目で男性が女性を上回り、「⑧何を言っても長時間無視し続ける」「⑨交友関係や電話を細かく監視する」「⑩『誰のおかげで生活できるんだ』とか、『かいしょうなし』とかいう」の3 項目で女性が男性を上回っている。

年代別にみると、「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答する割合が9 割をこえている項目は、20 代、30 代の「③身体を傷つける可能性のあるものでなぐる」と、20 代 30 代 40 代の「⑤刃物などを突きつけて、おどす」のみとなっている。また、70 代、80 歳以上では無回答が4 割をこえている。

国が平成 24 年度に実施した調査と比較すると、すべての項目で「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が国よりも低くなっている。その差が最もひらいているのは、「③身体を傷つける可能性のあるものでなぐる」25.7 ポイント、次いで「⑤刃物などを突きつけて、おどす」22.8 ポイントの順となっている。一方、「暴力にあたるとは思わない」とする人の割合は、精神的な暴力よりも身体的暴力について、「暴力にあたるとは思わない」とする人の割合が国よりも高くなっている。

図表：夫婦間での行為における暴力の認識について（複数回答）



図表：国との比較（内閣府「男女間における暴力に関する調査」平成 23 年）

		どんな場合も 暴力にあたると思う	暴力にあたる場合と、そう でない場合があると思う	暴力にあたる とは思わない	無回答
①平手で打つ	大和村	48.4%	21.2%	3.8%	26.6%
	国	59.6%	34.5%	2.6%	3.3%
②足でける	大和村	58.7%	11.8%	2.1%	27.4%
	国	79.5%	15.8%	1.4%	3.3%
③身体を傷つける可能性 のあるものでなぐる	大和村	67.4%	2.9%	1.8%	27.9%
	国	93.1%	3.1%	1.1%	2.7%
④なぐるふりをして、おどす	大和村	43.0%	22.9%	5.9%	28.2%
	国	52.3%	36.3%	7.5%	4.0%
⑤刃物などを突きつけて、 おどす	大和村	68.7%	1.6%	2.0%	27.8%
	国	91.4%	4.3%	1.2%	3.1%
⑥嫌がっているのに性的な 行為を強要する	大和村	56.2%	12.2%	2.9%	28.7%
	国	72.0%	21.0%	3.3%	3.7%
⑦見たくないのに、ポルノビ デオやポルノ雑誌を見せる	大和村	45.7%	18.7%	6.7%	28.8%
	国	55.7%	29.1%	11.1%	4.2%
⑧何を言っても長時間無視 し続ける	大和村	32.8%	28.0%	10.7%	28.4%
	国	44.5%	37.6%	14.1%	3.8%
⑨交友関係や電話を細かく 監視する	大和村	33.8%	28.0%	8.8%	29.4%
	国	39.8%	40.0%	16.0%	4.1%
⑩「誰のおかげで生活でき るんだ」とか、「かいしょう なし」とかいう	大和村	42.5%	22.3%	6.2%	29.1%
	国	49.7%	34.8%	11.5%	4.1%
⑪大声でどなる	大和村	35.5%	27.3%	9.2%	28.0%
	国	41.2%	45.1%	10.8%	3.0%

①「平手で打つ」

「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が 48.4%と最も高いが、半数に満たない。年代別にみると 40 代と 50 代で 6 割をこえているが、80 歳以上で 27.1%と最も低くなっている。

性・年代別にみると「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合は 40 代女性の 64.9%が最も高く、80 歳以上女性の 23.5%が最も低い。「暴力にあたる場合とそうでない場合がある」とする人の割合は 20 代女性の 60%が最も高くなっている。一方、「暴力にあたるとは思わない」とする人の割合が最も高いのは 80 歳以上男性で 10.8%となっている。

図表：夫婦間での行為における暴力の認識について（性・年代別）

選択項目	性別	総計		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	女性	187	47.5%	7	35.0%	14	60.9%	37	64.9%	40	60.6%	39	55.7%	34	39.1%	16	23.5%	0	0.0%
	男性	173	52.1%	8	57.1%	14	56.0%	33	64.7%	42	61.8%	35	58.3%	27	36.0%	13	35.1%	1	50.0%
	無回答	9	24.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	28.1%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	女性	78	19.8%	12	60.0%	7	30.4%	16	28.1%	18	27.3%	12	17.1%	8	9.2%	4	5.9%	1	33.3%
	男性	80	24.1%	6	42.9%	10	40.0%	12	23.5%	18	26.5%	16	26.7%	14	18.7%	4	10.8%	0	0.0%
	無回答	4	10.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	12.5%
暴力にあたるとは思わない	女性	16	4.1%	1	5.0%	0	0.0%	2	3.5%	1	1.5%	2	2.9%	5	5.7%	5	7.4%	0	0.0%
	男性	13	3.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.9%	3	4.4%	0	0.0%	4	5.3%	4	10.8%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	女性	113	28.7%	0	0.0%	2	8.7%	2	3.5%	7	10.6%	17	24.3%	40	46.0%	43	63.2%	2	66.7%
	男性	66	19.9%	0	0.0%	1	4.0%	4	7.8%	5	7.4%	9	15.0%	30	40.0%	16	43.2%	1	50.0%
	無回答	24	64.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	2	100.0%	19	59.4%

②「足でける」

どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が 58.7%と最も高く、年代別でみると 30 代～50 代では 7 割をこえている。

性・年代別にみると、「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合は 50 代女性の 78.8%が最も高く、80 歳以上女性の 26.5%が最も低くなっている。「暴力にあたる場合とそうでない場合がある」とする人の割合は 20 代女性の 35%が最も高くなっている。「暴力にあたるとは思わない」とする人の割合は 20 代女性の 5%が最も高くなっている。

図表：夫婦間での行為における暴力の認識について（性・年代別）

選択項目	性別	総計		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	女性	221	56.1%	12	60.0%	18	78.3%	44	77.2%	52	78.8%	42	60.0%	35	40.2%	18	26.5%	0	0.0%
	男性	216	65.1%	11	78.6%	19	76.0%	40	78.4%	52	76.5%	43	71.7%	35	46.7%	15	40.5%	1	50.0%
	無回答	11	29.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	11	34.4%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	女性	50	12.7%	7	35.0%	3	13.0%	11	19.3%	6	9.1%	10	14.3%	8	9.2%	4	5.9%	1	33.3%
	男性	38	11.4%	3	21.4%	5	20.0%	5	9.8%	8	11.8%	8	13.3%	6	8.0%	3	8.1%	0	0.0%
	無回答	2	5.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.3%
暴力にあたるとは思わない	女性	7	1.8%	1	5.0%	0	0.0%	1	1.8%	0	0.0%	1	1.4%	1	1.1%	3	4.4%	0	0.0%
	男性	9	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.9%	3	4.4%	0	0.0%	3	4.0%	1	2.7%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	女性	116	29.4%	0	0.0%	2	8.7%	1	1.8%	8	12.1%	17	24.3%	43	49.4%	43	63.2%	2	66.7%
	男性	69	20.8%	0	0.0%	1	4.0%	4	7.8%	5	7.4%	9	15.0%	31	41.3%	18	48.6%	1	50.0%
	無回答	24	64.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	2	100.0%	19	59.4%

③「身体を傷つける可能性のあるものでなぐる」

「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が 67.4%と最も高く、年代別にみると 20 代と 30 代で 9 割をこえ、40 代と 50 代では 8 割をこえている。

性・年代別でみると、「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合は 20 代女性の 95%が最も高く、80 歳以上女性の 35.3%が最も低くなっている。一方、「暴力にあたるとは思わない」とする人の割合も 20 代女性で最も高くなっている。

図表：夫婦間での行為における暴力の認識について（性・年代別）

選択項目	性別	総計		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	女性	264	67.0%	19	95.0%	21	91.3%	53	93.0%	57	86.4%	46	65.7%	43	49.4%	24	35.3%	1	33.3%
	男性	237	71.4%	13	92.9%	23	92.0%	44	86.3%	58	85.3%	48	80.0%	35	46.7%	15	40.5%	1	50.0%
	無回答	13	35.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	40.6%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	女性	8	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	2	3.0%	4	5.7%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
	男性	14	4.2%	0	0.0%	1	4.0%	1	2.0%	2	2.9%	2	3.3%	5	6.7%	3	8.1%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
暴力にあたるとは思わない	女性	6	1.5%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	2	2.3%	2	2.9%	0	0.0%
	男性	8	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.9%	3	4.4%	0	0.0%	2	2.7%	1	2.7%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	女性	116	29.4%	0	0.0%	2	8.7%	3	5.3%	7	10.6%	19	27.1%	41	47.1%	42	61.8%	2	66.7%
	男性	73	22.0%	1	7.1%	1	4.0%	4	7.8%	5	7.4%	10	16.7%	33	44.0%	18	48.6%	1	50.0%
	無回答	24	64.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	2	100.0%	19	59.4%

④「なぐるふりをして、おどす」

「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が 40.9%と最も高くなっているが半数に満たない。年代別にみると、30 代の 70.8%が最も高く、80 歳以上の 21.6%が最も低くなっており、その差は 49.2 ポイントと大きくなっている。

性・年代別でみると、「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合は 20 代女性の 75%が最も高く、80 歳以上女性の 22.1%が最も低くなっている。また、男性ではすべての年代で「暴力にあたるとは思わない」との回答があり、80 歳以上の男性で 16.2%と最も高くなっている。

図表：夫婦間での行為における暴力の認識について（性・年代別）

選択項目	性別	総計		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	女性	173	43.9%	15	75.0%	15	65.2%	35	61.4%	35	53.0%	28	40.0%	30	34.5%	15	22.1%	0	0.0%
	男性	148	44.6%	9	64.3%	19	76.0%	33	64.7%	35	51.5%	25	41.7%	17	22.7%	9	24.3%	1	50.0%
	無回答	7	18.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	21.9%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	女性	81	20.6%	4	20.0%	6	26.1%	19	33.3%	18	27.3%	20	28.6%	9	10.3%	4	5.9%	1	33.3%
	男性	89	26.8%	4	28.6%	4	16.0%	11	21.6%	25	36.8%	22	36.7%	18	24.0%	5	13.5%	0	0.0%
	無回答	5	13.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	15.6%
暴力にあたるとは思わない	女性	19	4.8%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	6.1%	3	4.3%	5	5.7%	6	8.8%	0	0.0%
	男性	25	7.5%	1	7.1%	1	4.0%	3	5.9%	3	4.4%	3	5.0%	8	10.7%	6	16.2%	0	0.0%
	無回答	1	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%
無回答	女性	121	30.7%	0	0.0%	2	8.7%	3	5.3%	9	13.6%	19	27.1%	43	49.4%	43	63.2%	2	66.7%
	男性	70	21.1%	0	0.0%	1	4.0%	4	7.8%	5	7.4%	10	16.7%	32	42.7%	17	45.9%	1	50.0%
	無回答	24	64.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	2	100.0%	19	59.4%

⑤「刃物などを突きつけて、おどす」

「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が最も高く 68.7%となっている。また、この項目は、すべての項目の中で、「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が最も高くなっている。

年代別にみると、20 代の 97.1%が最も高く、80 歳以上の 38.3%が最も低くなっており、その差は 58.8 ポイントと大きくなっている。

性・年代別にみると、20 代男性で「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合は 100%と最も高く、20 代女性、30 代男性、40 代女性で 9 割をこえている一方、70 代女性と 80 歳以上の男女では 5 割未満となっている。

図表：夫婦間での行為における暴力の認識について（性・年代別）

選択項目	性別	総計		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	女性	266	67.5%	19	95.0%	20	87.0%	55	96.5%	58	87.9%	50	71.4%	39	44.8%	24	35.3%	1	33.3%
	男性	246	74.1%	14	100.0%	24	96.0%	43	84.3%	60	88.2%	49	81.7%	38	50.7%	17	45.9%	1	50.0%
	無回答	12	32.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	37.5%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	女性	4	1.0%	0	0.0%	1	4.3%	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%
	男性	7	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.9%	1	1.5%	1	1.7%	2	2.7%	1	2.7%	0	0.0%
	無回答	1	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%
暴力にあたるとは思わない	女性	7	1.8%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.9%	2	2.3%	2	2.9%	0	0.0%
	男性	8	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.9%	2	2.9%	0	0.0%	2	2.7%	2	5.4%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	女性	117	29.7%	0	0.0%	2	8.7%	2	3.5%	7	10.6%	18	25.7%	44	50.6%	42	61.8%	2	66.7%
	男性	71	21.4%	0	0.0%	1	4.0%	4	7.8%	5	7.4%	10	16.7%	33	44.0%	17	45.9%	1	50.0%
	無回答	24	64.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	2	100.0%	19	59.4%

⑥「嫌がっているのに性的な行為を強要する」

「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が 56.2%と最も高くなっている。

年代別にみると、20 代の 88.2%が最も高く、80 歳以上の 30.8%が最も低くなっており、その差は 57.4 ポイントと大きくなっている。

年代別にみると、30 代では「暴力にあたるとは思わない」との回答はなかった。

性・年代別にみると「暴力にあたるとは思わない」と回答した割合が最も高いのは、20 代男性で 7.1%であった。

図表：夫婦間での行為における暴力の認識について（性・年代別）

選択項目	性別	総計		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	女性	214	54.3%	19	95.0%	17	73.9%	39	68.4%	47	71.2%	41	58.6%	31	35.6%	19	27.9%	1	33.3%
	男性	204	61.4%	11	78.6%	22	88.0%	39	76.5%	49	72.1%	38	63.3%	30	40.0%	14	37.8%	1	50.0%
	無回答	11	29.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	11	34.4%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	女性	52	13.2%	0	0.0%	4	17.4%	16	28.1%	10	15.2%	10	14.3%	8	9.2%	4	5.9%	0	0.0%
	男性	40	12.0%	2	14.3%	2	8.0%	6	11.8%	11	16.2%	10	16.7%	7	9.3%	2	5.4%	0	0.0%
	無回答	1	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%
暴力にあたるとは思わない	女性	9	2.3%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.0%	1	1.4%	2	2.3%	3	4.4%	0	0.0%
	男性	13	3.9%	1	7.1%	0	0.0%	2	3.9%	3	4.4%	2	3.3%	3	4.0%	2	5.4%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	女性	119	30.2%	0	0.0%	2	8.7%	2	3.5%	7	10.6%	18	25.7%	46	52.9%	42	61.8%	2	66.7%
	男性	75	22.6%	0	0.0%	1	4.0%	4	7.8%	5	7.4%	10	16.7%	35	46.7%	19	51.4%	1	50.0%
	無回答	25	67.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	2	100.0%	20	62.5%

⑦見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる

「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が 45.7%と最も高くなっているが半数に満たない。年代別でみると 30 代が最も高く、そこから年代が高くなるほど、「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合は低く、30 代と 80 歳以上では 46.5 ポイントと差が大きくなっている。

性・年代別にみると、20 代女性と 30 代男性では「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が 7 割をこえている。一方、70 代と 80 歳以上では 3 割に満たない。また、すべての年代の男女で「暴力にあたると思わない」との回答がある。

図表：夫婦間での行為における暴力の認識について（性・年代別）

選択項目	性別	総計		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	女性	181	45.9%	14	70.0%	15	65.2%	34	59.6%	42	63.6%	35	50.0%	26	29.9%	15	22.1%	0	0.0%
	男性	160	48.2%	9	64.3%	19	76.0%	34	66.7%	37	54.4%	32	53.3%	17	22.7%	11	29.7%	1	50.0%
	無回答	8	21.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	25.0%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	女性	68	17.3%	5	25.0%	5	21.7%	19	33.3%	12	18.2%	10	14.3%	9	10.3%	7	10.3%	1	33.3%
	男性	72	21.7%	2	14.3%	3	12.0%	10	19.6%	18	26.5%	15	25.0%	20	26.7%	4	10.8%	0	0.0%
	無回答	3	8.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	9.4%
暴力にあたると思わない	女性	23	5.8%	1	5.0%	1	4.3%	2	3.5%	5	7.6%	4	5.7%	6	6.9%	4	5.9%	0	0.0%
	男性	26	7.8%	3	21.4%	2	8.0%	3	5.9%	8	11.8%	3	5.0%	4	5.3%	3	8.1%	0	0.0%
	無回答	2	5.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.3%
無回答	女性	122	31.0%	0	0.0%	2	8.7%	2	3.5%	7	10.6%	21	30.0%	46	52.9%	42	61.8%	2	66.7%
	男性	74	22.3%	0	0.0%	1	4.0%	4	7.8%	5	7.4%	10	16.7%	34	45.3%	19	51.4%	1	50.0%
	無回答	24	64.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	2	100.0%	19	59.4%

⑧何を言っても長時間無視し続ける

「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が 32.4%と最も高くなっているが半数に満たず、「暴力にあたる場合とそうでない場合がある」とする人の割合が 28.4%となっている。また、すべての項目の中で「暴力にあたると思う」とする人の割合が最も低い。年代別にみると 50 代では「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が 54%、「暴力にあたる場合とそうでない場合がある」とする人の割合が 53%となっており、全ての年代で最も高くなっている。

性・年代別にみると「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が 40 代女性で 56.1%と最も高く、男性は 20 代が 50%と最も高くなっている。また、30 代男女を比較すると、男性が女性を 13.2 ポイント上回り、すべての年代の中で、差が最も大きくなっている。また、すべての年代の男女で「暴力にあたるとは思わない」との回答がある。

図表：夫婦間での行為における暴力の認識について（性・年代別）

選択項目	性別	総計		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	女性	132	33.5%	9	45.0%	8	34.8%	32	56.1%	24	36.4%	26	37.1%	21	24.1%	12	17.6%	0	0.0%
	男性	110	33.1%	7	50.0%	12	48.0%	19	37.3%	30	44.1%	23	38.3%	15	20.0%	4	10.8%	0	0.0%
	無回答	5	13.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	15.6%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	女性	106	26.9%	9	45.0%	7	30.4%	19	33.3%	29	43.9%	18	25.7%	13	14.9%	10	14.7%	1	33.3%
	男性	105	31.6%	6	42.9%	7	28.0%	22	43.1%	24	35.3%	22	36.7%	15	20.0%	8	21.6%	1	50.0%
	無回答	6	16.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	18.8%
暴力にあたるとは思わない	女性	37	9.4%	2	10.0%	6	26.1%	4	7.0%	6	9.1%	8	11.4%	7	8.0%	4	5.9%	0	0.0%
	男性	43	13.0%	1	7.1%	5	20.0%	5	9.8%	9	13.2%	5	8.3%	11	14.7%	7	18.9%	0	0.0%
	無回答	2	5.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.3%
無回答	女性	119	30.2%	0	0.0%	2	8.7%	2	3.5%	7	10.6%	18	25.7%	46	52.9%	42	61.8%	2	66.7%
	男性	74	22.3%	0	0.0%	1	4.0%	5	9.8%	5	7.4%	10	16.7%	34	45.3%	18	48.6%	1	50.0%
	無回答	24	64.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	2	100.0%	19	59.4%

⑨交友関係や電話を細かく監視する

「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が 33.8%と最も高いが半数に満たず、「暴力にあたる場合とそうでない場合があると思う」とする人の割合が 28%と、その差はわずがである。年代別にみると「どんな場合も暴力にあたると思う」とする割合が 20 代で 55.9%と半数をこえるが、他の年代で半数に満たない。

性・年代別にみると「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合は、70 代と 80 歳以上の男女で 3 割未満となっている。また、すべての年代で「暴力にあたるとは思わない」との回答がある。

図表：夫婦間での行為における暴力の認識について（性・年代別）

選択項目	性別	総計		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	女性	141	35.8%	13	65.0%	8	34.8%	28	49.1%	30	45.5%	30	42.9%	21	24.1%	11	16.2%	0	0.0%
	男性	111	33.4%	6	42.9%	11	44.0%	22	43.1%	31	45.6%	21	35.0%	16	21.3%	4	10.8%	0	0.0%
	無回答	6	16.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	18.8%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	女性	97	24.6%	4	20.0%	9	39.1%	24	42.1%	21	31.8%	17	24.3%	12	13.8%	10	14.7%	0	0.0%
	男性	111	33.4%	7	50.0%	8	32.0%	20	39.2%	26	38.2%	22	36.7%	17	22.7%	11	29.7%	0	0.0%
	無回答	6	16.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	18.8%
暴力にあたるとは思わない	女性	32	8.1%	3	15.0%	4	17.4%	2	3.5%	7	10.6%	4	5.7%	7	8.0%	5	7.4%	0	0.0%
	男性	35	10.5%	1	7.1%	5	20.0%	4	7.8%	6	8.8%	5	8.3%	9	12.0%	4	10.8%	1	50.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	女性	124	31.5%	0	0.0%	2	8.7%	3	5.3%	8	12.1%	19	27.1%	47	54.0%	42	61.8%	3	100.0%
	男性	75	22.6%	0	0.0%	1	4.0%	5	9.8%	5	7.4%	12	20.0%	33	44.0%	18	48.6%	1	50.0%
	無回答	25	67.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	2	100.0%	20	62.5%

⑩「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしょうなし」とかいう

「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が42.5%と最も高くなっているが、半数に満たない。

年代別にみると、20代の64.7%が最も高く、80歳以上の19.6%が最も低くなっており、その差は45.1ポイントと大きくなっている。

性・年代別にみると、20代男女、30代、40代女性で「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が6割をこえているが、70代男女では3割未満となっている。また、「暴力にあたるとは思わない」とする人の割合がなかったのは、30代女性のみとなっている。

図表：夫婦間での行為における暴力の認識について（性・年代別）

選択項目	性別	総計		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	女性	174	44.2%	12	60.0%	15	65.2%	38	66.7%	36	54.5%	33	47.1%	25	28.7%	14	20.6%	1	33.3%
	男性	143	43.1%	10	71.4%	13	52.0%	28	54.9%	39	57.4%	28	46.7%	18	24.0%	7	18.9%	0	0.0%
	無回答	7	18.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	21.9%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	女性	79	20.1%	6	30.0%	7	30.4%	16	28.1%	17	25.8%	15	21.4%	10	11.5%	8	11.8%	0	0.0%
	男性	86	25.9%	3	21.4%	9	36.0%	15	29.4%	18	26.5%	19	31.7%	14	18.7%	8	21.6%	0	0.0%
	無回答	5	13.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	15.6%
暴力にあたるとは思わない	女性	22	5.6%	2	10.0%	0	0.0%	2	3.5%	3	4.5%	5	7.1%	7	8.0%	3	4.4%	0	0.0%
	男性	25	7.5%	1	7.1%	1	4.0%	3	5.9%	5	7.4%	2	3.3%	8	10.7%	4	10.8%	1	50.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	女性	119	30.2%	0	0.0%	1	4.3%	1	1.8%	10	15.2%	17	24.3%	45	51.7%	43	63.2%	2	66.7%
	男性	78	23.5%	0	0.0%	2	8.0%	5	9.8%	6	8.8%	11	18.3%	35	46.7%	18	48.6%	1	50.0%
	無回答	25	67.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	2	100.0%	20	62.5%

⑪大声でどなる

「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が 35.5%と最も高くなっているが、半数に満たない。

年代別にみると、40 代の 50%が最も高く、80 歳以上の 19.6%が最も低くなっており、その差は 30.4 ポイントと大きくなっている。

性・年代別にみると、40 代と 50 代女性で「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が 5 割をこえているが、70 代と 80 歳以上の男女で 3 割未満となっている。また、「暴力にあたるとは思わない」とする人の割合が 20 代女性で 20%と最も高い。

図表：夫婦間での行為における暴力の認識について（性・年代別）

選択項目	性別	総計		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	女性	141	35.8%	6	30.0%	9	39.1%	29	50.9%	33	50.0%	29	41.4%	21	24.1%	13	19.1%	1	33.3%
	男性	126	38.0%	6	42.9%	12	48.0%	25	49.0%	31	45.6%	25	41.7%	19	25.3%	8	21.6%	0	0.0%
	無回答	4	10.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	12.5%
暴力にあたるとは思わない場合があると思う	女性	104	26.4%	10	50.0%	11	47.8%	21	36.8%	21	31.8%	20	28.6%	14	16.1%	7	10.3%	0	0.0%
	男性	99	29.8%	7	50.0%	10	40.0%	17	33.3%	26	38.2%	21	35.0%	13	17.3%	5	13.5%	0	0.0%
	無回答	5	13.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	15.6%
暴力にあたるとは思わない	女性	33	8.4%	4	20.0%	1	4.3%	6	10.5%	4	6.1%	4	5.7%	8	9.2%	6	8.8%	0	0.0%
	男性	34	10.2%	1	7.1%	2	8.0%	4	7.8%	6	8.8%	4	6.7%	10	13.3%	6	16.2%	1	50.0%
	無回答	3	8.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	9.4%
無回答	女性	116	29.4%	0	0.0%	2	8.7%	1	1.8%	8	12.1%	17	24.3%	44	50.6%	42	61.8%	2	66.7%
	男性	73	22.0%	0	0.0%	1	4.0%	5	9.8%	5	7.4%	10	16.7%	33	44.0%	18	48.6%	1	50.0%
	無回答	25	67.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	2	100.0%	20	62.5%

⑫常に命令口調で話す

「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が 35.3%と最も高いが、半数に満たない。

年代別にみると、「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合は 30 代で 60.4%と最も高く、80 歳以上の 18.7%が最も低くなっており、その差は 41.7 ポイントとなっている。

性・年代別にみると、「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が 30 代の男性で女性を上回っている。

図表：夫婦間での行為における暴力の認識について（性・年代別）

選択項目	性別	総計		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	女性	143	36.3%	10	50.0%	12	52.2%	29	50.9%	29	43.9%	28	40.0%	22	25.3%	13	19.1%	0	0.0%
	男性	123	37.0%	7	50.0%	17	68.0%	22	43.1%	29	42.6%	24	40.0%	17	22.7%	7	18.9%	0	0.0%
	無回答	3	8.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	9.4%
暴力にあたると、そうでない場合があると思う	女性	105	26.6%	8	40.0%	6	26.1%	21	36.8%	25	37.9%	24	34.3%	14	16.1%	6	8.8%	1	33.3%
	男性	98	29.5%	5	35.7%	4	16.0%	19	37.3%	26	38.2%	25	41.7%	13	17.3%	6	16.2%	0	0.0%
	無回答	7	18.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	21.9%
暴力にあたるとは思わない	女性	29	7.4%	2	10.0%	3	13.0%	4	7.0%	3	4.5%	3	4.3%	7	8.0%	7	10.3%	0	0.0%
	男性	37	11.1%	2	14.3%	3	12.0%	5	9.8%	7	10.3%	1	1.7%	11	14.7%	7	18.9%	1	50.0%
	無回答	1	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%
無回答	女性	117	29.7%	0	0.0%	2	8.7%	3	5.3%	9	13.6%	15	21.4%	44	50.65	42	61.8%	2	66.7%
	男性	74	22.3%	0	0.0%	1	4.0%	5	9.8%	6	8.8%	10	16.7%	34	45.3%	17	45.9%	1	50.0%
	無回答	26	70.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	2	100.0%	21	65.6%

⑬家に生活費を入れない

「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が45%と最も高いが、半数に満たない。年代別にみると、20代の61.8%が最も高く、80歳以上の20.6%が最も低くなっており、その差は41.2ポイントとなっている。

性・年代別にみると、「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が20代男性で64.3%と最も高く、20代、40代、60代、70代、80歳以上の男性では「どんな場合も暴力にあたると思う」とする人の割合が同年代の女性を上回っている。

図表：夫婦間での行為における暴力の認識について（性・年代別）

選択項目	性別	総計		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	女性	176	23.1%	12	60.0%	14	60.9%	34	59.6%	37	56.1%	39	55.7%	25	28.7%	14	20.6%	1	33.3%
	男性	162	21.2%	9	64.3%	15	60.0%	31	60.8%	37	54.4%	37	61.7%	24	32.0%	8	21.6%	1	50.0%
	無回答	5	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	15.6%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	女性	63	8.3%	4	20.0%	3	13.0%	17	29.8%	14	21.2%	6	8.6%	10	11.5%	9	13.2%	0	0.0%
	男性	53	6.9%	3	21.4%	6	24.0%	9	17.6%	15	22.1%	7	11.7%	7	9.3%	6	16.2%	0	0.0%
	無回答	5	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	15.6%
暴力にあたるとは思わない	女性	33	4.3%	4	20.0%	4	17.4%	4	7.0%	6	9.1%	6	8.6%	6	6.9%	3	4.4%	0	0.0%
	男性	42	5.5%	2	14.3%	3	12.0%	6	11.8%	10	14.7%	6	10.0%	9	12.0%	6	16.2%	0	0.0%
	無回答	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%
無回答	女性	122	16.0%	0	0.0%	2	8.7%	2	3.5%	9	13.6%	19	27.1%	46	52.9%	42	61.8%	2	66.7%
	男性	75	9.8%	0	0.0%	1	4.0%	5	9.8%	6	8.8%	10	16.7%	35	46.7%	17	45.9%	1	50.0%
	無回答	26	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	2	100.0%	21	65.6%

（２）これまでの被害経験の有無について・・・問２０

これまでに「なぐったり、けったり、物を投げつけられたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた」ことが「１、２度あった」という人は 11.1%で、「何度もあった」（5.1%）という人を合わせると、身体的暴力を受けたことがある人は 16.2%となっている。

「人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あたかもくしはあなたの家庭に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた」ことがあるという人は「１、２度あった」6.8%で、「何度もあった」（4.8%）という人を合わせると、11.6%の人が、精神的暴力を受けている。

また、これまで「いやがっているのに性的な行為を強要された」ことが「１、２度あった」という人は 5%で「何度もあった」（2.2%）を合わせると、7.2%の人が性的暴力の被害経験をもっている。

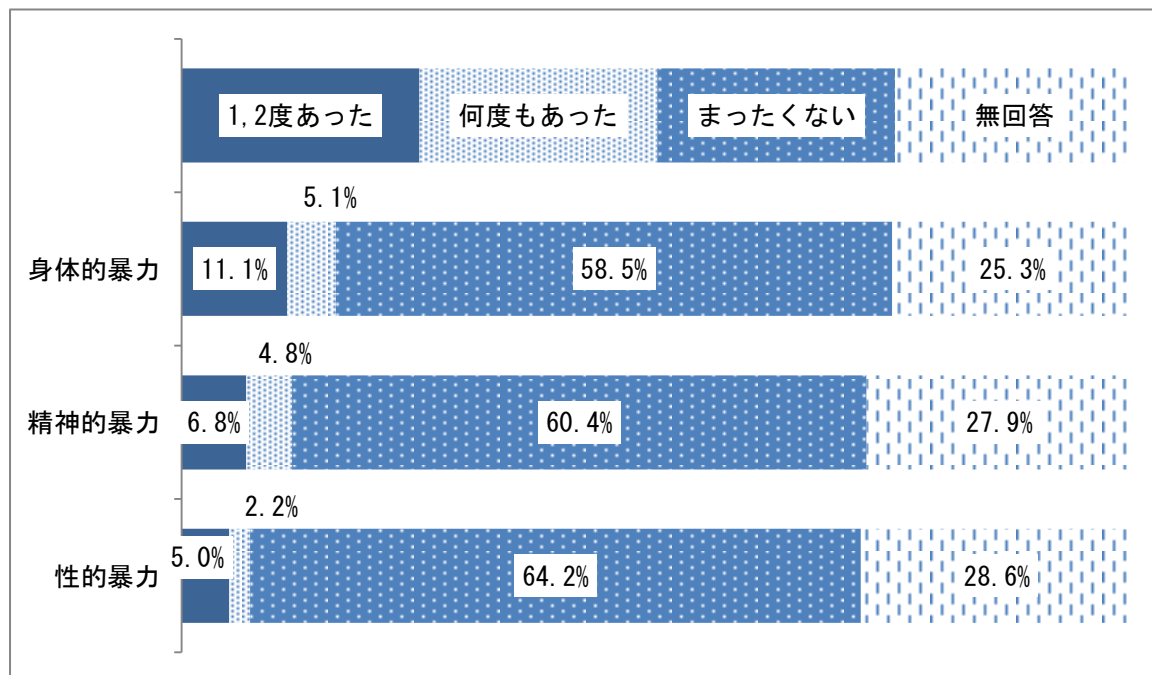
全ての項目において「無回答」とした人の割合は 2 割をこえている。

男女別にみると、男女ともに身体的暴力を受けたことのある人の割合が最も高く、女性で 23.1%、男性で 9.3%と、被害率は女性の方が 13.8 ポイント高くなっている。また、すべての項目で被害率は男性より女性の方が高くなっている。

性・年代別でみると、身体に対する暴行を受けたことが「あった」（「１、２度あった」＋「何度もあった」）63.6%、精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けたことが「あった」（「１、２度あった」＋「何度もあった」）80%、性的な行為を強要されたことが「あった」（「１、２度あった」＋「何度もあった」）50%、とすべての項目で 20 代女性が最も高くなっている。

国が平成 24 年に実施した調査と比較すると、「１、２度あった」とする人の割合が、全ての項目において国より高くなっている。

図表：被害経験の有無について



図表：国との比較（内閣府「男女間における暴力に関する調査」平成 24 年）

		1、2 度あった	何度もあった	まったくない	無回答
①なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた＜身体的暴力＞	大和村	15.2%	7.9%	52.3%	24.6%
	国	4.1%	16.1%	77.9%	2.0%
②人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家庭に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた＜精神的暴力＞	大和村	9.6%	6.9%	55.6%	27.9%
	国	4.6%	9.4%	82.2%	3.8%
③嫌がっているのに性的な行為を強要された＜性的暴力＞	大和村	7.9%	3.6%	59.6%	28.9%
	国	6.5%	2.7%	86.5%	4.3%

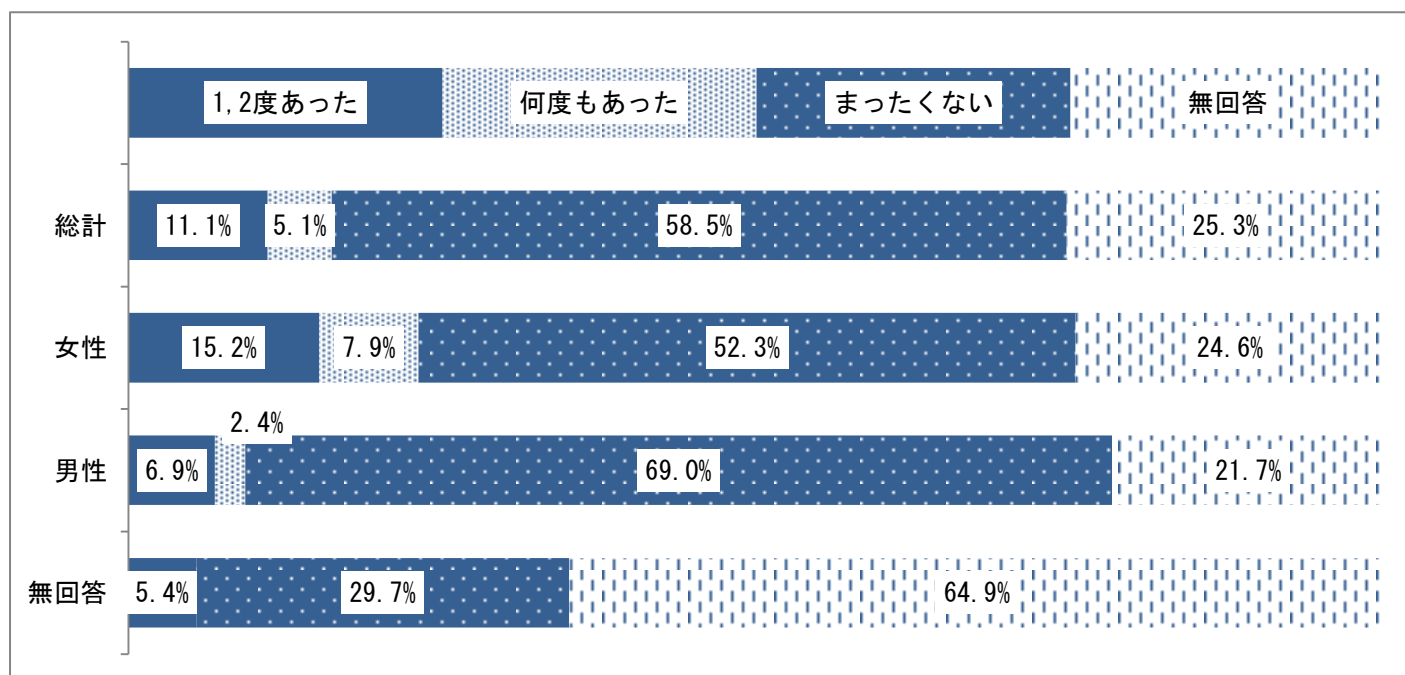
①「なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた」

身体に対する暴力を受けたことが「あった」という女性は、23.1%（「1、2度あった」15.2%+「何度もあった」7.9%）、男性で9.3%（「1、2度あった」6.9%+「何度もあった」2.4%）と女性の被害率の方が13.8ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、30代男性で暴行を受けたことが「あった」とする人の割合が100%と最も高く、次いで60代男性では81.9%となっている。最も低いのは80歳以上男性で42.9%となっている。

国が平成24年に実施した調査と比較すると、男女ともに「あった」（「1、2度あった」+「何度もあった」）とする人の割合は国よりも低くなっている。一方、「まったくない」とする人の割合は男女ともに低くなっている。

図表：身体的暴力被害の有無について



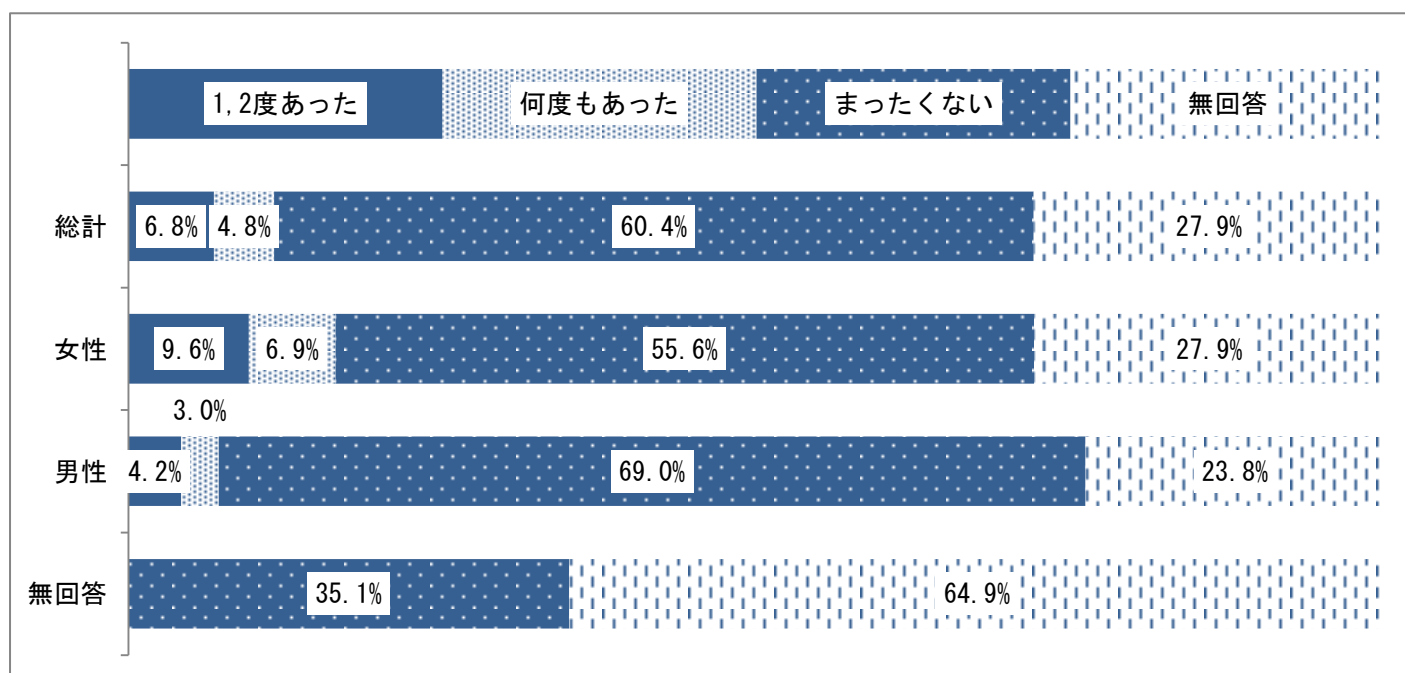
②「人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家庭に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた」

精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けたことが「あった」という人は女性で 16.5%（「1、2 度あった」9.6%＋「何度もあった」6.9%）、男性で 7.2%（「1、2 度あった」4.2%＋「何度もあった」3.0%）と、女性の被害率の方が 9.3 ポイント高く、すべての項目の中で「あった」とする人の男女差が最も大きい。

性・年代別にみると、20 代女性で暴行を受けたことが「あった」とする人の割合が 88.9%と最も高くなっている。一方、20 代男性では「あった」とする回答はなかった。

国が平成 24 年に実施した調査と比較すると、男女ともに「あった」（「1、2 度あった」＋「何度もあった」）とする人の割合は国よりも低くなっている。一方、「まったくない」とする人の割合は男女ともに低くなっている。

図表：精神的暴力被害の有無について



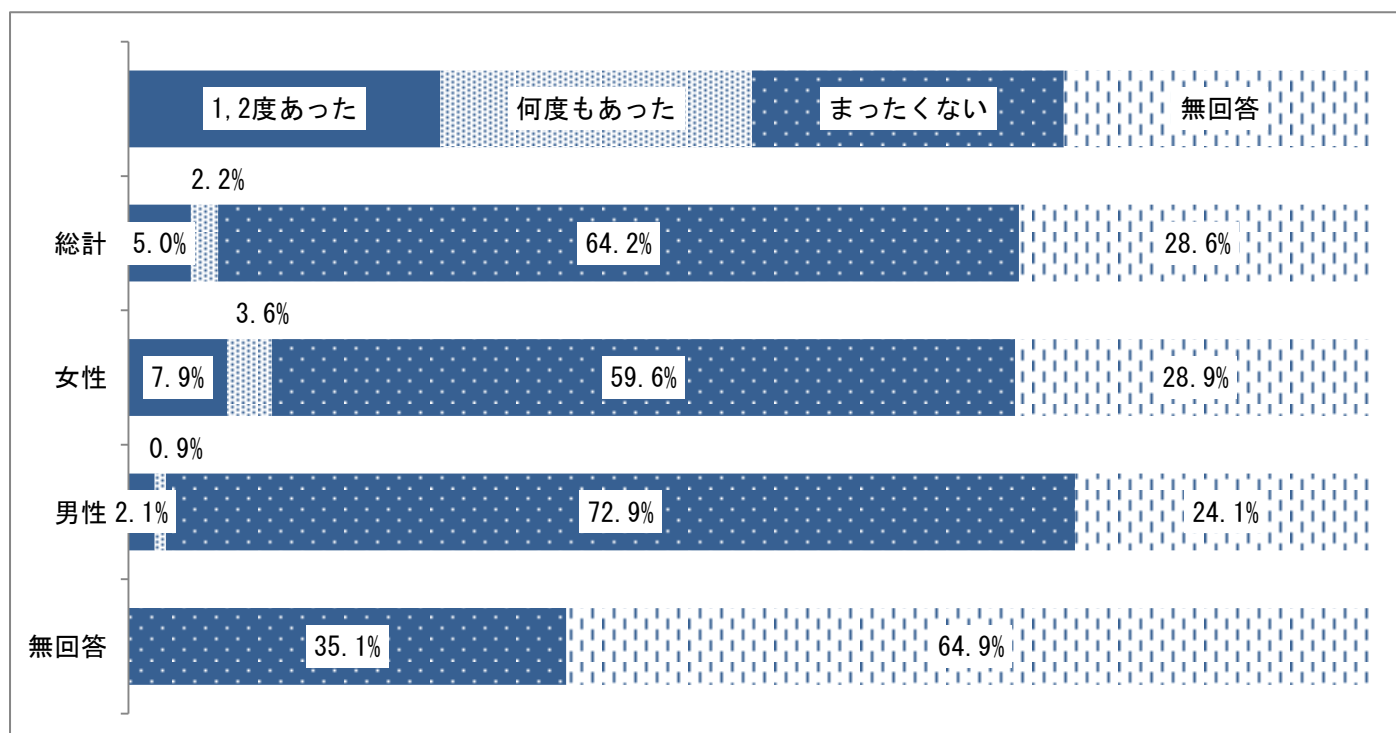
③「嫌がっているのに性的な行為を強要された」

性的な行為を強要されたことが「あった」という人は、女性で 11.5%（「1、2 度あった」7.9%＋「何度もあった」3.6%）、男性で 3.0%（「1、2 度あった」2.1%＋「何度もあった」0.9%）と女性の被害率の方が 8.5 ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、暴行を受けたことが「あった」とする人の割合は、57.2%と 30 代女性で最も高く、次いで 20 代女性の 55.6%と続く。一方、男性の 20、30、40、70 代 80 歳以上では「あった」とする回答はなかった。

国が平成 24 年に実施した調査と比較すると、男女ともに「あった」（「1、2 度あった」＋「何度もあった」）とする人の割合は低くなっている。一方、「まったくない」とする人の割合は男女ともに低くなっている。

図表：性的暴力被害の有無について



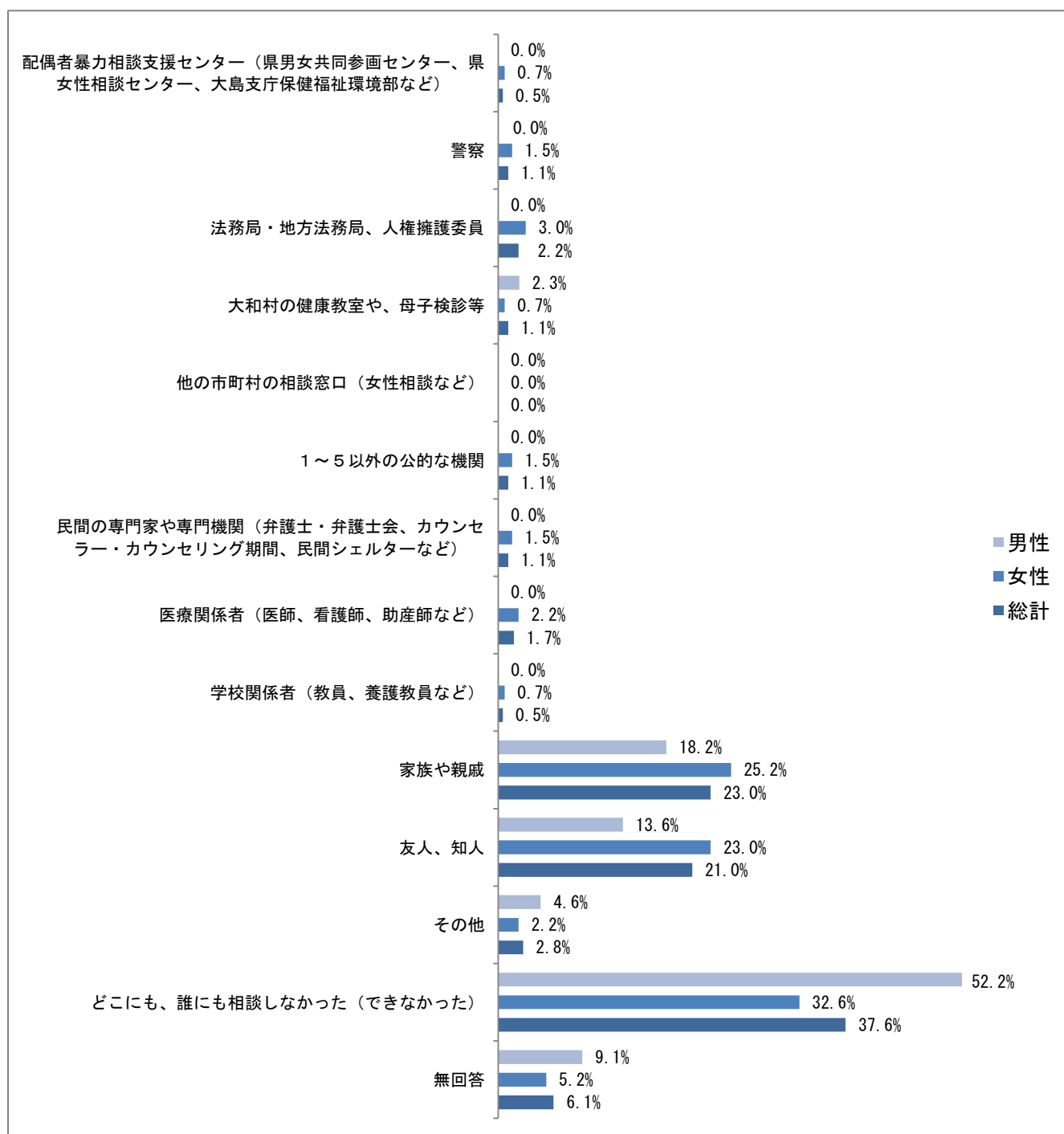
（３）配偶者等からの暴力を受けたときの相談先について・・・問２１

配偶者等からの暴力を受けたときの相談先については、「家族や親戚に相談した」（22.8%）が最も高く、次いで「友人、知人に相談した」（20.7%）となっている。その他の項目は公的機関をはじめ0～2.2%となっており、私的関係の範囲内での相談にとどめている割合が高くなっている。また、「どこにも、だれにも相談しなかった（できなかった）」とする人の割合は、37%とすべての項目の中で最も高くなっている。

男女別に見ると、男女ともに「家族や親戚に相談した」が最も高く女性で24.5%、男性で18.6%となり、次いで「友人、知人に相談した」が女性で23%、男性で11.6%となっている。

年代別にみると、20代、30代では公的機関に相談した人はいなかった。

図表：配偶者等からの暴力の相談先（複数回答）



図表：参考（内閣府平成 23 年「男女間における暴力に関する調査」）

	配偶者暴力相談支援センター	警察	人権擁護委員	法務局、地方法務局、子検診等	大和村の健康教室や母	他の市町村の相談窓口（女性相談など）	左記以外の公的な機関	民間の専門家や専門機関	医療関係者	学校関係者	家族や親戚	友人、知人	その他	どこにも、だれにも相談しなかった
大和村	0.5%	1.1%	2.2%	1.1%		0.0%	1.1%	1.1%	1.6%	0.5%	22.8%	20.7%	2.7%	37.0%
国	1.6%	5.4%	0.4%				1.2%	1.6%	3.1%		23.7%	24.5%	0.4%	53.3%

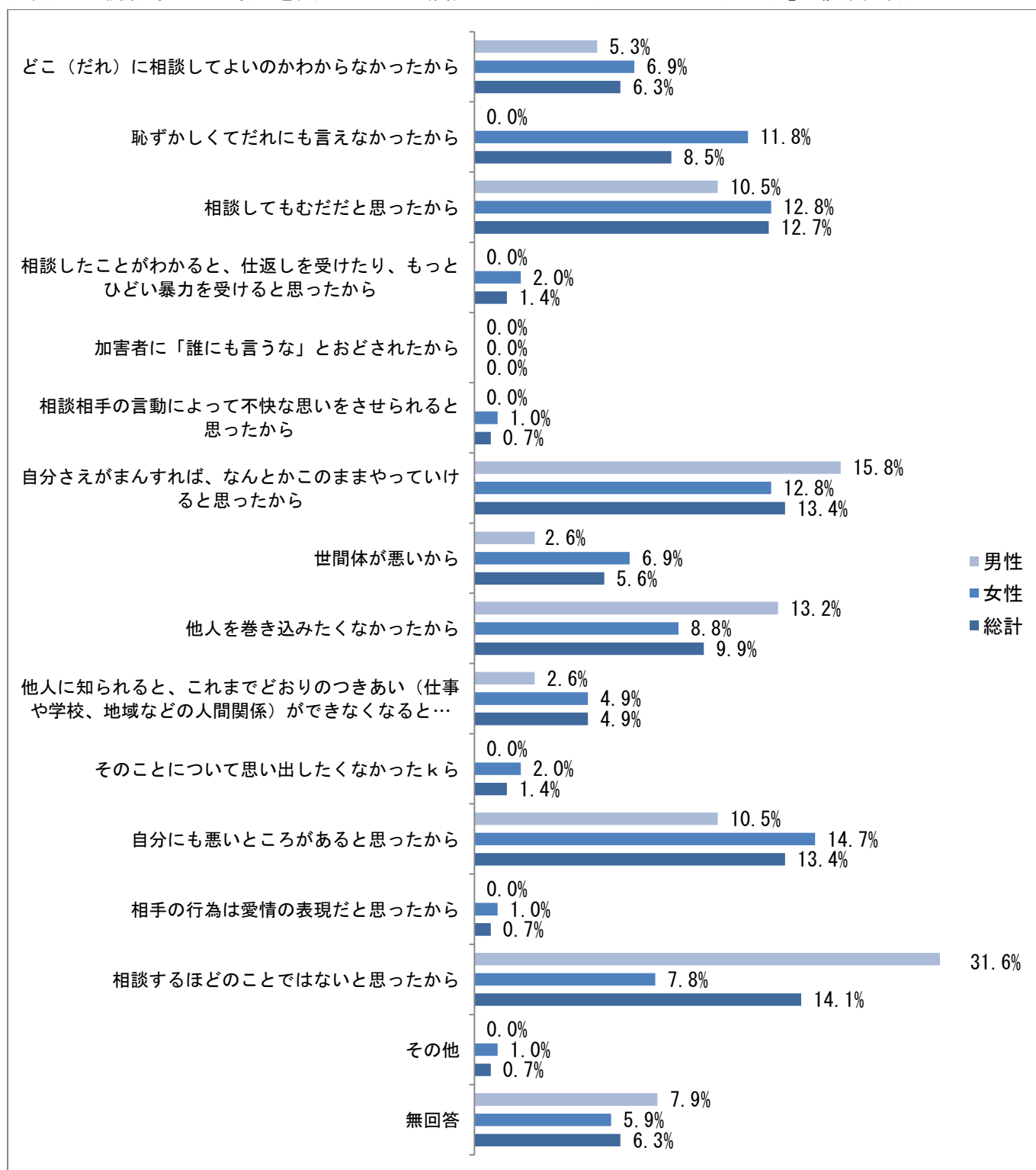
※内閣府においては、「配偶者暴力相談支援センター」と「男女共同参画センター」別項目になっている。

（４）配偶者等からの暴力を受けたときに相談しなかった（できなかった）理由について・・・問２２

配偶者からの暴力を受けたときに相談しなかった（できなかった）理由については、「相談するほどのことではないと思ったから」が 14.1%と最も高く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」13.4%、「自分さえがまんすれば、なんとかやっていけると思ったから」13.4%、「相談してもむだだと思ったから」12.7%と続く。

性・年代別にみると、すべての年代の女性が「自分さえがまんすれば、なんとかやっていけると思ったから」という項目に回答している。

図表：「配偶者等からの暴力を受けたときに相談しなかった（できなかった）理由」（複数回答）

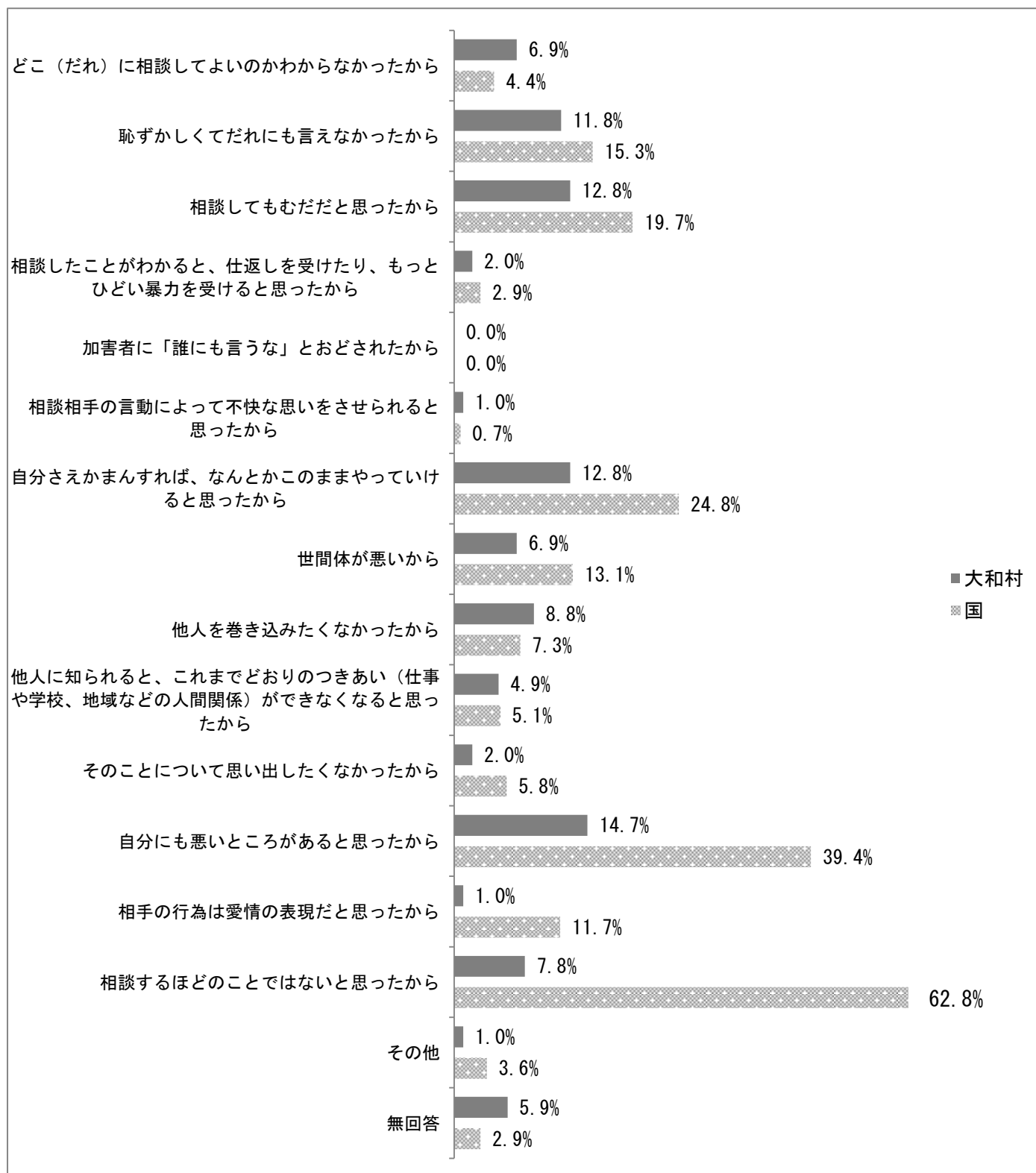


国が平成 24 年に実施した調査の女性の回答を比較すると、「相談してもむだだと思ったから」「他人を巻き込みたくなかったから」の 2 項で、国を上回る回答があったが、それ以外の項目は、すべて国を下回っている。

一方、すべての項目の中で最も回答の割合が高い「相談するほどのことではないと思ったから」は、国の回答の半数以下となっている。

図表：国との比較（内閣府平成 21 年「男女間における暴力に関する調査」）

「配偶者等からの暴力をうけたときに相談しなかった（できなかった）理由」（女性）



9. 男女共同参画関連用語について・・・問23

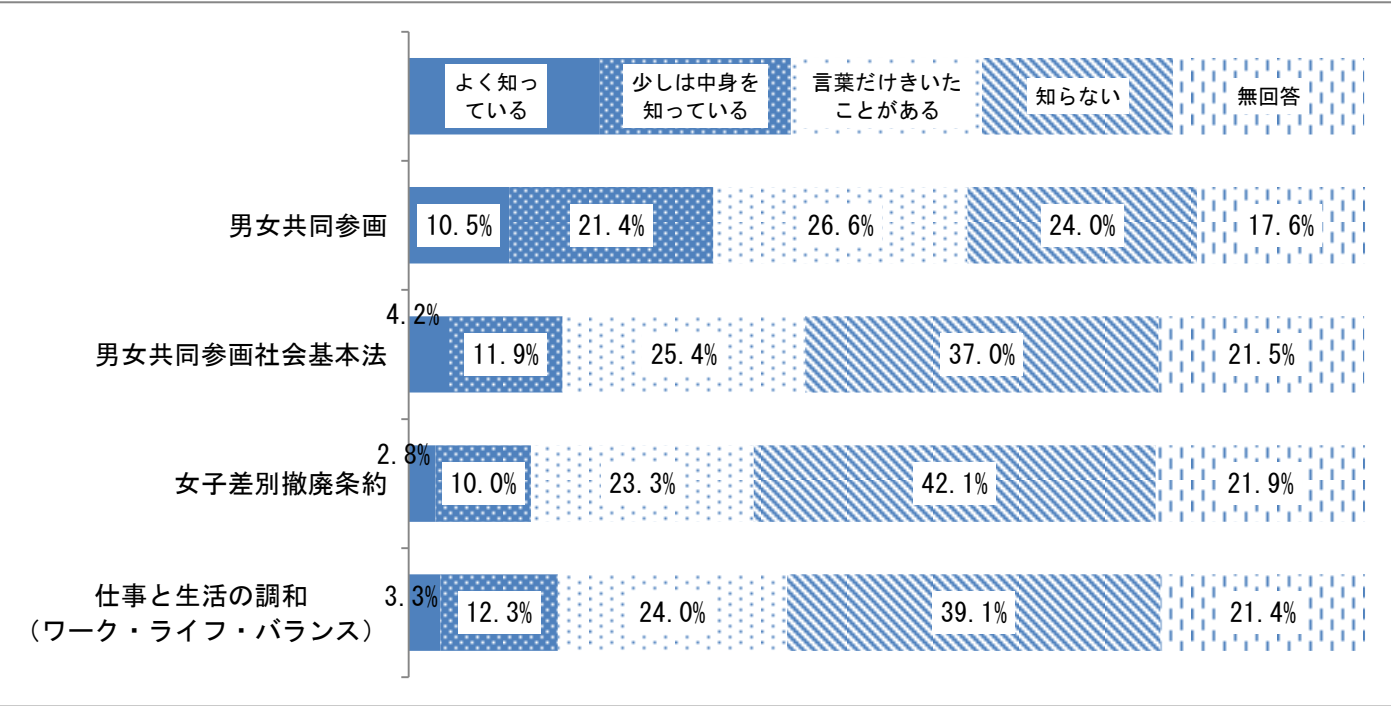
(1) 男女共同参画に関する用語の周知度について

男女共同参画に関連の深い「男女共同参画」「男女共同参画社会基本法」「女子差別撤廃条約」「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の4つの用語について知っているかを聞いたところ、「よく知っている」とする人の割合は、「男女共同参画」で10.5%が最も高く、それ以外はすべて1割に満たない。

「聞いたことがある」とする人の割合は、「男女共同参画」で最も高く26.6%、次いで「男女共同参画基本法」25.4%となっており、それ以外も全て3割未満となっている。

「男女共同参画」をのぞくすべての用語で、「知らない」とする人の割合が最も高くなっている。男女別にみると、すべての用語について「よく知っている」とする人の割合は、男性が女性を上回っている。

図表：男女共同参画に関する用語の周知度



① 「男女共同参画」

「よく知っている」とする人の割合は、10.5%とすべての用語の中で最も高くなっているが、「知らない」とする人に割合が24.0%と2倍以上となっている。また、「聞いたことがある」とする人の割合も26.6%とすべての用語の中で最も高くなっている。

性・年代別にみると、すべての年代で「少しは中身を知っている」とする人の割合は、男性の方が高くなっている。また、「よく知っている」とする人の割合は、60代男性の23.3%が最も高く、次いで50代男性（21.8%）、70代男性（18.7%）と続く。「知らない」とする人の割合は、すべての年代で女性の方が高くなっており、80歳以上の女性で44.1%と最も高い。また、50代男性では「知らない」と回答した人はいなかった。

内閣府が平成24年に実施した「男女共同参画社会」という言葉を見たり聞いたりしたことがあると回答した人の割合は、63.7%となっている。

②「男女共同参画社会基本法」

「よく知っている」とする人の割合は 4.2%、「知らない」とする人の割合は 37%となっており、「知らない」人が「よく知っている」人を 32.8 ポイント上回っている。また「聞いたことがある」とする人の割合は 25.4%と、「男女共同参画」に次いで高くなっている。

性・年代別にみると、20 代男性、30 代男女と 40 代男性で「よく知っている」と回答した人がいなかった。また、「知らない」とする人の割合が、30 代女性で 73.9%と最も高く、次いで 40 代女性 (54.4%)、40 代男性 (51.0%) となっている。

③「女子差別撤廃条約」

「よく知っている」とする人の割合は 2.8%とすべての用語の中で最も低くなっている。「知らない」とする人の割合は 42.1%となっており、「知らない」人が「よく知っている」人を 39.3%ポイント上回っている。また「聞いたことがある」とする人も 3 割に満たない。

性・年代別でみると、40 代男性で「知らない」とする人の割合が 70.6%と最も高く、次いで 50 代男性 (56.9%)、20 代男性 (57.1%) といずれも 5 割をこえている。

内閣府が平成 24 年に実施した「女子撤廃差別条約」という言葉を見たり聞いたりしたことがあると回答した人の割合は 34.8%となっている。

④「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」

「よく知っている」とする人の割合は 3.3%、「知らない」とする人の割合は 39.1%となっており、「知らない」人が「よく知っている」人を 35.8%ポイント上回っている。「聞いたことがある」とする人の割合も 3 割に満たない。

性・年代別にみると、20 代男性、30 代女性、50 代女性では「よく知っている」と回答した人がいなかった。また、20 代男性、40 代男性、50 代男性では「知らない」とする人の割合が 5 割をこえている。

内閣府が平成 24 年に実施した「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」という言葉を見たり聞いたりしたことがあると回答した人の割合は 41.3%となっている。

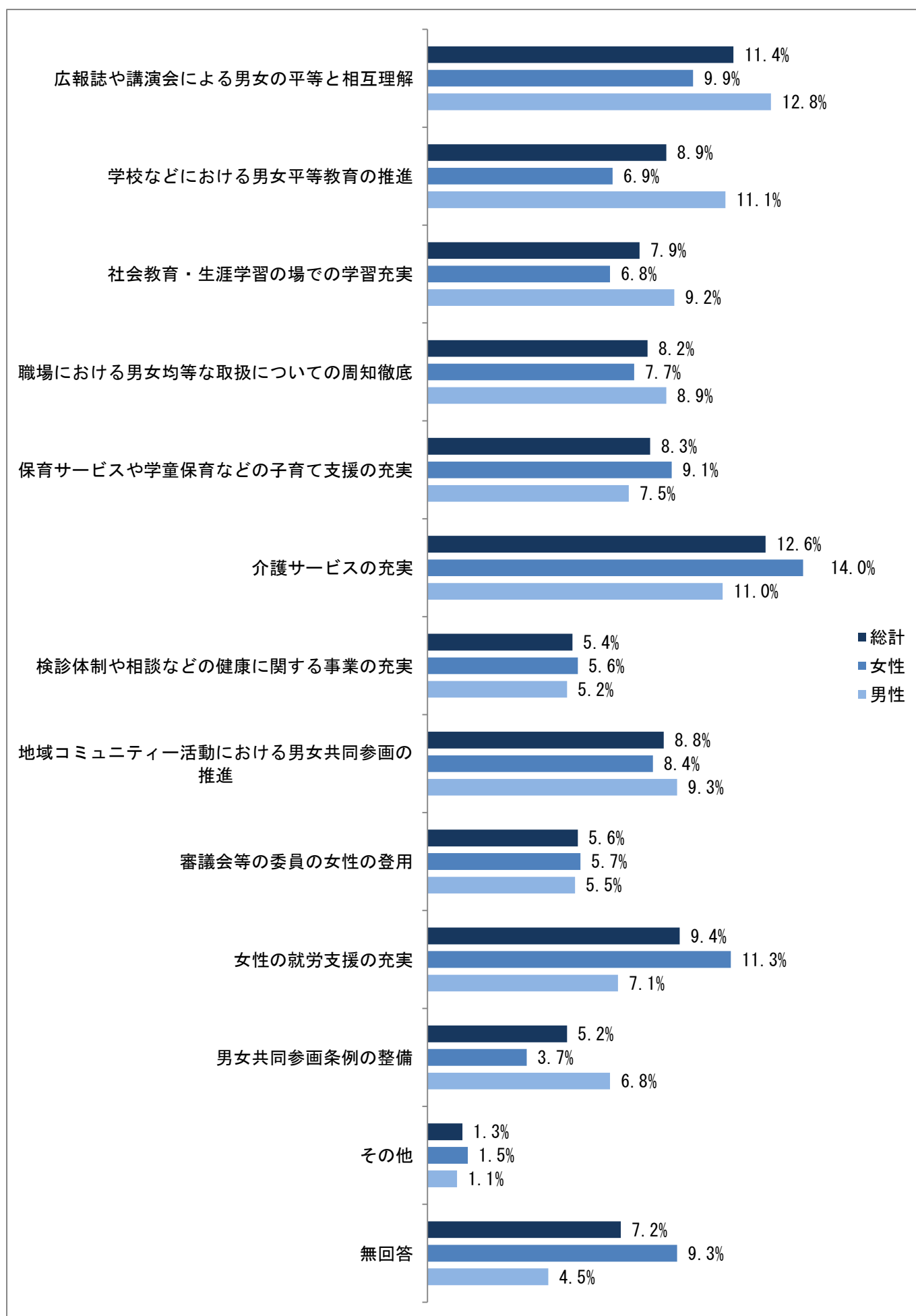
10. 「男女共同参画社会」を実現するために、大和村に望む施策について・・・問24

男女共同参画社会を推進するために大和村に望む施策については、「介護サービスの充実」12.6%が最も高く、次いで「広報誌や講演会などによる男女の平等と相互理解についての啓発」(11.4%)、「女性の就労支援の充実」(9.4%)となっている。

年代別にみると、「保育サービスや学童保育などの子育て支援の充実」について20代で19.5%と最も高く、次いで30代(17.1%)、40代(12.6%)の順になっている。また、「女性の就労支援の充実」、「職場における男女均等な取り扱いについての周知徹底」、「学校などにおける男女平等教育の推進」が20代～40代の世代で上位に位置している。

「地域コミュニティ活動における男女共同参画の推進」については、60代で13.3%と最も高く、次いで50代(10.9%)、70代(8.2%)の順になっている。また、「広報誌や講演会などによる男女の平等と相互理解についての啓発」、「介護サービスの充実」が60代～80歳以上で上位に位置している。

図表：「男女共同参画社会」を実現するために、大和村に望む施策について



VI. 参考資料

1. 意識調査集計表

問 1

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
賛成	122	16.0%	61	15.5%	55	16.6%	6	16.2%
どちらかといえば賛成	269	35.3%	122	31.0%	134	40.4%	13	35.1%
どちらかといえば反対	178	23.3%	110	27.9%	65	19.6%	3	8.1%
反対	123	16.1%	62	15.7%	57	17.2%	4	10.8%
無回答	71	9.3%	39	9.9%	21	6.3%	11	29.7%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 2-①

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性の方が非常に優遇されている	87	11.4%	52	13.2%	32	9.6%	3	8.1%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	295	38.7%	153	38.8%	129	38.9%	13	35.1%
平等である	222	29.1%	98	24.9%	117	35.2%	7	18.9%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	21	2.8%	13	3.3%	8	2.4%	0	0.0%
女性の方が非常に優遇されている	6	0.8%	1	0.3%	4	1.2%	1	2.7%
わからない	43	5.6%	23	5.8%	17	5.1%	3	8.1%
無回答	89	11.7%	54	13.7%	25	7.5%	10	27.0%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 2-②

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性の方が非常に優遇されている	17	2.2%	12	3.0%	5	1.5%	0	0.0%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	74	9.7%	45	11.4%	28	8.4%	1	2.7%
平等である	421	55.2%	193	49.0%	208	62.7%	20	54.1%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	16	2.1%	6	1.5%	10	3.0%	0	0.0%
女性の方が非常に優遇されている	7	0.9%	3	0.8%	4	1.2%	0	0.0%
わからない	87	11.4%	50	12.7%	34	10.2%	3	8.1%
無回答	141	18.5%	85	21.6%	43	13.0%	13	35.1%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問2-③

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性の方が非常に優遇されている	87	11.4%	48	12.2%	32	9.6%	7	18.9%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	253	33.2%	133	33.8%	113	34.0%	7	18.9%
平等である	182	23.9%	73	18.5%	102	30.7%	7	18.9%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	27	3.5%	10	2.5%	16	4.8%	1	2.7%
女性の方が非常に優遇されている	5	0.7%	2	0.5%	3	0.9%	0	0.0%
わからない	64	8.4%	42	10.7%	19	5.7%	3	8.1%
無回答	145	19.0%	86	21.8%	47	14.2%	12	32.4%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問2-④

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性の方が非常に優遇されている	78	10.2%	48	12.2%	28	8.4%	2	5.4%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	315	41.3%	177	44.9%	126	38.0%	12	32.4%
平等である	172	22.5%	60	15.2%	105	31.6%	7	18.9%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	14	1.8%	5	1.3%	9	2.7%	0	0.0%
女性の方が非常に優遇されている	2	0.3%	0	0.0%	2	0.6%	0	0.0%
わからない	46	6.0%	27	6.9%	17	5.1%	2	5.4%
無回答	136	17.8%	77	19.5%	45	13.6%	14	37.8%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問2-⑤

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性の方が非常に優遇されている	36	4.7%	25	6.3%	11	3.3%	0	0.0%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	149	19.5%	89	22.6%	54	16.3%	6	16.2%
平等である	322	42.2%	130	33.0%	178	53.6%	14	37.8%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	19	2.5%	7	1.8%	12	3.6%	0	0.0%
女性の方が非常に優遇されている	5	0.7%	1	0.3%	4	1.2%	0	0.0%
わからない	93	12.2%	63	16.0%	28	8.4%	2	5.4%
無回答	139	18.2%	79	20.1%	45	13.6%	15	40.5%
合計	763	100.0%	394	100.1%	332	100.0%	37	100.0%

問2-⑥

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性の方が非常に優遇されている	112	14.7%	63	16.0%	42	12.7%	7	18.9%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	300	39.3%	146	37.1%	146	44.0%	8	21.6%
平等である	133	17.4%	54	13.7%	73	22.0%	6	16.2%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	8	1.0%	5	1.3%	3	0.9%	0	0.0%
女性の方が非常に優遇されている	4	0.5%	1	0.3%	3	0.9%	0	0.0%
わからない	71	9.3%	47	11.9%	22	6.6%	2	5.4%
無回答	135	17.7%	78	19.8%	43	13.0%	14	37.8%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問3

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	415	54.4%	213	54.1%	186	56.0%	16	43.2%
どちらかといえばそう思う	194	25.4%	99	25.1%	90	27.1%	5	13.5%
どちらかといえばそう思わない	35	4.6%	12	3.0%	20	6.0%	3	8.1%
そう思わない	19	2.5%	11	2.8%	8	2.4%	0	0.0%
わからない	38	5.0%	25	6.3%	10	3.0%	3	8.1%
無回答	62	8.1%	34	8.6%	18	5.4%	10	27.0%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問4-①

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	296	38.8%	127	32.2%	157	47.3%	12	32.4%
どちらかといえばそう思う	216	28.3%	112	28.4%	95	28.6%	9	24.3%
どちらともいえない	108	14.2%	70	17.8%	34	10.2%	4	10.8%
どちらかといえばそう思わない	22	2.9%	11	2.8%	10	3.0%	1	2.7%
そう思わない	42	5.5%	26	6.6%	14	4.2%	2	5.4%
無回答	79	10.4%	48	12.2%	22	6.6%	9	24.3%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 4-②

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	159	20.8%	89	22.6%	66	19.9%	4	10.8%
どちらかといえばそう思う	223	29.2%	121	30.7%	90	27.1%	12	32.4%
どちらともいえない	182	23.9%	82	20.8%	94	28.3%	6	16.2%
どちらかといえばそう思わない	56	7.3%	29	7.4%	25	7.5%	2	5.4%
そう思わない	58	7.6%	28	7.1%	29	8.7%	1	2.7%
無回答	85	11.1%	45	11.4%	28	8.4%	12	32.4%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 4-③

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	242	31.7%	132	33.5%	103	31.0%	7	18.9%
どちらかといえばそう思う	231	30.3%	117	29.7%	103	31.0%	11	29.7%
どちらともいえない	129	16.9%	66	16.8%	59	17.8%	4	10.8%
どちらかといえばそう思わない	30	3.9%	12	3.0%	17	5.1%	1	2.7%
そう思わない	50	6.6%	21	5.3%	25	7.5%	4	10.8%
無回答	81	10.6%	46	11.7%	25	7.5%	10	27.0%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 4-④

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	96	12.6%	55	14.0%	37	11.1%	4	10.8%
どちらかといえばそう思う	127	16.6%	60	15.2%	61	18.4%	6	16.2%
どちらともいえない	285	37.4%	143	36.3%	132	39.8%	10	27.0%
どちらかといえばそう思わない	42	5.5%	22	5.6%	19	5.7%	1	2.7%
そう思わない	114	14.9%	56	14.2%	54	16.3%	4	10.8%
無回答	99	13.0%	58	14.7%	29	8.7%	12	32.4%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 5-①

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫	7	1.5%	1	0.4%	6	2.7%	0	0.0%
妻	330	72.4%	170	74.6%	159	71.3%	1	20.0%
夫と妻が分担	76	16.7%	36	15.8%	40	17.9%	0	0.0%
その他の人	6	1.3%	1	0.4%	4	1.8%	1	20.0%
該当しない	4	0.9%	3	1.3%	1	0.4%	0	0.0%
無回答	33	7.2%	17	7.5%	13	5.8%	3	60.0%
合計	456	100.0%	228	100.0%	223	100.0%	5	100.0%

問5-②

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫	1	0.2%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%
妻	219	48.0%	113	49.6%	106	47.5%	0	0.0%
夫と妻が分担	100	21.9%	53	23.2%	46	20.6%	1	20.0%
その他の人	2	0.4%	0	0.0%	2	0.9%	0	0.0%
該当しない	68	14.9%	33	14.5%	35	15.7%	0	0.0%
無回答	66	14.5%	29	12.7%	33	14.8%	4	80.0%
合計	456	100.0%	228	100.0%	223	100.0%	5	100.0%

問5-③

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫	4	0.9%	1	0.4%	3	1.3%	0	0.0%
妻	139	30.5%	73	32.0%	66	29.6%	0	0.0%
夫と妻が分担	84	18.4%	39	17.1%	44	19.7%	1	20.0%
その他の人	14	3.1%	6	2.6%	8	3.6%	0	0.0%
該当しない	146	32.0%	75	32.9%	70	31.4%	1	20.0%
無回答	69	15.1%	34	14.9%	32	14.3%	3	60.0%
合計	456	100.0%	228	100.0%	223	100.0%	5	100.0%

問5-④

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫	134	29.4%	47	20.6%	84	37.7%	3	60.0%
妻	62	13.6%	39	17.1%	23	10.3%	0	0.0%
夫と妻が分担	213	46.7%	115	50.4%	98	43.9%	0	0.0%
その他の人	3	0.7%	1	0.4%	2	0.9%	0	0.0%
該当しない	10	2.2%	7	3.1%	3	1.3%	0	0.0%
無回答	34	7.5%	19	8.3%	13	5.8%	2	40.0%
合計	456	100.0%	228	100.0%	223	100.0%	5	100.0%

問6

	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
農林水産業	31	4.1%	5	1.3%	26	7.8%	0	0.0%
商工サービス業	8	1.0%	3	0.8%	5	1.5%	0	0.0%
その他の自営業	35	4.6%	17	4.3%	18	5.4%	0	0.0%
農林水産業(家族従事者)	14	1.8%	6	1.5%	8	2.4%	0	0.0%
商工サービス業(家族従事者)	3	0.4%	2	0.5%	1	0.3%	0	0.0%
その他の自営業(家族従事者)	3	0.4%	2	0.5%	1	0.3%	0	0.0%
常勤の勤め(公務員、教員、社員等)	145	19.0%	41	10.4%	100	30.1%	4	10.8%
非常勤の勤め(パート、アルバイト、嘱託、臨時職員)	122	16.0%	71	18.0%	50	15.1%	1	2.7%
主婦・主夫	101	13.2%	92	23.4%	4	1.2%	5	13.5%
学生	1	0.1%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
無職	215	28.2%	110	27.9%	91	27.4%	14	37.8%
無回答	85	11.1%	44	11.2%	28	8.4%	13	35.1%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 7

	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
常勤(フルタイム)	198	26.0%	71	18.0%	124	37.3%	3	8.1%
常勤(短時間勤務、フレックスタイム制)	41	5.4%	22	5.6%	16	4.8%	3	8.1%
パートタイム、アルバイト、嘱託	79	10.4%	56	14.2%	22	6.6%	1	2.7%
契約社員、派遣社員	8	1.0%	5	1.3%	3	0.9%	0	0.0%
在宅勤務	18	2.4%	12	3.0%	6	1.8%	0	0.0%
事業経営	43	5.6%	10	2.5%	33	9.9%	0	0.0%
家事に従事	67	8.8%	46	11.7%	14	4.2%	7	18.9%
働くつもりはない	34	4.5%	15	3.8%	17	5.1%	2	5.4%
働くことができない	129	16.9%	80	20.3%	44	13.3%	5	13.5%
その他	44	5.8%	22	5.6%	21	6.3%	1	2.7%
無回答	102	13.4%	55	14.0%	32	9.6%	15	40.5%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 8 <複数回答>

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
募集・採用の機会	41	9.9%	23	11.7%	18	7.4%	0	0.0%
賃金	51	12.3%	27	13.7%	23	9.4%	1	20.0%
女性に補助的な業務や雑用(お茶汲み等)に従事させる傾向がある	46	11.1%	18	9.1%	28	11.5%	0	0.0%
昇進、昇格	42	10.1%	20	10.2%	22	9.0%	0	0.0%
管理職への東洋	49	11.8%	16	8.1%	33	13.5%	0	0.0%
結婚や出産時に退職する慣例や雰囲気がある	15	3.6%	7	3.6%	8	3.3%	0	0.0%
中高年女性には退職を促すような雰囲気がある	6	1.4%	4	2.0%	2	0.8%	0	0.0%
社内研修や教育訓練・出張や視察などの機会の差	14	3.4%	6	3.0%	8	3.3%	0	0.0%
育児休業や介護休業の取り易さ	21	5.1%	8	4.1%	12	4.9%	1	20.0%
同じ職場で夫と妻が共に働いている場合、どちらかが働き続けにくい雰囲気がある	26	6.3%	11	5.6%	14	5.7%	1	20.0%
その他	11	2.7%	4	2.0%	7	2.9%	0	0.0%
特に性別により処遇が異なることはない	63	15.2%	30	15.2%	32	13.1%	1	20.0%
無回答	61	14.7%	23	11.7%	37	15.2%	1	20.0%
合計	446	100.0%	197	100.0%	244	100.0%	5	100.0%

※その他

- ・ 現在、女性はいない
- ・ 山に入る仕事の為か女性はいない
- ・ 基本的に女性がいらない
- ・ 人事内容等
- ・ 休暇がとりづらい(特に土・日・祝)
- ・ 仕事内容が違うので比較できない
- ・ 何かを頼む時や仕事の内容について男性に聞き、最初から対等な立場として考えていない。
- ・ 女性が虐げられている自覚がない。基本的に女性は男性からの指示待ちである。

問 9

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
文章化された取り決めがある	129	35.7%	61	41.5%	65	31.1%	3	60.0%
文章化されていないが、合意していつ取り決めがある (口約束、暗黙の了解を含む)	34	9.4%	10	6.8%	24	11.5%	0	0.0%
取り決めはない	29	8.0%	12	8.2%	17	8.1%	0	0.0%
取り決めがあるかどうかわからない	22	6.1%	7	4.8%	15	7.2%	0	0.0%
無回答	147	40.7%	57	38.8%	88	42.1%	2	40.0%
合計	361	100.0%	147	100.0%	209	100.0%	5	100.0%

問 1 0 (問 9 で「1」「2」を選んだ方)

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
守られている	87	53.4%	38	53.5%	48	53.9%	1	33.3%
どちらかというと守られている	58	35.6%	27	38.0%	29	32.6%	2	66.7%
どちらかというと守られていない	13	8.0%	4	5.6%	9	10.1%	0	0.0%
守られていない	4	2.5%	2	2.8%	2	2.2%	0	0.0%
無回答	1	0.6%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
合計	163	100.0%	71	100.0%	89	100.0%	3	100.0%

問 1 1

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
非常にそう思っている	128	16.8%	58	14.7%	68	20.5%	2	5.4%
ある程度そう思っている	334	43.8%	171	43.4%	150	45.2%	13	35.1%
少しそう思っている	130	17.0%	80	20.3%	44	13.3%	6	16.2%
あまりそうは思わない	39	5.1%	23	5.8%	14	4.2%	2	5.4%
全くそうは思わない	10	1.3%	3	0.8%	6	1.8%	1	2.7%
無回答	122	16.0%	59	15.0%	50	15.1%	13	35.1%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 1 2 <複数回答>

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
自治会、町内会、集落などの地区を単位とした団体活動	363	27.2%	168	24.6%	187	30.8%	8	18.6%
婦人(女性)会、老人クラブ、青壮年団などの団体	393	29.5%	219	32.1%	164	27.0%	10	23.3%
子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動	106	8.0%	50	7.3%	55	9.1%	1	2.3%
消費者運動、環境保護運動などの住民活動	17	1.3%	8	1.2%	9	1.5%	0	0.0%
民生委員・児童委員・スポーツ推進委員などの公的な委員活動	32	2.4%	14	2.0%	18	3.0%	0	0.0%
子育て支援や高齢者介護、障がい者福祉などを目的としたグループ活動	32	2.4%	23	3.4%	9	1.5%	0	0.0%
NPO 法人などの非営利活動	10	0.8%	6	0.9%	4	0.7%	0	0.0%
特定の団体やグループに属さず、個人として地域に貢献する活動	44	3.3%	19	2.8%	25	4.1%	0	0.0%
スポーツや趣味、文化振興などに関するサークル活動	101	7.6%	53	7.8%	46	7.6%	2	4.7%
その他	15	1.1%	10	1.5%	5	0.8%	0	0.0%
特に何もしていない	167	12.5%	87	12.7%	71	11.7%	9	20.9%
無回答	53	4.0%	26	3.8%	14	2.3%	13	30.2%
合計	1333	100.0%	683	100.0%	607	100.0%	43	100.0%

※その他

- ・福祉弁当作り
- ・食生活改善グループ
- ・地域に貢献する活動とまではいかないが、道路に落ちたゴミを拾ったり掃除をしたりする。

問 1 3 (問 1 2 で「1」を選んだ方)

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
生きがい・やりがいを感じている	136	26.5%	76	28.4%	56	24.1%	4	28.6%
生きがい・やりがいを感じることもあるが、負担に感じることもある	294	57.2%	142	53.0%	144	62.1%	8	57.1%
負担に感じつつ参加している	62	12.1%	40	14.9%	22	9.5%	0	0.0%
無回答	22	4.3%	10	3.7%	10	4.3%	2	14.3%
合計	514	100.0%	268	100.0%	232	100.0%	14	100.0%

問 1 4 <複数回答>

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
地域活動をするときに、参加を強制させる雰囲気がある	151	7.6%	80	7.5%	68	7.9%	3	5.5%
外での作業は男性が出るべきだという雰囲気がある	150	7.6%	57	5.3%	90	10.5%	3	5.5%
女性や若い人は、男性や年長者の意見に従ったほうがよい (従うものだ)という雰囲気がある	177	8.9%	99	9.2%	72	8.4%	6	10.9%
団体の長や代表などには男性になるほうがよい(なるものだ) という雰囲気がある	174	8.8%	91	8.5%	80	9.3%	3	5.5%
会議等で女性が自分の意見を発言することに対して批判的な 雰囲気がある	51	2.6%	38	3.5%	13	1.5%	0	0.0%
女性は様々な役割や仕事の経験を積む機会から 遠ざけられている雰囲気がある	35	1.8%	20	1.9%	15	1.7%	0	0.0%
様々な役割の責任者には男性が就き、女性は補佐役に就くこと が多い	146	7.4%	78	7.3%	64	7.5%	4	7.3%
結婚をし、子どもを産み育てないと、一人前として認められない ような雰囲気がある	71	3.6%	41	3.8%	28	3.3%	2	3.6%
女性が役職に就きたがらない	112	5.6%	58	5.4%	52	6.1%	2	3.6%
会合や行事の湯茶・食事の準備や後片付けは女性の役割 という雰囲気がある	370	18.7%	210	19.6%	153	17.8%	7	12.7%
地域のために慣習を見直すなど、変革を求める人を 煙たがる雰囲気がある	125	6.3%	74	6.9%	49	5.7%	2	3.6%
地元(村内)出身でない人を何年経っても「よその人」として 区別する雰囲気がある	108	5.4%	62	5.8%	45	5.2%	1	1.8%
地域での生活に関わる事柄について、互いに助け合うために、 自分ができることで貢献しようとする意識があまりない	91	4.6%	55	5.1%	35	4.1%	1	1.8%
特にこのようなことはない	116	5.8%	59	5.5%	49	5.7%	8	14.5%
無回答	107	5.4%	49	4.6%	45	5.2%	13	23.6%
合計	1984	100.0%	1071	100.0%	858	100.0%	55	100.0%

問 1 5

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
「仕事」を優先している	135	17.7%	39	9.9%	91	27.4%	5	13.5%
「家庭生活」を優先している	132	17.3%	89	22.6%	41	12.3%	2	5.4%
「地域・個人の生活」を優先している	27	3.5%	15	3.8%	11	3.3%	1	2.7%
「仕事」と「家庭生活」を優先している	110	14.4%	55	14.0%	52	15.7%	3	8.1%
「仕事」と「地域・個人の生活」を優先している	41	5.4%	17	4.3%	24	7.2%	0	0.0%
「家庭」と「地域・個人の生活」を優先している	65	8.5%	40	10.2%	24	7.2%	1	2.7%
「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」いずれもバランスよく配分している	105	13.8%	54	13.7%	45	13.6%	6	16.2%
わからない	75	9.8%	43	10.9%	28	8.4%	4	10.8%
無回答	73	9.6%	42	10.7%	16	4.8%	15	40.5%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 1 6

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
「仕事」を優先したい	47	6.2%	13	3.3%	33	9.9%	1	2.7%
「家庭生活」を優先したい	104	13.6%	57	14.5%	44	13.3%	3	8.1%
「地域・個人の生活」を優先したい	28	3.7%	13	3.3%	13	3.9%	2	5.4%
「仕事」と「家庭生活」を優先したい	107	14.0%	57	14.5%	46	13.9%	4	10.8%
「仕事」と「地域・個人の生活」を優先したい	39	5.1%	13	3.3%	26	7.8%	0	0.0%
「家庭」と「地域・個人の生活」を優先したい	78	10.2%	49	12.4%	27	8.1%	2	5.4%
「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」いずれもバランスよく配分したい	209	27.4%	107	27.2%	97	29.2%	5	13.5%
わからない	69	9.0%	42	10.7%	24	7.2%	3	8.1%
無回答	82	10.7%	43	10.9%	22	6.6%	17	45.9%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 17

	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男女の役割分担についての社会通念、習慣、しきたりを改めること	175	9.8%	88	9.5%	81	10.1%	6	9.8%
仕事に生活を合わせるという、仕事中心の社会全体の仕組みを改めること	69	3.9%	22	2.4%	45	5.6%	2	3.3%
男性が家事に参画するライフスタイルについて抵抗感をなくすこと	156	8.7%	84	9.1%	69	8.6%	3	4.9%
男性も女性も生活面・経済面で自立できるようになること	265	14.8%	133	14.4%	126	15.7%	6	9.8%
家族の間でお互いの立場を理解し、家事などの分担をするように十分話しあうこと	266	14.9%	149	16.1%	112	13.9%	5	8.2%
家事などについて、性別によらず、見に付けることができるような育て方をすること	235	13.1%	143	15.5%	85	10.6%	7	11.5%
学校・職場・社会などさまざまな場で男女平等や相互理解についての学習機会を増やすこと	139	7.8%	59	6.4%	75	9.3%	5	8.2%
労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させること	90	5.0%	40	4.3%	50	6.2%	0	0.0%
自宅でも仕事ができるように在宅勤務などを普及させること	95	5.3%	43	4.7%	49	6.1%	3	4.9%
育児や介護支援の充実など、育児や介護を社会でさせる制度を充実させること	184	10.3%	95	10.3%	85	10.6%	4	6.6%
その他	14	0.8%	7	0.8%	7	0.9%	0	0.0%
無回答	102	5.7%	61	6.6%	21	2.6%	20	32.8%
合計	1790	100.0%	924	100.0%	805	100.0%	61	100.0%

※その他

- ・どのような仕事でも、もっと国、県、行政が関心を持ち、助成し、仕事を増やすこと。
- ・特性に合った分担。お互いを尊重。

問 18 <複数回答>

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
雇用・転職・再就職など仕事について	125	8.2%	55	6.8%	67	10.1%	3	5.1%
病気・障がいなどの身体の健康について	270	17.7%	126	15.6%	135	20.4%	9	15.3%
生活費・借金などのお金について	142	9.3%	75	9.3%	63	9.5%	4	6.8%
ストレス、うつなど心の健康について	115	7.5%	77	9.5%	34	5.1%	4	6.8%
恋愛について	20	1.3%	9	1.1%	11	1.7%	0	0.0%
職場や地域での人間関係について	143	9.4%	76	9.4%	64	9.7%	3	5.1%
夫婦・親子などの家族の間での人間関係について	76	5.0%	44	5.4%	28	4.2%	4	6.8%
育児・子育てについて	36	2.4%	21	2.6%	15	2.3%	0	0.0%
介護・看護について	132	8.6%	78	9.6%	51	7.7%	3	5.1%
妊娠・出産に関することについて	10	0.7%	6	0.7%	4	0.6%	0	0.0%
自分や家族の将来について	253	16.5%	136	16.8%	108	16.3%	9	15.3%
特に無かった	131	8.6%	65	8.0%	61	9.2%	5	8.5%
無回答	76	5.0%	41	5.1%	20	3.0%	15	25.4%
合計	1529	100.0%	809	100.0%	661	100.0%	59	100.0%

問 19-①

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	369	48.4%	187	47.5%	173	52.1%	9	24.3%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	162	21.2%	78	19.8%	80	24.1%	4	10.8%
暴力にあたるとは思わない	29	3.8%	16	4.1%	13	3.9%	0	0.0%
無回答	203	26.6%	113	28.7%	66	19.9%	24	64.9%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 19-②

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	448	58.7%	221	56.1%	216	65.1%	11	29.7%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	90	11.8%	50	12.7%	38	11.4%	2	5.4%
暴力にあたるとは思わない	16	2.1%	7	1.8%	9	2.7%	0	0.0%
無回答	209	27.4%	116	29.4%	69	20.8%	24	64.9%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 19-③

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	514	67.4%	264	67.0%	237	71.4%	13	35.1%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	22	2.9%	8	2.0%	14	4.2%	0	0.0%
暴力にあたるとは思わない	14	1.8%	6	1.5%	8	2.4%	0	0.0%
無回答	213	27.9%	116	29.4%	73	22.0%	24	64.9%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 19-④

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	328	43.0%	173	43.9%	148	44.6%	7	18.9%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	175	22.9%	81	20.6%	89	26.8%	5	13.5%
暴力にあたるとは思わない	45	5.9%	19	4.8%	25	7.5%	1	2.7%
無回答	215	28.2%	121	30.7%	70	21.1%	24	64.9%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 19-⑤

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	524	68.7%	266	67.5%	246	74.1%	12	32.4%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	12	1.6%	4	1.0%	7	2.1%	1	2.7%
暴力にあたるとは思わない	15	2.0%	7	1.8%	8	2.4%	0	0.0%
無回答	212	27.8%	117	29.7%	71	21.4%	24	64.9%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 19-⑥

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	429	56.2%	214	54.3%	204	61.4%	11	29.7%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	93	12.2%	52	13.2%	40	12.0%	1	2.7%
暴力にあたるとは思わない	22	2.9%	9	2.3%	13	3.9%	0	0.0%
無回答	219	28.7%	119	30.2%	75	22.6%	25	67.6%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 19-⑦

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	349	45.7%	181	45.9%	160	48.2%	8	21.6%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	143	18.7%	68	17.3%	72	21.7%	3	8.1%
暴力にあたるとは思わない	51	6.7%	23	5.8%	26	7.8%	2	5.4%
無回答	220	28.8%	122	31.0%	74	22.3%	24	64.9%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 19-⑧

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	250	32.8%	132	33.5%	110	33.1%	8	21.6%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	214	28.0%	106	26.9%	105	31.6%	3	8.1%
暴力にあたるとは思わない	82	10.7%	37	9.4%	43	13.0%	2	5.4%
無回答	217	28.4%	119	30.2%	74	22.3%	24	64.9%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 19-⑨

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	258	33.8%	141	35.8%	111	33.4%	6	16.2%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	214	28.0%	97	24.6%	111	33.4%	6	16.2%
暴力にあたるとは思わない	67	8.8%	32	8.1%	35	10.5%	0	0.0%
無回答	224	29.4%	124	31.5%	75	22.6%	25	67.6%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 19-⑩

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	324	42.5%	174	44.2%	143	43.1%	7	18.9%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	170	22.3%	79	20.1%	86	25.9%	5	13.5%
暴力にあたるとは思わない	47	6.2%	22	5.6%	25	7.5%	0	0.0%
無回答	222	29.1%	119	30.2%	78	23.5%	25	67.6%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 19-⑪

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	271	35.5%	141	35.8%	126	38.0%	4	10.8%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	208	27.3%	104	26.4%	99	29.8%	5	13.5%
暴力にあたるとは思わない	70	9.2%	33	8.4%	34	10.2%	3	8.1%
無回答	214	28.0%	116	29.4%	73	22.0%	25	67.6%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 19-⑫

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	269	35.3%	143	36.3%	123	37.0%	3	8.1%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	210	27.5%	105	26.6%	98	29.5%	7	18.9%
暴力にあたるとは思わない	67	8.8%	29	7.4%	37	11.1%	1	2.7%
無回答	217	28.4%	117	29.7%	74	22.3%	26	70.3%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 19-⑬

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どんな場合も暴力にあたると思う	343	45.0%	176	44.7%	162	48.8%	5	13.5%
暴力にあたる場合と、そうでない場合があると思う	121	15.9%	63	16.0%	53	16.0%	5	13.5%
暴力にあたるとは思わない	76	10.0%	33	8.4%	42	12.7%	1	2.7%
無回答	223	29.2%	122	31.0%	75	22.6%	26	70.3%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 2 0-①

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
1,2 度あった	85	11.1%	60	15.2%	23	6.9%	2	5.4%
何度もあった	39	5.1%	31	7.9%	8	2.4%	0	0.0%
まったくない	446	58.5%	206	52.3%	229	69.0%	11	29.7%
無回答	193	25.3%	97	24.6%	72	21.7%	24	64.9%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 2 0-②

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
1,2 度あった	52	6.8%	38	9.6%	14	4.2%	0	0.0%
何度もあった	37	4.8%	27	6.9%	10	3.0%	0	0.0%
まったくない	461	60.4%	219	55.6%	229	69.0%	13	35.1%
無回答	213	27.9%	110	27.9%	79	23.8%	24	64.9%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 2 0-③

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
1,2 度あった	38	5.0%	31	7.9%	7	2.1%	0	0.0%
何度もあった	17	2.2%	14	3.6%	3	0.9%	0	0.0%
まったくない	490	64.2%	235	59.6%	242	72.9%	13	35.1%
無回答	218	28.6%	114	28.9%	80	24.1%	24	64.9%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 2 1 (問 2 0 で「1」「2」を選んだ方) <複数回答>

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
配偶者暴力相談支援センター(県男女共同参画センター、県女性相談センター、大島支庁保健福祉環境部など)に相談した	1	0.5%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
警察に連絡・相談した	2	1.1%	2	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
法務局・地方法務局・人権擁護委員に相談した	4	2.2%	4	2.9%	0	0.0%	0	0.0%
大和村の健康教室や母子検診等で相談した	2	0.5%	1	0.7%	1	2.3%	0	0.0%
他の市町村の相談窓口(女性相談など)に相談した	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1～5 以外の公的な機関に相談した	2	1.1%	2	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなどに)相談した	2	1.1%	2	1.4%	1	2.3%	0	0.0%
医療関係者(医師、看護師、助産師などに)相談した	3	1.6%	2	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
学校関係者(教員、養護教員などに)相談した	1	0.5%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
家族や親戚に相談した	42	22.8%	34	24.5%	8	18.6%	0	0.0%
友人、知人に相談した	38	20.7%	32	23.0%	5	11.6%	1	50.0%
その他	5	2.7%	4	2.9%	1	2.3%	0	0.0%
どこにも、誰にも相談しなかった(できなかった)	68	37.0%	45	32.4%	24	55.8%	1	50.0%
無回答	11	6.0%	9	6.5%	3	7.0%	0	0.0%
合計	181	100.0%	139	100.0%	43	100.0%	2	100.0%

※その他

- ・話し合いで解決した
- ・やり返した
- ・暴力を受け、入院した

問 2 2 <複数回答>

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
だれ(どこ)に相談してよいのかわからなかったから	9	6.3%	7	6.7%	2	5.3%	0	0.0%
恥ずかしくてだれにも言えなかったから	12	8.5%	12	11.8%	0	0.0%	0	0.0%
相談してもむだだと思ったから	18	12.7%	13	12.8%	4	10.6%	1	50.0%
相談したことがわかって、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	2	1.4%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	1	0.7%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	19	13.4%	13	12.8%	6	15.8%	0	0.0%
世間体が悪いから	8	5.6%	7	6.9%	1	2.7%	0	0.0%
他人を巻き込みたくなかったから	14	9.9%	9	8.8%	5	13.2%	0	0.0%
他人に知られると、これまでどおりのつきあい(仕事や学校、地域などの人間関係)ができなくなると思ったから	7	4.9%	5	4.9%	1	2.6%	1	50.0%
そのことについて思い出したくなかったから	2	1.4%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
自分にも悪いところがあると思ったから	19	13.4%	15	14.7%	4	10.5%	0	0.0%
相手の行為は愛情の表現だと思ったから	1	0.7%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
相談するほどのことではないと思ったから	20	14.1%	8	7.9%	12	31.6%	0	0.0%
その他	1	0.7%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	9	6.3%	6	5.9%	3	7.9%	0	0.0%
合計	142	100.0%	102	100.0%	38	100.0%	2	100.0%

※その他

- ・よく話し合って解決したから

問 2 3-①

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
よく知っている	80	10.5%	33	8.4%	46	13.9%	1	2.7%
少しは中身を知っている	163	21.4%	74	18.8%	83	25.0%	6	16.2%
言葉だけきいたことがある	203	26.6%	103	26.1%	96	28.9%	4	10.8%
知らない	183	24.0%	109	27.7%	68	20.5%	6	16.2%
無回答	134	17.6%	75	19.0%	39	11.7%	20	54.1%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 2 3-②

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
よく知っている	32	4.2%	13	3.3%	18	5.4%	1	2.7%
少しは中身を知っている	91	11.9%	39	9.9%	47	14.2%	5	13.5%
言葉だけきいたことがある	194	25.4%	90	22.8%	102	30.7%	2	5.4%
知らない	282	37.0%	161	40.9%	113	34.0%	8	21.6%
無回答	164	21.5%	91	23.1%	52	15.7%	21	56.8%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 2 3-③

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
よく知っている	21	2.8%	10	2.5%	10	3.0%	1	2.7%
少しは中身を知っている	76	10.0%	30	7.6%	43	13.0%	3	8.1%
言葉だけきいたことがある	178	23.3%	104	26.4%	70	21.1%	4	10.8%
知らない	321	42.1%	159	40.4%	153	46.1%	9	24.3%
無回答	167	21.9%	91	23.1%	56	16.9%	20	54.1%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 2 3-④

選択項目	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
よく知っている	25	3.3%	12	3.0%	13	3.9%	0	0.0%
少しは中身を知っている	94	12.3%	40	10.2%	49	14.8%	5	13.5%
言葉だけきいたことがある	183	24.0%	97	24.6%	82	24.7%	4	10.8%
知らない	298	39.1%	157	39.8%	133	40.1%	8	21.6%
無回答	163	21.4%	88	22.3%	55	16.6%	20	54.1%
合計	763	100.0%	394	100.0%	332	100.0%	37	100.0%

問 2 4

	総計		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
広報誌や講演会などによる男女の平等と相互理解についての啓発	190	11.4%	85	9.9%	100	12.8%	5	15.6%
学校などにおける男女平等教育の推進	149	8.9%	59	6.9%	87	11.1%	3	9.4%
社会教育・生涯学習の場での学習充実	132	7.9%	58	6.8%	72	9.2%	2	6.3%
職場における男女均等な取り扱いについての周知徹底	137	8.2%	66	7.7%	70	8.9%	1	3.1%
保育サービスや餓鬼道保育などの子育て支援の充実	139	8.3%	78	9.1%	59	7.5%	2	6.3%
介護サービスの充実	210	12.6%	120	14.0%	86	11.0%	4	12.5%
検診体制や相談などの健康に関する事業の充実	90	5.4%	48	5.6%	41	5.2%	1	3.1%
地域コミュニティ活動における男女共同参画の推進	147	8.8%	72	8.4%	73	9.3%	2	6.3%
審議会等の委員の女性の登用	93	5.6%	49	5.7%	43	5.5%	1	3.1%
女性の就労支援の充実	157	9.4%	97	11.3%	56	7.1%	4	12.5%
男女共同参画条例の整備	87	5.2%	32	3.7%	53	6.8%	2	6.3%
その他	22	1.3%	13	1.5%	9	1.1%	0	0.0%
無回答	120	7.2%	80	9.3%	35	4.5%	5	15.6%
合計	1673	100.0%	857	100.0%	784	100.0%	32	100.0%

男女共同参画社会についての住民意識調査

～あなたのご意見をお聞かせください～

日頃から、村政の推進につきましては、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。大和村では、性別にかかわらず、誰もが社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、それぞれの個性や能力を十分に発揮しながら暮らすことができる男女共同参画社会の実現に向けて、「大和村男女共同参画計画（仮称）」の策定を予定しております。このたび、村民の皆様のご意見をお伺いし、男女共同参画社会の形成の促進に向けた取り組みの基礎資料とするために、男女共同参画社会についての住民意識調査を実施することとなりました。

ご多忙のところお手数おかけ致しますが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

平成25年3月 大和村長 伊集院 幼

▲この調査は、20歳以上の全ての村民の皆様にご協力をお願いしております。回答は無記名で、結果はすべて統計数字として処理いたしますので、個人を特定されることはございません。あなた自身のお考えや現状をお答え下さい。

1. 記入にあたっては、原則としてあて名のご本人がお答えください。
2. ボールペンまたはえんぴつなどで、はっきりと記入してください。
3. 質問ごとに当てはまる回答の番号を選び、その番号を○で囲んでください。
4. 回答していただく方が限られる質問もありますので、質問の前の指示にしたがってお答えください。指示のない質問については全員がお答えください。
5. 回答が「その他」に当てはまる場合は、（ ）内になるべく具体的にその内容を記入してください。
6. すべてのご記入が終わりましたら、記入漏れがないかお確かめのうえ、同封の返信用封筒に入れ、お近くの郵便局かポストへ、そのまま投函してください。もしくは、集合徴収時、各集落公民館へ設置してある、専用の回収箱へ投函してください。

提出期日：平成25年3月29日（金）

〈問い合わせ先〉 大和村役場 総務企画課 企画調整係（担当：勝間田）
〒894-3192 大島郡大和村大和浜100 電話：0997-57-2111（内線17）

男女平等について

問1 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのようにお考えですか。次の1～4の中から、あなたの考えに最も近い番号を1つだけお選びください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 賛成 | 2 どちらかといえば賛成 |
| 3 どちらかといえば反対 | 4 反対 |

問2 あなたは、次のような分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。
①～⑥の項目について、右欄の1～6の中からあなたの考えに最も近い番号を1つずつお選びください。

	男性の方が非常に 優遇されている	どちらかとい えば男性 の方が優遇 されている	平 等 で あ る	どちらかとい えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が非常に 優遇されている	わ か ら な い
①家庭の中で	1	2	3	4	5	6
②学校教育の中で	1	2	3	4	5	6
③職場の中で	1	2	3	4	5	6
④地域社会の中で	1	2	3	4	5	6
⑤法律や制度で	1	2	3	4	5	6
⑥社会通念、慣習しきたりなどで	1	2	3	4	5	6

問3 あなたは、女性が、議会議員や地域活動の役員などになって、施策の企画立案や方針決定の場に女性の意見が反映されるようになればいいと思いますか。次の1～5の中から、あなたの考えに最も近い番号を1つだけお選びください。

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない
- 5 わからない

家庭生活について

問4 あなたは、次のようなことについてどう思いますか。次の①～④の項目について、右欄の1～5のうちあてはまる番号を1つずつお選びください。

	そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
①妻や子どもを養うのは、男性の責任である	1	2	3	4	5
②女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである	1	2	3	4	5
③女性は仕事を持つのはよいが、家事、育児もきちんとすべきである	1	2	3	4	5
④男性の方が女性より、管理職としての素質がある	1	2	3	4	5

問5 結婚されている方にお聞きします。あなたの家庭では、現在、次のような事柄を主に誰がやっていますか。①～④の項目について、右欄の1～5の中から、あてはまる番号を1つずつお選びください。（育児と介護・看護については、現在該当しなくても、過去の経験があればそれをもとにお選びください。該当しない場合は、「5」をお選びください。）

	夫	妻	夫と妻が 分担	その他の 人	該当 しない
①家事	1	2	3	4	5
②育児	1	2	3	4	5
③介護・看護	1	2	3	4	5
④自治会、町内会、集落公民館など地域活動への参加	1	2	3	4	5

仕事について

問6 あなたのご職業を次の1～11の中から1つだけお選びください。

自営業主	1 農林水産業 2 商工サービス業 3 その他の自営業
家族従事者 (両親、兄弟等の仕事 の手伝い)	4 農林水産業 5 商工サービス業 6 その他の自営業
雇用者	7 常勤の勤め(公務員、教員、社員等) 8 非常勤の勤め(パート、アルバイト、嘱託、臨時職員)
その他	9 主婦・主夫 10 学生 11 無職

問7 あなたはどのような形で働きたいですか。次の1～10の中から1つだけお選びください。

- 1 常勤(フルタイム)
- 2 常勤(短時間勤務、フレックスタイム制)
- 3 パートタイム、アルバイト、嘱託
- 4 契約社員、派遣社員
- 5 在宅勤務
- 6 事業経営
- 7 家事に従事
- 8 働くつもりはない
- 9 働くことができない
- 10 その他()

【問6で雇用者「7」又は「8」と答えた方は問8へ。その他「9」「10」「11」と答えた方は問11へ。それ以外の方は問9へおすすみください。】

問8 あなたの職場では、性別によって処遇が異なりますか。
次の1～12の中からいくつでもお選びください。

- 1 募集・採用の機会に格差がある
- 2 賃金に格差がある
- 3 女性に補助的な業務や雑用（お茶汲み等）に従事させる傾向がある
- 4 昇進、昇格に格差がある
- 5 管理職への登用に差がある
- 6 結婚や出産時に退職する慣例や雰囲気がある
- 7 中高年女性には退職を促すような雰囲気がある
- 8 社内研修や教育訓練・出張や視察などの機会に差がある
- 9 育児休業や介護休業の取り易さに差がある
- 10 同じ職場で夫や妻、子どもが共に働いている場合、どちらかが働き続けにくい雰囲気がある
- 11 その他（ ）
- 12 特に性別により処遇が異なっていることはない

問 9 あなたの職場では、働く時間、給料、休業日や休暇、仕事の分担などについての取り決め（会社の従業規則、農業の家族経営協定などに類するもの）がありますか。次の 1～4 の中から 1 つだけ お選びください。

1 文章化された取り決めがある	→	問 1 0 へ
2 文章化されていないが、合意している取り決めがある（口約束、暗黙の了解を含む）	→	
3 取り決めはない	→	問 1 1 へ
4 取り決めがあるかどうかわからない	→	

問 1 0 その取り決めは守られていますか。次の 1～4 の中から 1 つだけ お選びください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 守られている | 2 どちらかというと守られている |
| 3 どちらかというと守られていない | 4 守られていない |

仕事と家庭、地域への取組について

問 1 1 あなたは、日頃、何か地域のために役立ちたいと思いますか。
次の 1～5 の中から 1 つだけ お選びください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 非常にそう思っている | 2 ある程度そう思っている |
| 3 少しそう思っている | 4 あまりそうは思わない |
| 5 全くそうは思わない | |

問 1 2 あなたは、現在、次のような地域における活動に参加していますか。
次の 1～11 の中から いくつでも お選びください。

- 1 自治会、町内会、集落などの地区を単位とした団体活動
- 2 婦人（女性）会、老人クラブ、青壮年団などの団体活動
- 3 子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動
- 4 消費者運動、環境保護運動などの住民活動
- 5 民生委員・児童委員、スポーツ推進委員などの公的な委員活動
- 6 子育て支援や高齢者介護、障がい福祉などを目的としたグループ活動
- 7 NPO 法人などの非営利活動
- 8 特定の団体やグループに属さず、個人として地域に貢献する活動
- 9 スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動
- 10 その他（ ）
- 11 特に何もしていない

【問 1 2 で「1」「2」「3」を選んだ方におたずねします。それ以外の方は問 1 4 へおすすみください】

問 1 3 活動に参加しているお気持ちについて、次の 1～3 の中から 1 つだけ お選びください。

- 1 生きがい・やりがいを感じている
- 2 生きがい・やりがいを感じることもあるが、負担に感じることもある
- 3 負担に感じつつ参加している

問 1 4 あなたが住んでいる地域では、次のような雰囲気や慣習がありますか。
次の 1 ～ 1 4 の中からいくつでもお選びください。

- 1 地域活動をするときに、参加を強制させる雰囲気がある
- 2 外での作業は男性が出るべきだという雰囲気がある
- 3 女性や若い人は、男性や年長者の意見に従ったほうがよい（従うものだ）という雰囲気がある
- 4 団体の長や代表などには男性になるほうがよい（なるものだ）という雰囲気がある
- 5 会議等で女性が自分の意見を発言することに対して批判的な雰囲気がある
- 6 女性は様々な役割や仕事の経験を積む機会から遠ざけられている雰囲気がある
- 7 様々な役割の責任者には男性が就き、女性は補佐役に就くことが多い
- 8 結婚をし、子どもを産み育てないと、一人前として認められないような雰囲気がある
- 9 女性が役職に就きたがらない
- 10 会合や行事の湯茶・食事の準備や後片付けは女性の役割という雰囲気がある
- 11 地域のために慣習を見直すなど、変革を求める人を煙たがる雰囲気がある
- 12 地元（村内）出身でない人を何年経っても「よその人」として区別する雰囲気がある
- 13 地域での生活に関わる事柄について、互いに助け合うために、自分ができることで貢献しようとする意識があまりない
- 14 特にこのようなことはない

問 1 5 あなたの生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）のかかわり方についておたずねします。
次の 1 ～ 8 の中から1つだけお選びください。

- 1 「仕事」を優先している
- 2 「家庭生活」を優先している
- 3 「地域・個人の生活」を優先している
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 7 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」いずれもバランスよく配分している
- 8 わからない

問 1 6 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）について、あなたの希望するかかわり方を、次の 1～8 の中から 1 つだけお選びください。

- 1 「仕事」を優先したい
- 2 「家庭生活」を優先したい
- 3 「地域・個人の生活」を優先したい
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 7 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」いずれもバランスよく配分したい
- 8 わからない

問 1 7 男性も女性も、家事・子育て・介護・地域活動・仕事などに、自分の意思で積極的に関わり、いきいきと暮らすことができるようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。特に必要と思われる事項の番号を 3 つ以内でお選びください。

- 1 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
- 2 仕事に生活を合わせるといふ、仕事中心の社会全体の仕組みを改めること
- 3 男性が家事に参画するライフスタイルについて抵抗感をなくすこと
- 4 男性も女性も生活面・経済面で自立できるようになること
- 5 家族の間で互いの立場を理解し、家事などの分担をするように十分話しあうこと
- 6 家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること
- 7 学校・職場・社会などさまざまな場で男女平等や相互理解についての学習機会を増やすこと
- 8 労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させること
- 9 自宅でも仕事ができるように在宅勤務などを普及させること
- 10 育児や介護支援の充実など、育児や介護を社会で支える制度を充実させること
- 11 その他（ ）

問 18 あなたは、この一年間の生活の中で、次のような不安や悩みがありましたか。
次の 1～12 の中からいくつでもお選びください。

- 1 雇用・転職・再就職など仕事について
- 2 病気・障がいなど身体健康について
- 3 生活費・借金などのお金について
- 4 ストレス、うつなど心の健康について
- 5 恋愛について
- 6 職場や地域での人間関係について
- 7 夫妻・親子など家族の間での人間関係について
- 8 育児・子育てについて
- 9 介護・看護について
- 10 妊娠・出産に関することについて
- 11 自分や家族の将来について
- 12 特になかった

問 19 あなたは、配偶者・婚姻届は出していないが事実上婚姻関係（事実婚）にある相手、恋人、元配偶者、元事実婚の相手、元恋人との間で、次のようなことが行われた場合、それを暴力だと思いますか。①～⑬のそれぞれについて、右欄の1～3のうちあてはまる番号を1つずつお選びください。

	どんな場合 も暴力にあ たると思う	暴力にあた る場合と、 そうでない 場合がある と思う	暴力にあた ると思わ ない
①平手で打つ	1	2	3
②足でける	1	2	3
③身体を傷つける可能性のあるものでなぐる	1	2	3
④なぐるふりをして、おどす	1	2	3
⑤刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3
⑥嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
⑦見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3
⑧何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
⑨交友関係や電話を細かく監視する	1	2	3
⑩「誰のおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」とか言う	1	2	3
⑪大声でどなる	1	2	3
⑫常に命令口調で話す	1	2	3
⑬家に生活費を入れない	1	2	3

問 20 あなたは、配偶者・婚姻届は出していないが事実上婚姻関係（事実婚）にある相手、恋人、元配偶者、元事実婚の相手、元恋人との間で、次のようなことをされたことがありますか。次の①～③のそれぞれについて、右欄の1～3のうちあてはまる番号を1つずつお選びください。

	1、 2 度あつた	何 度 も あつた	ま っ た く な い
①なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた	1	2	3
②人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家庭に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
③嫌がっているのに性的な行為を強要された	1	2	3

【問20でひとつでも「1」、「2」を選んだ方におたずねします。それ以外の方は問23へおすす
みください。】

問21 あなたはそのことを、だれかに打ち明けたり相談したりしましたか。
次の1～13の中からいくつでもお選びください。

- 1 配偶者暴力相談支援センター（県男女共同参画センター、県女性相談センター、大島支庁保健福祉環境部など）に相談した
- 2 警察に連絡・相談した
- 3 法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談した
- 4 大和村の健康教室や母子検診等で相談した
- 5 他の市町村の相談窓口（女性相談など）に相談した
- 6 1～5以外の公的な機関に相談した
- 7 民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなどに）相談した
- 8 医療関係者（医師、看護師、助産師など）に相談した
- 9 学校関係者（教員、養護教員など）に相談した
- 10 家族や親戚に相談した
- 11 友人、知人に相談した
- 12 その他（ ）
- 13 どこにも、誰にも相談しなかった（できなかった）

【問21で「13」を選んだ方は問22へ。それ以外の方は問23へおすすみください。】

問 2 2 どこにも、誰にも相談しなかった（できなかった）のはなぜですか。
あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 だれ（どこ）に相談してよいのかわからなかったから
- 2 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
- 3 相談してもむだだと思ったから
- 4 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
- 5 加害者に「誰にも言うな」とおどされたから
- 6 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
- 7 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
- 8 世間体が悪いから
- 9 他人を巻き込みたくなかったから
- 10 他人に知られると、これまでどおりのつきあい（仕事や学校、地域などの人間関係）ができなくなると思ったから
- 11 そのことについて思い出したくなかったから
- 12 自分にも悪いところがあると思ったから
- 13 相手の行為は愛情の表現だと思ったから
- 14 相談するほどのことではないと思ったから
- 15 その他（ ）

男女共同参画について

問 2 3 あなたは、男女共同参画に関連の深い用語について知っていますか。
次の①～④のそれぞれについて、右欄の 1～4 から 1 つずつお選びください。

	よく知っている	少しは身を知っている	言葉だけ聞いたことがある	知らない
①男女共同参画	1	2	3	4
②男女共同参画社会基本法	1	2	3	4
③女子差別撤廃条約	1	2	3	4
④仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)	1	2	3	4

問 2 4 「男女共同参画社会」を実現するために、大和村の施策に望むことは何ですか。
次の中からあてはまるものを3つ以内でお選びください。

- 1 広報誌や講演会などによる男女の平等と相互理解についての啓発
- 2 学校などにおける男女平等教育の推進
- 3 社会教育・生涯学習の場での学習の充実
- 4 職場における男女均等な取り扱いについての周知徹底
- 5 保育サービスや学童保育などの子育て支援の充実
- 6 介護サービスの充実
- 7 検診体制や相談など健康に関する事業の充実
- 8 地域コミュニティー活動における男女共同参画の推進
- 9 審議会等の委員の女性の登用
- 10 女性の就労支援の充実
- 11 男女共同参画条例の整備
- 12 その他（ ）

最後に、あなたご自身のことについてお伺いします

問 2 5 あなたの性別を教えてください。

- 1 男性 2 女性

問 2 6 あなたの年齢を教えてください。

- 1 20～29歳 2 30～39歳 3 40～49歳 4 50～59歳
5 60～69歳 6 70～79歳 7 80歳以上

問 2 7 あなたの生活形態は、次のどれにあてはまりますか。

- 1 単身世帯（一人暮らし） 2 一世代世帯（夫妻のみ）
3 二世帯世帯（親と子など） 4 三世帯世帯（親と子と孫など）
5 その他

問 2 8 あなたは現在結婚していますか。

- 1 結婚している 2 結婚していたが、離別した
3 結婚していたが、死別した 4 結婚していない

【現在、結婚されている方におたずねします。】

問 2 9 ご夫婦の職業の有無についておたずねします。職業とは、自営業主、家族従事者、雇用者（常勤、パート、アルバイト、内職を含む）等のことをいいます。

- 1 どちらにも職業がある 2 自分のみ職業がある
3 配偶者のみ職業がある 4 どちらにも職業がない

ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないかももう一度お確かめのうえ、同封の封筒に入れ、必ず封をしてください。